

令和元年度

相模原市保健所年報

(平成30年度事業概要)

はじめに

日頃から、相模原市の保健衛生行政に御理解と御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。平成12年4月に本市が保健所政令市として保健所を開設してから、本年で20年目を迎えることとなりました。これもひとえに本市の保健衛生の向上に御尽力いただいている関係各位の御支援の賜と感謝申し上げます。

本市では、すべての市民の健康で幸せな生活を願い、個人、家庭、地域社会が一体となって生涯にわたる健康づくりを推進するため、平成12年10月に「さがみはら健康都市宣言」を行い、平成14年3月に『みんな元気「さがみはら健康プラン21」相模原市保健医療計画』を策定し、市民総ぐるみによる健康づくりに取り組んでまいりました。

平成30年3月には、今後、更なる少子高齢化の進行のほか、疾病構造の変化が予想される中であって、市民自らが健康状態を自覚し、積極的に健康の増進を図るとともに、生活習慣病の発症予防と重症化予防に取り組み、さらに、そうした市民の取り組みを地域社会全体が支えていくことを推進するため、相模原市保健医療計画(第2次後期)を策定し、健康寿命の延伸や主観的健康感の向上を重点指標に掲げ、市民が主体の健康づくり、疾病の予防、安全・安心の衛生管理の推進などに取り組んでおります。

平成30年度は、同計画の開始に伴い、「健活!さがみはら ~みんなで伸ばそう健康寿命~」をキャッチフレーズに手軽にできる運動や食事へのアドバイスなどを市ホームページに掲載するなど、市民の健康づくりを推進しております。

感染症の流行や集団食中毒の発生など、市民の皆様の健康を脅かすような問題が後を絶たない昨今ではありますが、市民の皆様が安心して暮らせるよう、保健衛生行政の拠点として、平素から危機管理意識を高め、関連部局との連携を強化しながら、より迅速かつ的確な対応ができるよう努めてまいりますので、引き続き御支援を賜りますようお願いいたします。

ここに平成30年度の相模原市保健所の活動状況を「年報」として刊行いたしました。本書が広く皆さまに御活用いただければ幸いに存じます。

令和元年8月

相模原市保健所長 鈴木 仁 一

さがみはら健康都市宣言

さがみはらの豊かな自然と良好な生活環境のもと 市民一人ひとりが尊重され 心身ともに健康で暮らし続けられることはわたくしたちの共通の願いです

わたくしたちは「自らの健康は自らつくる」を基本に次の目標を掲げ 個人 家庭 地域社会が一体となって生涯にわたる健康づくりを進めます

- 健康について学びあい 健康づくりを実践し かけがえない健康を守り はぐくみます
- 心と心のふれあいを大切にし だれもが生きがいをもち 安心して暮らせる環境づくりを進めます
- スポーツや体力づくりに親しみ 人と人との交流をとおして健康づくりの輪を広げます

わたくしたちは 21世紀へ向けて すべての市民の健康で幸せな生活を願い わたくしたちのまち さがみはらを「健康都市」とすることを宣言します

平成12年10月28日 相模原市

目 次

第1章 市の概要

1 位置及び地勢	1
2 人口構成	2
3 地区別人口世帯数(公民館区別)	3
4 外国人住民人口国籍別数	3
5 沿革	4
6 組織	10
7 保健・医療・福祉関係施設	11
8 保健所職員体制	12
9 保健所における収支決算状況	13

第2章 市民総ぐるみ健康づくり運動

1 市民総ぐるみ健康づくり運動	
(1) 基本方針	14
(2) 事業推進体制	14
(3) 市民健康づくり推進月間	14
2 健活!さがみはら	14
3 健康フェスタ	15
4 健幸ポイント制度(モデル事業)	15
5 働く人の健康づくり地域・職域連携事業	
(1) 働く人の健康づくり地域・職域連携推進連絡会	16
(2) 連携事業の実施	16

第3章 総務

1 統計調査	18
2 保健所関係職員に対する職場研修	
(1) 集合研修	19
(2) 派遣研修	20
3 医師臨床研修・学生実習等指導	
(1) 学生実習合同オリエンテーション	20
(2) 実習受け入れ状況	20
4 表彰	
(1) 神奈川県保健衛生表彰知事表彰	21
(2) 相模原市保健衛生功労者表彰	21
5 訪問看護推進事業	
(1) 訪問看護等連絡会議	22
(2) 訪問看護ステーション管理者会	22

第4章 医事薬事事業

1 医事	
(1) 医務	23
(2) 免許事務	25
(3) 医療安全相談窓口	26
2 薬事	
(1) 薬務	27

(2) 薬物乱用防止	29
3 献血	
(1) 献血事業	30
(2) 骨髄バンクドナー登録事業	30
第5章 成人保健事業	
1 成人保健事業体系図	31
2 健康教育	
(1) 個別健康教育(禁煙チャレンジコース)	32
(2) 集団健康教育	32
(3) その他の健康教育(健康増進法外の健康教育)	36
(4) たばこ対策(一部再掲)	36
3 健康相談	
(1) 重点健康相談	37
(2) 総合健康相談	38
4 健康診査	
(1) 健康診査事業一覧	40
(2) 生活保護受給者等健康診査	41
(3) 確定診断検査	41
(4) がん検診	42
(5) 肝炎ウイルス検診	42
(6) 成人歯科健康診査(お口の健康診査)	43
(7) 口腔がん検診	43
(8) 一般健康相談(健康チェック～19歳から39歳のあなたへ～)	43
5 訪問指導	
(1) 保健指導	44
(2) 糖尿病性腎症重症化予防	44
6 特定保健指導	
(1) 階層化別・年齢区分別対象者内訳	45
(2) 初回面接実施状況	45
(3) 継続的な指導の状況(初回面接実施分は除く)	46
7 生活保護受給者等への保健指導	46
8 その他	
(1) 相模原市歯科保健事業推進審議会	47
(2) 歯科保健広告付物品受入・歯科保健広告掲載	47
第6章 母子保健事業(こども・若者未来局 所管事業)	
1 母子保健事業体系図	48
2 母子健康手帳交付状況	49
3 健康診査	
(1) 健康診査事業一覧	50
(2) 妊婦健康診査	50
(3) 妊婦歯科健康診査	50
(4) 乳幼児健康診査	51
4 訪問指導等	
(1) 対象児別訪問指導実施状況(延)	55
(2) 所内指導実施状況(延)	55

5 健康相談	
(1) 母子保健相談	5 5
(2) 地域における健康相談（ふれあい親子サロン）	5 6
(3) 栄養相談	5 6
(4) 歯科相談	5 7
(5) 個別心理相談（おやこひだまり相談室）	5 7
(6) 思春期相談	5 8
(7) 不妊・不育専門相談	5 8

6 健康教育	
(1) 母親・父親教室（ハロー・マザークラス）	5 8
(2) 妊婦歯科教室（マタニティオーラルセミナー）	5 9
(3) 離乳食教室（スタート編・モグモグ編）	5 9
(4) 幼児の良い生活習慣普及啓発事業	5 9
(5) むし歯予防教室（親子で歯っぴいちゃれんじ大作戦！）	6 0
(6) ぴよぴよサロン	6 0
(7) 乳幼児健康診査等の事後指導教室（ことり教室）	6 0
(8) 多胎児支援教室（ビーンズクラブ）	6 1
(9) 育児支援教室（ママの休み時間）	6 1
(10) 慢性疾患児講演会	6 1
(11) 依頼による健康教育	6 1
(12) 赤ちゃんとおふれあい体験教室	6 2
(13) 妊娠前教室	6 2
(14) 思春期出前講座	6 2

7 医療援護	
(1) 自立支援（育成）医療給付	6 3
(2) 自立支援（育成）医療補装具給付	6 3
(3) 小児慢性特定疾病医療給付	6 3
(4) 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付	6 4
(5) 未熟児養育医療給付	6 4
(6) 特定不妊治療費助成	6 4

8 その他	
(1) 学校歯科巡回指導	6 5
(2) 母子継続看護連絡会	6 5
(3) 先天性代謝異常等検査	6 5
(4) 新生児聴覚検査	6 5

第7章 地域における保健事業

1 相模原市健康づくり普及員連絡会活動	6 6
2 人材育成	
(1) 健康づくり普及員養成講座	6 7
(2) 健康づくり普及員現任研修	6 7

第8章 栄養・食生活改善事業

1 広域的・専門的栄養改善活動	
(1) 専門栄養指導・相談	6 8
(2) 地域における食生活改善事業	6 8
(3) 栄養表示推進事業	6 8
2 食育推進事業	
(1) 食育推進委員会	6 9

(2) 食育推進計画検討ワーキング	69
(3) 食育フェア	69
(4) 食育推進事業	70
3 特定給食施設等指導事業	
(1) 特定給食施設講習会	71
(2) 特定給食施設等支援	71
(3) 特定給食施設等個別指導	72
4 人材育成	
(1) 食生活改善推進員養成講座	73
(2) 相模原市食生活改善推進団体わかな会の育成・支援	73
(3) 地域リーダー等の育成・支援	74

第9章 感染症対策事業

1 結核対策事業	
(1) 結核登録状況	75
(2) 定期健康診断	77
(3) 接触者健康診断	77
(4) 結核患者管理指導	77
(5) 結核患者の服薬支援（地域DOTS事業）	78
(6) 感染症診査協議会（結核診査部会）	79
(7) 結核予防啓発事業	80
2 感染症対策事業	
(1) 感染症発生届出状況（年次推移）	81
(2) 感染症診査協議会（感染症診査部会）	82
(3) 感染症患者等保健指導	82
(4) 学校等におけるインフルエンザによる学級閉鎖等状況	82
(5) 感染症予防啓発事業	82
(6) 感染症発生動向調査事業	83
3 性感染症予防対策事業	
(1) HIV（エイズ）相談・検査	83
(2) 性感染症相談・検査	83
(3) HIV（エイズ）予防啓発事業	84
(4) HIV（エイズ）対策の推進に向けた体制整備	84
(5) エイズ対策特別促進事業	85
4 肝炎対策事業	85
5 予防接種事業	
(1) 定期予防接種	85
(2) 任意予防接種	87

第10章 難病対策事業

1 難病対策事業	
(1) 難病患者医療費給付事業	88
(2) 指定医及び指定医療機関の指定の状況	91
(3) 難病患者地域支援対策推進事業	92
(4) 療養生活環境整備事業	94

第11章 原子爆弾被爆者援護事業

1 原子爆弾被爆者援護事業	
(1) 被爆者健康手帳等交付状況	95
(2) 療養費・医療費助成事業	95

第12章 食品衛生事業

1 食品等営業施設の衛生確保対策

(1) 営業施設の許可等事務及び監視指導状況	96
(2) 食中毒発生状況	98
(3) 食品衛生に関する苦情の状況	98

2 食品等の衛生確保対策	99
--------------	----

3 食品衛生啓発対策

(1) 消費者や食品等事業者を対象とした食品衛生講習会	100
(2) 相模原市食の安全・安心懇話会	100
(3) 食中毒予防キャンペーン	100

4 免許事務	100
--------	-----

第13章 環境衛生・動物愛護事業

1 環境衛生営業施設等指導事業

(1) 営業施設数及び監視指導状況	101
(2) プール施設数及び監視指導状況	101
(3) 衛生講習会開催状況	101
(4) 浴槽水等水質検査実施状況	102
(5) 免許事務	102

2 生活環境施設等指導事業

(1) 特定建築物施設数及び監視指導状況	102
(2) 建築物衛生管理業登録営業所数及び監視指導状況	103
(3) 水道施設数及び監視指導状況	103
(4) 小規模水道等施設数及び監視指導状況	103
(5) 温泉施設数及び監視指導状況	103
(6) 家庭用品試買検査実施状況	103
(7) 室内空気環境測定実施状況	104
(8) 墓地等の許可状況及び施設数	104
(9) 化製場法に基づく畜舎等施設数	104
(10) 住宅宿泊事業法に基づく施設数	104

3 狂犬病予防対策及び動物愛護事業

(1) 犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況	105
(2) 犬、猫等の取扱状況	105
(3) こう傷等事故の発生状況	107
(4) 犬、猫等に関する苦情・相談の状況	107
(5) 犬、猫等の失踪・保護情報の受付件数	107
(6) 犬のしつけ方教室等実施状況	107
(7) 人と猫との共生社会支援事業	108
(8) 動物取扱業	108
(9) 特定動物の飼養許可	109

4 生活害虫等事業	109
-----------	-----

第14章 衛生検査

1 衛生検査・環境検査

(1) 衛生研究所業務	110
(2) 検査実施状況	111

2 検査実施内訳

(1) 性感染症検査	112
(2) 感染症法に係る検査	112

(3) 食中毒検査	1 1 6
(4) 食品検査	1 1 7
(5) 環境検査	1 2 4
(6) 放射性物質に関する検査	1 2 5
(7) 苦情品検査	1 2 6
(8) 精度管理検査	1 2 6
(9) 衛生研究所の主要機器整備状況	1 2 7

3 衛生に係る調査研究

(1) 国との共同研究事業	1 2 8
(2) デング熱等媒介蚊のサーベイランス	1 2 8

4 公衆衛生情報の収集、解析及び提供

5 衛生研究所内研修

第 1 5 章 人口動態統計

1 人口動態の概況

(1) 人口動態件数・率の年次推移	1 3 0
-------------------	-------

2 出生

(1) 性別及び月別出生児数	1 3 1
(2) 出産の場所及び立会者別出生児数と出生割合	1 3 1
(3) 妊娠期間別出生児数	1 3 1
(4) 母の年齢階級別出生児数	1 3 2
(5) 体重別出生児数	1 3 2
(6) 出生児数と出生率の推移	1 3 2

3 死亡

(1) 性別及び月別死亡者数	1 3 3
(2) 性別及び年齢階級別死亡者数	1 3 3
(3) 乳児死亡	1 3 4
(4) 主要死因の年齢階級別死亡順位	1 3 5
(5) 死因順位の年次推移	1 3 6
(6) 主要死因の年次推移	1 3 7
(7) 死因別・性別・年齢階級別死亡者数	1 3 9

4 死産

(1) 妊娠期間別自然・人工死産数	1 4 3
(2) 死産数の推移	1 4 3

5 母体保護

(1) 不妊手術実施届出件数	1 4 5
(2) 人工妊娠中絶実施届出件数	1 4 5

第 1 6 章 資料

1 家庭訪問（母子保健・成人保健・感染症・結核・難病）	1 4 6
2 母子保健・成人保健業務健康相談	1 4 7
3 母子保健・成人保健業務健康教育	1 4 8
4 感染症・難病業務	
(1) 健康相談	1 4 9
(2) 健康教育	1 4 9
(3) 所内指導状況	1 4 9
5 各種協議会等（再掲）	1 5 0
6 地域保健関係職員等研修会	1 5 0

第1章

市の概要

1 位置及び地勢

本市は、神奈川県北部に位置し、都心から約 40 kmと地理的条件に恵まれ、現在人口 72 万人を擁する県下 3 番目の市です。

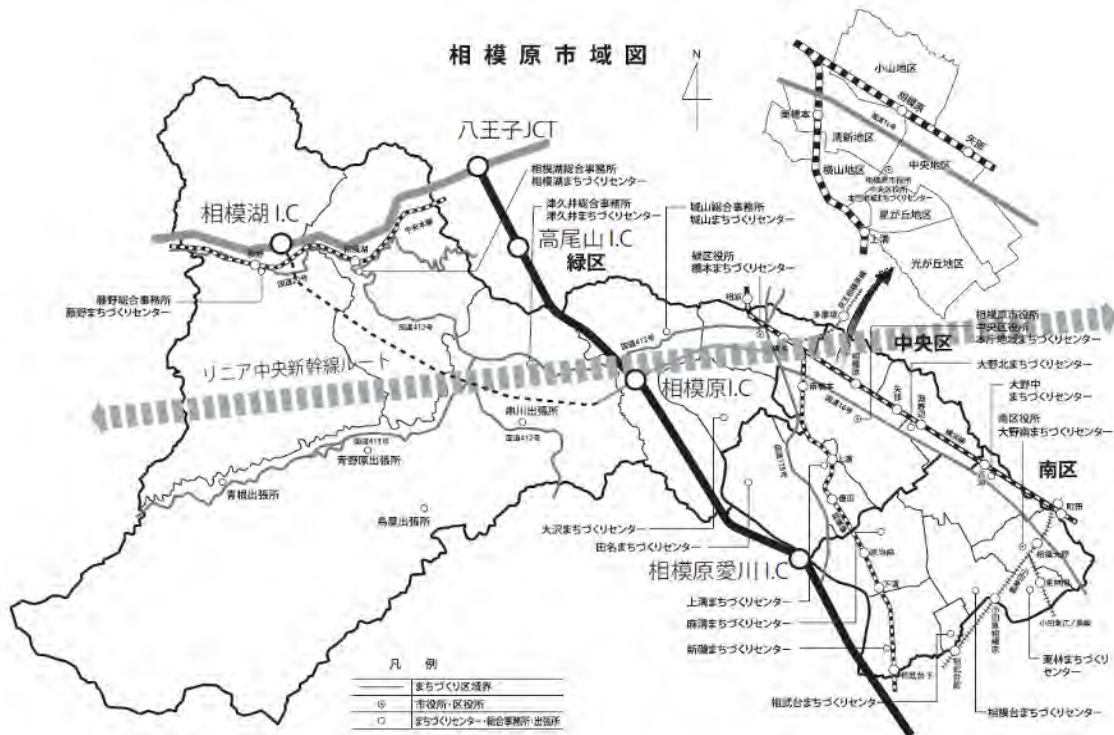
昭和の始めには既に JR 横浜線、JR 中央本線、JR 相模線、小田急線の鉄道が開通しており、昭和 30 年代以降、人口流入と企業進出により急速な発展を遂げ、またその後、京王相模原線の乗り入れもあり、現在も首都圏有数の住宅都市、内陸工業都市として着実に進展を続けております。

市域は、旧津久井郡との合併により大きく広がり、北は東京都境、西は山梨県境に位置し、東西に広がるその面積は 328.91 km²となっています。

市域の東部は数多くの公共施設や商業施設を備えた都市部となっており、西部は相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖などに代表される神奈川県の水源地域を有し、国定公園や自然公園など美しい自然にあふれた地域となっています。

平成 31 年 4 月 1 日現在

位置	東経 139 度 22 分 26 秒 北緯 35 度 34 分 16 秒
面積	328.91 km ² (東西 35.6 km 南北 22.0 km)
推計人口	721,910 人
世帯数	325,018 世帯
人口密度	2,195 人 / km ²

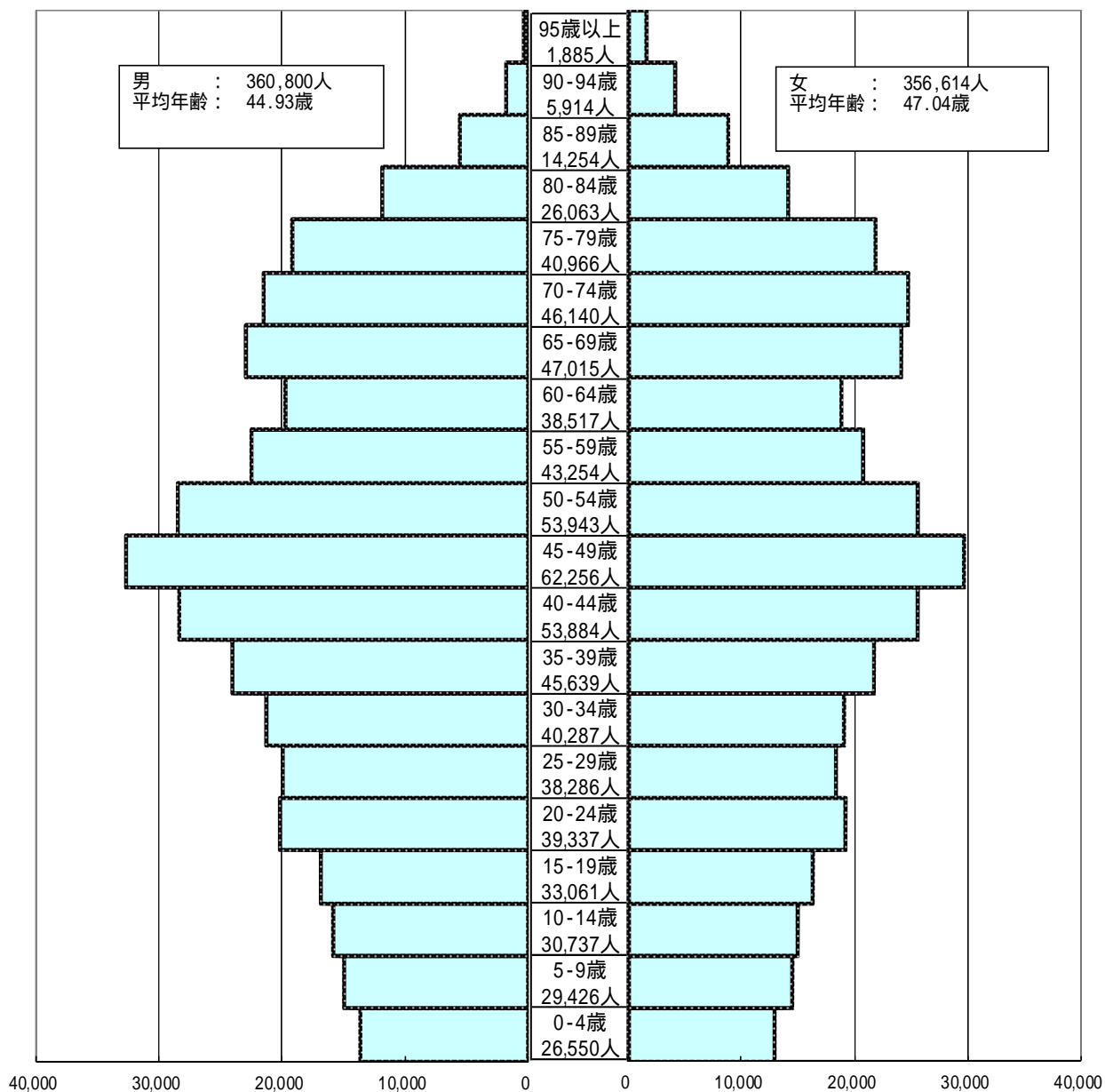


2 人口構成

総人口：717,414人（住民基本台帳による（外国人を含む））

平均年齢：45.98歳

平成31年4月1日現在



3 地区別人口世帯数(公民館区別)

平成31年4月1日現在

地区名	世帯数	人口	性別	
			男性	女性
計	335,995	717,414	360,800	356,614
大沢	14,137	33,069	16,750	16,319
上溝	14,694	33,746	17,112	16,634
橋本	22,777	46,588	23,706	22,882
相原	11,555	25,887	13,185	12,702
小山	10,105	20,543	10,518	10,025
大野南	14,140	29,168	14,315	14,853
新磯	5,752	13,334	6,777	6,557
麻溝	7,674	17,646	8,983	8,663
田名	13,111	30,580	15,668	14,912
大野北	28,199	60,599	30,443	30,156
大野中	9,372	20,124	9,907	10,217
星が丘	8,343	17,969	9,025	8,944
清新	15,189	30,334	15,668	14,666
中央	18,050	35,480	17,912	17,568
相模台	22,841	45,140	22,387	22,753
相武台	9,947	19,540	9,581	9,959
東林	21,017	41,165	20,371	20,794
横山	6,556	14,605	7,357	7,248
光が丘	7,586	17,065	8,441	8,624
大沼	10,587	23,891	11,840	12,051
上鶴間	22,783	47,114	23,620	23,494
大野台	8,120	18,435	9,297	9,138
陽光台	4,430	10,044	5,045	4,999
城山	10,219	23,614	11,853	11,761
津久井地区	11,363	25,397	12,800	12,597
相模湖地区	3,770	7,924	4,025	3,899
藤野地区	3,678	8,413	4,214	4,199

世帯数及び人口は、住民基本台帳による

4 外国人住民人口国籍別数

平成31年3月31日現在

国籍	人口
中国	4,256
韓国又は朝鮮	1,800
フィリピン	1,995
ベトナム	1,895
カンボジア	412
ブラジル	380
米国	329
ペルー	298
タイ	328
インド	610
その他	2,664
総数	14,967

5 沿革

年 度	神奈川県（相模原保健福祉事務所）		相模原市
昭和23年度			民生部保健衛生課
昭和28年度	9月	神奈川県相模原保健所を相模原町上溝5326に開設	
昭和29年度	4月	富士見1 - 3 - 41に移転	
昭和38年度			組織改正により民生部衛生課となる
昭和42年度			組織改正により市民部衛生課となる
昭和45年度	4月	神奈川県相模原保健所大野支所を上鶴間5326に開設	
	5月	神奈川県食肉衛生検査所相模原駐在所を設置	
昭和46年度			組織改正により衛生部衛生課となる
昭和47年度	2月	神奈川県相模原合同庁舎新築に伴い本所が富士見6 - 5 - 8に移転	
		神奈川県高相合同庁舎新築に伴い大野支所が相模大野6 - 3 - 1に移転	
昭和49年度			組織改正により市民部市民健康課となる
昭和50年度		神奈川県食肉衛生検査所相模原駐在所が出張所へ昇格	
昭和54年度			組織改正により市民部健康づくり課となる
昭和57年度			組織改正により保健衛生部健康づくり課となる
昭和60年度	4月	神奈川県行政組織規則の一部改正により保健衛生部及び環境衛生部を設置、管理課、保健衛生部（保健予防課、衛生検査課、健康指導課）、環境衛生部（環境衛生課、食品衛生課）及び大野支所の2部6課1支所となる	
平成5年度			新たに保健指導を専門的に行う部署として保健指導課を設置
平成7年度			保健指導課南保健指導班を設置
平成9年度	4月	神奈川県行政組織規則の一部改正により大野支所を廃止する。新たに企画調整室を設置し、管理課、保健福祉部（保健福祉課、保健予防課）、生活衛生部（環境衛生課、食品衛生課）、衛生検査課の1室2部6課となる。相模原保健福祉事務所として発足。	平成9年4月から地域保健法の全面施行に伴い、地域住民に身近な母子保健サービス等が県から市に移管される 相模原市母子保健計画を策定
平成10年度			保健所政令市の設置に向け保健所準備課を設置
平成11年度	3月	保健所政令市の設置に伴い、相模原市保健所が設置されることにより、神奈川県相模原保健福祉事務所（相模原保健所）を廃止	6月25日地域保健法施行令の一部改正

	世界の動き 国の動き 市の動き	相模原市保健所の動き	保健所職員
平成12年度 (2000年)	「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21)」スタート(H12年~H22年) 保健事業第4次計画スタート(H12年~H16年度) 介護保険制度スタート	・4月1日 保健所政令市となる。保健福祉部保健所を開設。地域保健課、保健予防課、生活衛生課(食肉衛生検査所含む)、衛生試験所、中央保健センターの各課を設置 ・4月1日 相模原市総合保健医療センター(ウェルネスさがみはら)開館 ・同センターに「保健と福祉のライブラリー」を開所 ・10月28日 さがみはら健康都市宣言	161名 市職員 = 125名 県職員 = 36名 県から5年間の人的支援開始
平成13年度 (2001年)	「健やか親子21」スタート(H13年~H22年)	・3月31日 神奈川県内のと畜場の統合に伴い相模原市食肉衛生検査所を廃止 ・10月 全国に先駆け「保健所における児童虐待予防対応マニュアル」作成	163名 市職員 = 132名 県職員 = 31名
平成14年度 (2002年)	3月 新型肺炎SARSが世界規模で広がり、WHOが緊急警報 8月 健康増進法スタート	・相模原市保健医療計画~みんな元気「さがみはら健康プラン21」スタート(~H22)	159名 市職員 = 140名 県職員 = 19名
平成15年度 (2003年)	4月1日 中核市に移行 4月 新型肺炎SARSが北京などで猛威 7月 津久井4町長から合併の申し入れ 1月 高病原性鳥インフルエンザが山口県で発生	・4月 中核市保健所として、県から新たに小児慢性特定疾患医療、育成医療、墓地等の経営の許可に関する業務等が権限移譲される。 ・「すこやか親子さがみはら21(相模原市母子保健計画)」スタート(~H22) ・第1回市民健康づくり推進月間を開始。街頭キャンペーン始まる。 ・6月1日 精神障害者地域生活支援センター「カミング」開所 ・2月11日 さがみはら市民健康づくり会議設立	168名 市職員 = 154名 県職員 = 14名
平成16年度 (2004年)	市制施行50周年 10月23日 新潟県中越地震発生 11月20日 50周年記念式典 2月26日 インドネシア・スマトラ島沖で巨大地震、津波が発生 2月18日 相模原市、城山町、津久井町、相模湖町が法定合併協議会設置合意書に調印	・4月 健康度評価事業開始(~H19年度) ・7月 医療観察法施行 ・10月24日 NHK健康フェア健康づくりのつどい開催(総合体育館、麻溝公園) ・10月 特定不妊治療費の助成開始 ・11月1日~26日 新潟県中越地震支援のため保健師(延べ10名)を川口町に派遣 ・12月 フィブリノゲン製剤の納入医療機関リスト公表に伴う相談業務開始 ・1月1日 八千代銀行相模原支店ウェルネス出張所にて県の手数料も収納可能に	170名 市職員 = 159名 県職員 = 11名 5年間にわたる県の専門職の人的支援終了
平成17年度 (2005年)	3月20日 相模原市、津久井町、相模湖町の1市2町合併 6月 食育基本法成立 6月 介護保険法一部改正 7月 小児慢性特定疾患治療研究事業の制度改正に伴い、「小児慢性特定疾患医療給付」が児童福祉法に法制化	・4月1日 保健所組織再編(主に地域保健課、中央保健センター) ・4月1日 結核予防法の改正に伴い、「相模原市結核診査協議会条例の一部を改正する条例」施行 ・4月 南保健福祉センター開設 ・4月「ひきこもり相談・支援事業」開始 ・7月1日 医療安全相談窓口を開設 ・8月31日~9月5日 第1回伊勢丹いきいき健康フェア開催 ・3月20日 津久井保健センター開設	190名 市職員 = 184名 県職員 = 6名

	世界の動き 国の動き 市の動き	相模原市保健所の動き	保健所職員
平成18年度 (2006年)	3月11日 相模原市、城山町、藤野町の1市2町合併 4月 障害者自立支援法施行 10月自殺対策基本法施行	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 衛生試験所を移転整備（環境保全に係る検査部門を統合） ・4月1日 介護保険法の一部改正に伴い「介護予防事業」が高齢者福祉課介護予防推進室へ移行 ・6月1日 結核患者に対する服薬支援事業（DOTS事業）開始 	206名 市職員 = 196名 県職員 = 10名
平成19年度 (2007年)	4月1日 市役所組織再編副市長制・局制を導入 4月 相模原麻溝公園競技場、小山公園ニュースポーツ広場オープン 4月 がん対策基本法施行 4月 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部改正（結核予防法廃止） 7月16日 新潟県中越沖地震発生 3月 老人保健法全面改正	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 保健所組織の再編（健康企画課、中央保健センター、南保健センター、津久井保健センター） ・4月1日 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行に関する規則施行 ・衛生試験所における検査体制の拡充（食品中の残留農薬検査、感染症発生動向に係る病原体検査の開始） ・保健医療計画及び母子保健計画の中間評価を実施 ・7月19日～8月13日 新潟県中越沖地震支援のため保健師（延べ10名）を柏崎市に派遣 	211名 市職員 = 205名 県職員 = 6名
平成20年度 (2008年)	6月 日米合同委員会で相模総合補給廠の一部（約17ha）返還合意 4月「特定健康診査及び特定保健指導」スタート	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 保健所組織再編（地域保健課、医事薬事課） ・4月「自殺総合対策事業」開始 ・4月「こんにちは赤ちゃん事業（乳児家庭全戸訪問事業）」開始 ・4月～9月 麻しんの流行に伴い「定期外麻しん予防接種」実施 ・6月「働く人の健康づくり地域・職域連携推進連絡会」設置 ・3月「相模原市食育推進計画」策定 ・神奈川県「病院等の開設等に関する指導要綱」に基づき、相模原二次医療圏の病床募集の実施 ・衛生試験所における水系感染症検査の充実（クリプトスポリジウム） 	214名 市職員 = 210名 県職員 = 4名
平成21年度 (2009年)	4月 新型インフルエンザ（A/H1N1）がメキシコ及び米国で発生 4月 「こんにちは赤ちゃん事業」が児童福祉法一部改正に伴い、法制化 5月 国内初の新型インフルエンザ感染者が発生 6月 新型インフルエンザの世界的な流行に伴い、世界保健機関（WHO）が警戒水準をフェーズ6に引き上げ 10月 全国で19番目の政令指定都市として閣議決定	<ul style="list-style-type: none"> ・4月「相模原市新型インフルエンザ対策本部」設置 ・6月「相模原市新型インフルエンザ医療対策会議」設置 ・3月「働く人の健康づくり地域・職域連携推進連絡会」事業計画作成 ・衛生試験所における検査体制の拡充（クオンティフェロン検査(QFT)、新型インフルエンザウイルス遺伝子検査の実施) 	215名 市職員 = 214名 県職員 = 1名

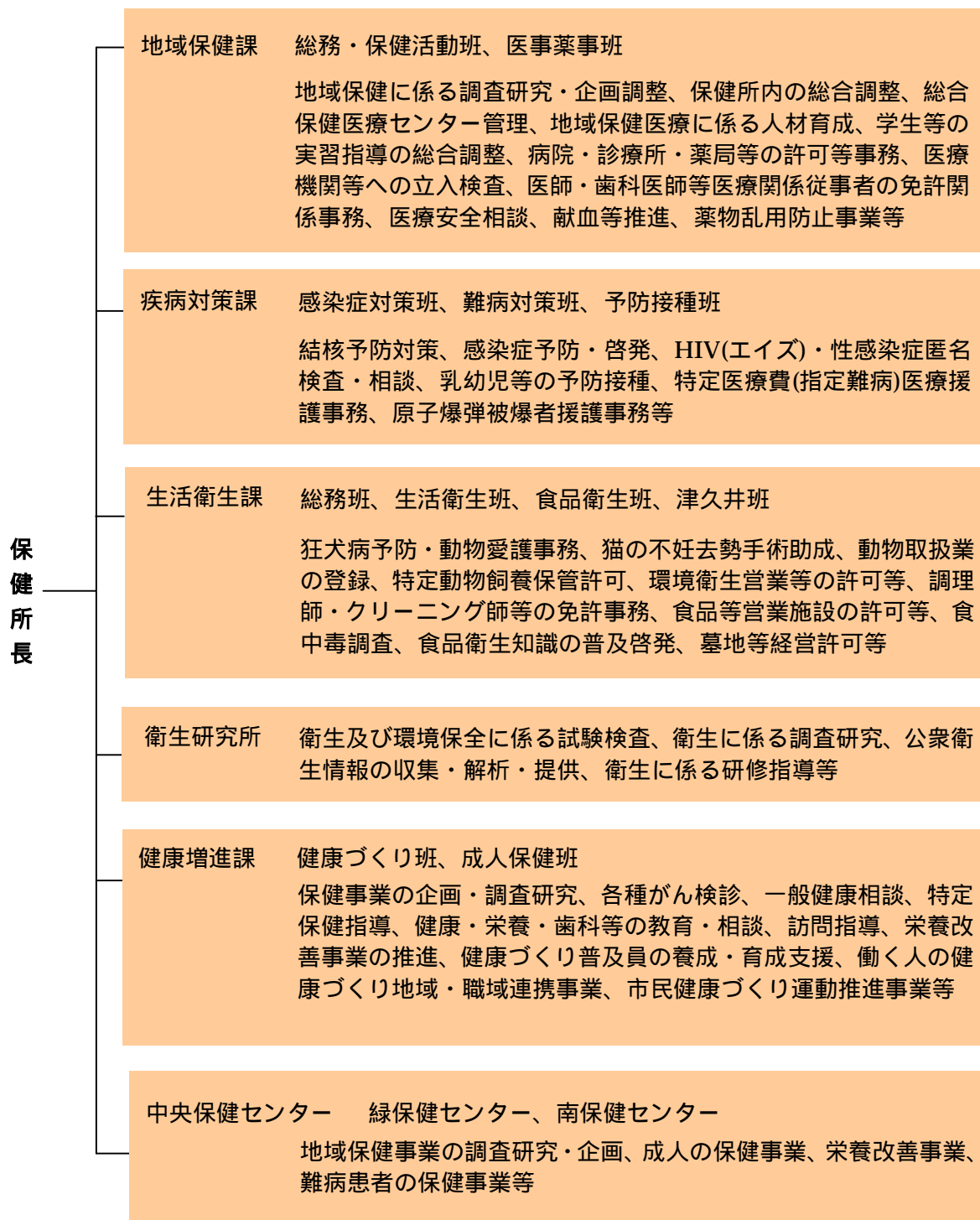
	世界の動き 国の動き 市の動き	相模原市保健所の動き	保健所職員
平成22年度 (2010年)	<p>4月 政令指定都市移行</p> <p>4月 宮崎県で口蹄疫発生</p> <p>4月 神奈川県受動喫煙防止条例施行</p> <p>6月 小惑星探査機「はやぶさ」帰還</p> <p>3月11日 東日本大震災発生</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 保健所組織再編（疾病対策課、緑保健センター）、福祉部に精神保健福祉課、精神保健福祉センター、城山保健福祉課、津久井保健福祉課、相模湖保健福祉課、藤野保健福祉課 ・4月 肝炎インターフェロン治療等医療費助成制度の拡充 ・4月 政令指定都市移行により、県から動物取扱業の登録及び特定動物飼養保管の許可について事務移譲、「相模原市動物の愛護及び管理に関する条例」施行 ・1月 検査体制の拡充のため衛生試験所の改修（3月終了） ・3月 子宮頸がん等予防接種事業を開始（任意予防接種：子宮頸がん予防、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種） ・3月14日～ 東日本大震災支援のため、保健師を大船渡市に派遣 	176名 市職員 = 174名 県職員 = 2名
平成23年度 (2011年)	<p>4月 ユッケによる集団食中毒発生</p> <p>12月 受入医療機関確保基準「相模原ルール」策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月6日～ 青山学院大学の協力の下、市内簡易水道水の放射性物質検査開始（5月終了） ・4月28日 大船渡市へ派遣していた保健師の最終隊が帰還（延べ148名） ・5月24日 衛生試験所にゲルマニウム半導体検出器を導入 ・6月7日～ 衛生試験所における放射性物質検査開始 	177名 市職員 = 177名
平成24年度 (2012年)	<p>7月1日 食品衛生法の改正により、牛のレバーを生食用として販売・提供することを禁止</p> <p>10月1日 路上喫煙の防止に関する条例施行</p> <p>12月 山中伸弥氏ノーベル医学生理学賞受賞</p> <p>3月15日 bono相模大野オープン</p> <p>3月18日 緑区合同庁舎オープン（緑保健センターも同所に移転）</p> <p>3月30日 さがみ縦貫道路 相模原愛川IC開通</p> <p>3月～ 中国で鳥インフルエンザ（H7N9型）感染者が死亡</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日～ 相模原市がん検診受診促進パートナー制度開始 ・4月1日 相模原市食育推進委員会条例施行 ・4月 母子保健事業推進協議会廃止 ・4月 母子保健事業推進懇談会設置 ・4月 歯科保健事業推進懇談会設置 ・5月～ がんピアサポート事業開始 ・6月1日～ 市民の持ち込みによる食品の放射性物質検査を開始 ・9月1日 不活化ポリオワクチン個別予防接種開始 ・11月1日 四種混合（百日せき・ジフテリア・破傷風・不活化ポリオ）ワクチンが定期予防接種に ・3月 相模原市保健医療計画～みんな元気「さがみはら健康プラン21」策定（平成25年度～29年度） ・3月 相模原市母子保健計画 - すこやか親子さがみはら21 - 策定（平成25年度～29年度） 	176名 市職員 = 176名

	世界の動き 国の動き 市の動き	相模原市保健所の動き	保健所職員
平成25年度 (2013年)	<p>6月22日 富士山が世界文化遺産に登録決定</p> <p>9月7日 2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定</p> <p>9月9日 市自殺対策HP「リブちゃんネル」開設</p> <p>10月1日 消費税率8%へ引き上げ決定(平成26年4月～)</p> <p>10月10日 ペアナードオダサガ オープン</p> <p>10月17日 相模総合補給廠北側外周部分の一部返還が日米合同委員会で合意</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日 地方分権一括法(第2次一括法)の施行に伴い、県から理・美容所、クリーニング所、旅館業、興行場及び公衆浴場の衛生措置基準の設定等について権限移譲 ・4月1日～ 子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンが定期予防接種に ・4月1日～ 40～59歳の人を対象に、胃がん検診に内視鏡検査を導入 ・4月26日～ 大人の風しん予防接種の費用助成開始 ・5月 「不妊・不育専門相談」開始 ・6月14日～ 子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨差し控え ・9月2日～ 高齢者の肺炎球菌予防接種の費用助成開始(12月終了) ・11月 相模原市新型インフルエンザ等対策行動計画策定 ・1月6日～ 13価ワクチンによる小児用肺炎球菌ワクチン補助的追加接種への費用助成開始(3月終了) ・3月 第2次相模原市食育推進計画策定(平成26年度～30年度) ・3月 相模原市歯と口腔の健康づくり推進計画策定(平成26年度～29年度) ・3月 母子保健事業推進懇談会廃止 ・3月 歯科保健事業推進懇談会廃止 ・3月 歯科保健事業推進審議会設置 	183名 市職員 = 183名
平成26年度 (2014年)	<p>市制施行60周年</p> <p>4月1日 消費税8%スタート</p> <p>4月1日 相模原麻溝公園第2競技場オープン</p> <p>6月28日 圏央道の市内区間が全線開通</p> <p>8月 エボラ出血熱でWHOが緊急事態宣言</p> <p>8月 デング熱の国内感染を確認</p> <p>9月1日 九都県市合同防災訓練実施</p> <p>1月1日 難病の患者に対する医療等に関する法律施行</p> <p>3月14日 北陸新幹線開業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・4月1日～ 40～59歳としていた胃がん検診内視鏡検査の対象年齢の上限を撤廃し、対象年齢を拡大 ・～8月 衛生試験所における食品検査項目の拡充(指定外添加物)、および感染症検査体制の確立(デングウイルス、腸管出血性大腸菌O157迅速遺伝子配列比較法) ・10月1日～ 水痘、高齢者の肺炎球菌ワクチンが定期予防接種に ・1月1日 小児慢性特定疾病医療費助成制度改正 ・2月 「相模原市保健師の保健活動に関する指針」策定 ・3月2日 全国健康保険協会(協会けんぽ)神奈川支部と「健康づくりの推進に関する覚書」締結 	198名 市職員 = 198名
平成27年度 (2015年)	<p>緑区区制施行5周年</p> <p>無錫市友好都市締結30周年</p> <p>9月19日 安全保障関連法が成立</p> <p>10月5日 共通番号(マイナンバー)制度関連法が施行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1月20日より特定不妊治療費の助成額を拡充 ・4月 衛生試験所が衛生研究所へ移行 ・6月～10月 デング熱等蚊媒介ウイルスのサーベイランスの実施 ・7月～ 健康増進事業の内容を変更し、新たに「生活習慣病予防運動教室」を開始 ・1月1日～ 妊婦健康診査費助成拡充 ・～3月 衛生研究所における検査体制の拡充(ミネラルウォーター類の検査法の確立、輸入加工食品の有機リン系農薬の検査法の確立、ジカウイルス検査体制の確立、感染症発生動向調査のノロウイルス遺伝子解析の確立) 	204名 市職員 = 204名

<p>平成28年度 (2016年)</p>	<p>2月 WHOがジカ熱の流行について緊急事態を宣言 3月26日 北海道新幹線が開業 3月29日 安保法(平和安全法制)が施行 4月14・16日熊本地震発生 6月19日 「18歳選挙権」施行 7月26日 相模原障害者施設殺傷事件</p>	<p>・H28年4月～H29年3月 難病法の権限移譲に係る移譲事務の検討において、本市が指定都市を代表して、国との交渉役を担い、国と指定都市との合意を締結 ・～3月 衛生研究所における検査体制の拡充(指定外着色料検査法の確立、残留農薬検査の対象作物の拡充等) ・3月31日 保健と福祉のライブラリーが閉館 ・4月20日～6月30日 熊本地震災害支援のため、保健師等を熊本県に派遣 ・6～10月 ジカ熱等蚊媒介ウイルスのサーベイランスの実施 ・9月～ さがみはら健康ポイント制度(モデル事業)を開始 ・10月1日～ B型肝炎ワクチンが定期予防接種に ・10月7日 公益社団法人相模原市薬剤師会と「薬物乱用防止啓発事業の実施に係る基本協定書」締結 ・10月21日 保健と福祉のライブラリーがウェルネスさがみはら2階に移転し、開館時間を午後5時までに短縮</p>	<p>202名 市職員 = 202名</p>
<p>平成29年度 (2017年)</p>	<p>日系英国人のカズオ・イシグロがノーベル文学賞を受賞 プレミアムフライデー初実施 7月 特定外来生物「ヒアリ」が県内で確認。全国に先駆け「ヒアリコールセンター」を開設 10月 国の健康・医療戦略に「未病」が明記 ME-BYOサミットの国際シンポジウムを箱根で開催。 3月 神奈川県保健医療計画改定・2025年を見据えた地域医療構想の推進</p>	<p>・4月1日 保健所組織再編(地域保健課・健康増進課・中央保健センター) ・市の組織改編に伴い、母子保健業務は、こども・若者未来局に移管 ・6～10月 ジカ熱等蚊媒介ウイルスのサーベイランスを実施 ・10月 乳がん予防啓発のため、ウェルネスさがみはらのピンクライトアップを開始(点灯期間:10月25日～31日) ・12月～糖尿病性腎症重症化予防事業開始 ・～3月 衛生研究所における検査体制の拡充(甘味料、動物用医薬品、家庭用品の項目の拡充等) ・3月 相模原市保健医療計画(第2次後期)～みんな元気「さがみはら健康プラン21」策定(平成30年度～34年度) ・3月 第2次相模原市歯と口腔の健康づくり推進計画策定(平成30年度～34年度) ・3月 第4次相模原市母子保健計画 - すこやか親子さがみはら21 - 策定(平成30年度～34年度)</p>	<p>150名 市職員 = 150名</p>
<p>平成30年度 (2018年)</p>	<p>6月 15年ぶりとなる食品衛生法の大改正(HACCPの制度化など) 6月15日 住宅宿泊事業法(民泊新法)が施行 平成30年7月豪雨災害発生</p>	<p>・4月1日 難病法第40条大都市特例規定により、県から難病法の事務が移譲される ・4月～ 衛生研究所において国との共同研究事業を開始 ・相模原市協同病院の移転に伴い、感染症病床の施設・設備整備費について、補助制度を創設 ・骨粗しょう症予防事業を委託から直営へ変更 ・6月～10月 ジカ熱等蚊媒介ウイルスのサーベイランスの実施 ・7月～「健活!さがみはら～みんなで伸ばそう健康寿命～」をキャッチフレーズとした健康づくりの啓発促進キャンペーンを開始 ・7月24日～8月2日豪雨災害支援のため保健師等を広島県竹原市に派遣 ・1月 保健所一般健康相談は身近な地域の医療機関等の案内や各保健センターの健康相談等へ事業を転換 ・1月 衛生研究所内に感染症情報センターを設置。市民向けの情報発信を疾病対策課から衛生研究所へ移管 ・3月 第3次相模原市食育推進計画策定(令和元年度～4年度) ・～3月 衛生研究所における検査体制の拡充(成分基格項目の拡充等)</p>	<p>149名 市職員 = 149名</p>

6 組織

(平成30年度)



7 保健・医療・福祉関係施設

平成 31 年 3 月 31 日現在

施設別	施設数	施設別	施設数
医療施設等		障害者支援施設	
病院	37	障害児通所施設（センター）	
一般診療所	427	福祉型児童発達支援センター	3
歯科診療所	369	医療型児童発達支援センター	1
助産所	17	障害児入所施設	
（うち出張専門）	7	福祉型障害児入所施設	1
		医療型障害児入所施設	2
薬事施設		地域活動支援センター	
薬局	295	地域活動支援センター	9
医薬品販売業	174	精神障害者地域活動支援センター	4
施術所		児童福祉施設	
あんま・はり・きゅう	651	公立保育所	24
（うち出張専門）	293	私立保育所	83
柔道整復	266	公立幼保連携型認定こども園	1
保健福祉施設		私立幼保連携型認定こども園	18
養護老人ホーム	1	助産施設	2
特別養護老人ホーム	43	乳児院	1
介護老人保健施設	13	母子生活支援施設	1
介護療養型医療施設	6	児童養護施設	2
ケアハウス	9		
グループホーム	70		
地域包括支援センター	29		
訪問看護ステーション	51		
デイサービスセンター	247		
老人福祉センター	3		
ふれあいセンター	2		

8 保健所職員体制

平成30年4月1日現在

	合計 (人)	医師	歯科 医師	事務	保健 師	管理 栄養士	歯科 衛生士	診療 放射線 技師	獣 医師	薬 剤師	臨床 検査 技師	化学
保健所	1	1										
地域保健課	19			7	3			1		8		
疾病対策課	22	1		11	8			1		1		
生活衛生課	36			5					19	12		
衛生研究所	18			2					2	6	3	5
健康増進課	30		2	11	9	6	2					
中央保健センター (緑・南保健センター含む)	23			4	18	1						
合 計	149	2	2	40	38	7	2	2	21	27	3	5

9 保健所における収支決算状況

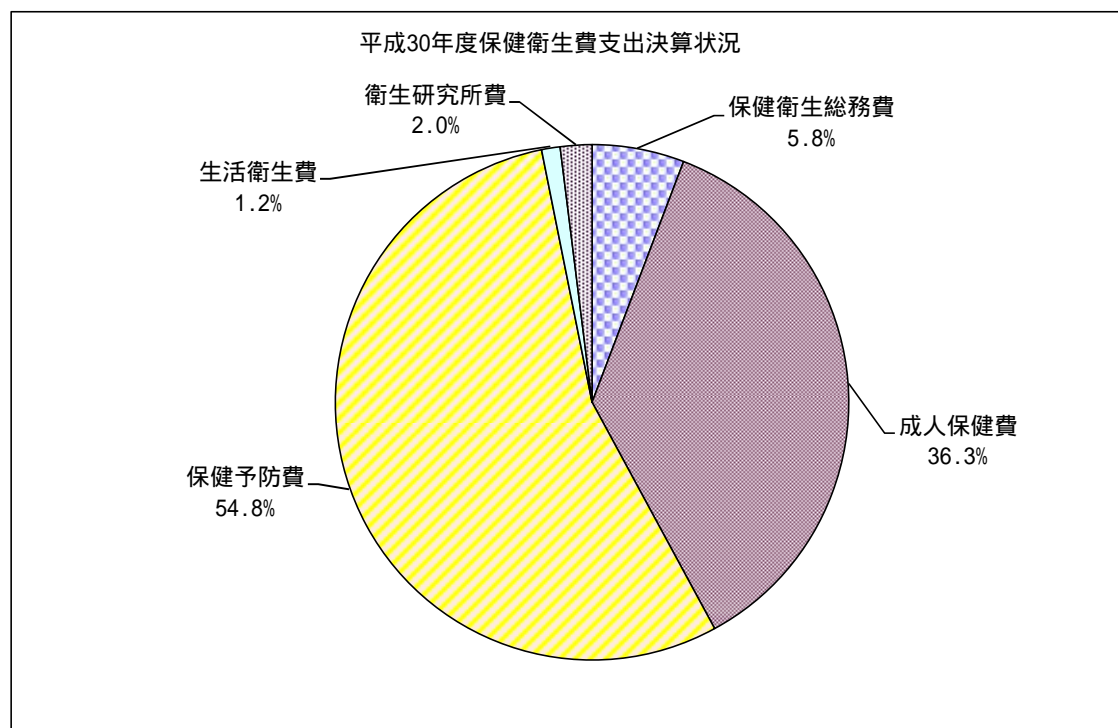
(1) 収入決算額

(円)

	平成30年度	平成29年度
計	520,998,788	174,914,061
分担金及び負担金	2,882,562	
使用料及び手数料	71,897,167	75,150,236
国庫支出金	426,904,442	81,795,919
県支出金	1,838,780	1,406,430
財産収入	4,788,751	4,780,395
繰入金	62,300	5,000
諸収入	12,624,786	11,776,081

(2) 支出決算額

	平成30年度	平成29年度
計	4,658,937,842	3,861,414,685
衛生費 保健衛生費計	4,657,595,715	3,860,013,890
保健衛生総務費	269,551,684	269,378,244
成人保健費	1,691,119,459	1,629,223,542
保健予防費	2,550,350,381	1,804,335,565
生活衛生費	53,938,401	61,152,401
衛生研究所費	92,635,790	95,924,138
総務費 総務管理費計	1,342,127	1,400,795
人事管理費	1,342,127	1,400,795



第2章

市民総ぐるみ健康づくり運動

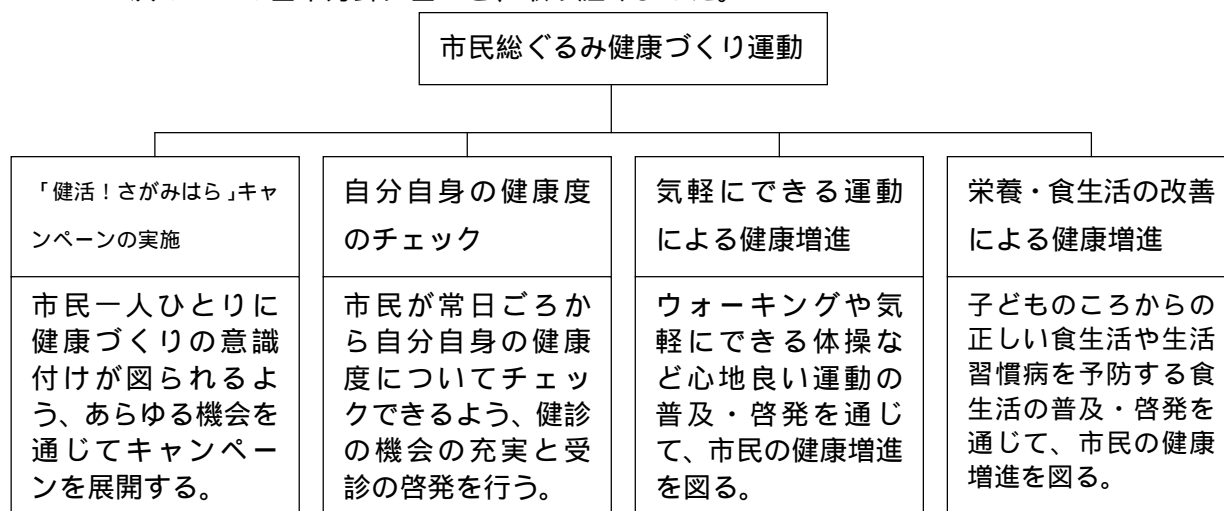
1 市民総ぐるみ健康づくり運動

本市は、平成 12 年に「さがみはら健康都市宣言」を行い、その理念に基づき、保健医療計画『みんな元気「さがみはら健康プラン 21」』を策定し、市民の健康増進に取り組んでいます。

健康づくりは、すぐに結果がでるものではなく、息の長い取り組みが必要なため、個人、家庭、地域社会が一体となって気軽に楽しく健康づくりに取り組めるよう、今後も継続して同運動を推進していきます。

(1) 基本方針

次の 4 つの基本方針に基づき、取り組みました。



(2) 事業推進体制

ア 市民による健康づくり推進組織

平成 16 年 2 月に設立した市民によるボランティア組織「さがみはら市民健康づくり会議」とのパートナーシップによる全市的な健康づくり運動を円滑に推進しました。

イ 庁内推進組織

全庁横断的な取り組みとして、平成 15 年 5 月に「市民総ぐるみ健康づくり運動推進会議」を組織し、関係各課の連携により、事業を支援しました。

(3) 市民健康づくり推進月間

10 月 15 日～11 月 14 日の「市民健康づくり推進月間」に重点的に健康づくりの必要性を市民に周知し、健康意識の高揚を図りました。特に、「アリオ橋本店」における街頭キャンペーンでは、市民自らの健康づくりのきっかけとなるよう、健康測定などを実施しました。

2 健活！さがみはら

相模原市保健医療計画(第 2 次後期)の開始に伴い、市民一人ひとりが健康でいきいきと暮らすことができる社会の実現に向け、「健活！さがみはら～みんなで伸ばそう 健康寿命～」をキャッチフレーズに市民の健康づくりを推進しました。

手軽にできる運動や、食事へのアドバイスなどを市ホームページに掲載したり、生活習慣病予防の講座や運動教室を実施したりするなど、市民の健康づくりを応援する事業を実施しました。

3 健康フェスタ

市民の健康づくりについての意識の高揚を図るため、市民によるボランティア組織「さがみはら市民健康づくり会議」と連携し、開催しました。

ア 名称

み～んなで体験！楽しく健康づくり
～健活！さがみはら 健康フェスタ 2018～

イ 開催日

平成 30 年 10 月 20 日(土)

ウ 会場

ウェルネスさがみはら全館、けやき体育館

エ 来場者

700 人

オ 実施内容

- (ア)講演会 「腎臓のお話」
講師 竹内 康雄 氏 (北里大学医学部 腎臓内科 科長・教授)
- (イ)講座 「ボールを使う体操で、楽しみながら健康づくり！」
講師 長野 信一 氏 (元NHKテレビ・ラジオ体操指導者)
「笑い与健康のリフレッシュ体操」
講師 木下 祐一 氏 (日本体操研究所 健康運動指導士)
- (ウ)相談コーナー 医科・歯科・薬 他
- (エ)体験コーナー 体力測定、体組成測定、骨密度測定、肌水分測定、血管年齢測定、簡単貧血チェック、キッズ調剤体験、化学実験体験コーナー 他
- (オ)その他 クイズラリー、各種展示コーナー、バルーンアート

4 健幸ポイント制度 (モデル事業)

運動・スポーツの活動を始め習慣化を図るため、健康づくり活動(月の平均歩数、体組成の計測、市指定事業へ参加、健診結果提出等)にインセンティブを付与する事業を実施しました。(モデル実施期間：平成 28～30 年度)

- ・参加者 40 歳以上の市民 = 1,000 人 (平成 30 年度参加者 : 965 人)

5 働く人の健康づくり地域・職域連携事業

働き盛り層をターゲットに健康づくりを推進するため実施しました。

(1) 働く人の健康づくり地域・職域連携推進連絡会

働く人に関連する団体や機関がネットワークを構築し、健康な職場づくり・地域づくりを推進するために開催している連絡会（下部組織に作業部会）において、情報交換・課題の明確化、保健医療資源の相互活用、保健事業の協働実施等を行いました。

【連絡会・作業部会】

	内 容	実施回数	出席者数 (実)	関係課・ 機関 (実)
連絡会	平成 30 年度事業計画、各構成機関の取組について情報交換 各構成機関からの情報提供・意見交換 講演会への参加 平成 30 年度実施報告、平成 31 年度事業計画(案)について	2	33 (13)	22 (12)
作業部会	平成 30 年度事業計画、各構成機関の取組について情報交換 企業訪問・インタビューの実施とまとめ リーフレット「わが家わが社の健康経営～中小企業紹介編 2018～」作成(5,000部) 平成 31 年度事業計画(案)について	4	63 (20)	33 (11)

内 1 回は連絡会と同時開催

【連絡会事業】

事業名	場所	回数	参加者数	内容(テーマ)
企業訪問インタビュー		5社		中小企業へ訪問し、事業主へのインタビューや、従業員を対象としたアンケートを実施し、健康づくりや健康経営について支援を行うとともに、その結果をリーフレット等にまとめて周知した。
健康づくり 懇談会	城山商工会	1回	理事 13名	運動、健康経営紹介
	津久井商工会	1回	理事 15名	運動、健康経営紹介

(2) 連携事業の実施

職域保健で実施された各種事業の際に、保健所事業を紹介するチラシ等の配布や、ブースを設けて健康チェックや健康づくりに関するパネル展示等を実施しました。また、依頼のあった企業等に健康教育や健康相談等を行いました。

【職域保健における各種大会等での普及啓発事業（健康相談・健康教育を含む）】

事業名	内 容	回数	参加者数（延）
各種大会・イベント等の機会を利用したの連携事業	健康度測定・健康相談・パネル展示等（生活習慣病・CKD、歯の健康、風疹予防、健康経営等）	6回	1,241名
全国保険協会神奈川支部健康保険委員研修会	健康教育	2回	75名
事業所等からの依頼を受けての連携事業	健康教育・健康測定等	37回	1,741名
その他（健康記事の提供）	相模原商工会議所会報（健康経営） 建災防相模原分会会報（健康経営） 協会けんぽ健診ガイド（がん検診）	3回	-
合 計		48回	3,057名

* 各所属で実施されている事業の再掲

【働き盛り層のメンタルヘルスケア支援事業】

神奈川県相模原地域産業保健センター等と連携し、働き盛り層及び一般市民を対象にメンタルヘルスに関する講演会等を実施しました。

事業名	内 容	回数	参加者数（延）
ストレス講演会・個別相談	「ストレスコントロールと睡眠～アンガーマネジメントからのヒント～」 個別相談	1回	講演会 49名 (再掲)個別相談 5名
合 計		1回	49名

* 各所属で実施されている事業の再掲

第3章

総務

1 統計調査

調査名	実施時期	対 象	内 容
国民生活基礎調査	6月7日	市内7地区	国民生活(保健・医療・福祉・年金・所得等)の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の基礎資料を得るために実施
21世紀成年者縦断調査	11月	厚生労働省がインターネットにて実施	調査対象となった男女の結婚、出産、就業等の実態及び意識の経年変化を継続的に観察し、少子化対策等厚生労働行政の基礎資料を得るために実施
中高年者縦断調査	11月	厚生労働省が郵送にて実施	中高年者世代の男女を追跡して、その健康・就業・社会活動について、意識面・事実面の变化の過程を継続的に調査し、高齢者対策等厚生労働行政の基礎資料を得るために実施
患者調査	H29年10月17～19日 (3年毎)	41医療機関利用患者	病院及び診療所を利用する患者について、その傷病の状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得るために実施
受療行動調査	H29年10月19日 (3年毎)	1医療機関利用患者	医療施設を利用する患者について、受療の状況や受けた医療に対する満足度等を調査し、今後の医療行政の基礎資料を得るために実施
医師・歯科医師・薬剤師調査及び業務従事者届	H30年12月31日 (2年毎)	市内全域	医師・歯科医師・薬剤師及びその他医療関係職種の仕事場所や業務種別等の分布を明らかにし、厚生労働行政等の基礎資料を得るために実施
医療施設静態調査	H29年10月1日 (3年毎)	市内全病院・診療所	医療施設の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得るために実施
医療施設動態調査	毎月1回	市内全病院・診療所	病院、診療所の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得るために実施・報告
病院報告	毎月1回	37病院・1診療所	病院及び療養病床を有する診療所を対象に患者数等の状況を把握し、医療行政の基礎資料を得るために実施
人口動態調査	毎月1回	市民	出生、死亡、死産、婚姻、離婚の人口動態事象を把握し、人口及び厚生労働行政施策資料とするために報告
衛生行政報告例	年度報(5月)	市保健施策	国、地方公共団体の衛生行政運営の基礎資料とするために報告
地域保健・健康増進事業報告	年度報(6月)	市保健施策	地域保健施策の効率・効果的な推進のための基礎資料とするために報告
国民健康・栄養調査	11月	市内2地区	健康増進法に基づき、国民の食品摂取量、栄養素等摂取量の実態を把握すると同時に栄養と健康との関係を明らかにし、広く健康増進対策等に必要の基礎資料を得ることを目的として実施
環境保健サーベイランス	通年(3歳6か月児健康診査時)	3歳6か月児	子どもの健康状態と大気汚染との関係を定期的・継続的に観察するために実施
	6月	6歳児	

2 保健所関係職員に対する職場研修

市の職員研修体系に基づき、保健所職員としての専門的知識と技術の習得及び地域ニーズに対応した地域保健活動が実施できる人材を育成するために保健所職場研修を実施しました。

(1) 集合研修

	テーマ	時間数	参加者数	講師
1	(保健所研修1) 保健所新任職員研修	4	17	庁内講師
2	(保健所・センター研修1) 地域づくりパワーUP講座	2	34	国際医療福祉大学大学院 教授 臺 有桂氏
3	(保健所・センター研修2) 明日からの実践に役立つ糖尿病セミナー	2	17	かなもり内科 院長 金森 晃氏
4	(保健所・センター研修3) 記録の書き方研修	2	9	庁内講師
5	(保健所研修2)高病原性鳥インフルエンザ等発生時の対応訓練	2	11	庁内講師
6	(保健所研修3) 災害時のペット対策について	1.5	38	イオンペット株式会社 松井 宏太氏
7	(保健所研修4)職場指導の進め方	5	2	庁内講師
8	(保健所研修5)職場指導員の役割	5	2	庁内講師
9	(保健所研修6-1)災害時の保健活動 ～いざという時のためのイメージトレーニング～	2	7	庁内講師
10	(保健所研修6-2) 事例から家庭訪問の機能や意味を考える	10	21	国際医療福祉大学大学院 教授 臺 有桂氏
11	(保健所研修7) プレゼンテーション技術とコツ	2.5	47	帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 教授 福田 吉治氏
12	(保健所研修8) 中堅期のキャリアデザインを考える	3	36	(財)日本生産性本部認定キャリア・コンサルタント 大倉 通宏氏
13	(保健所研修9) 部下を育て、自分も育つOJT	2	33	杏林大学保健学部看護学科 地域看護学研究室 教授 大木 幸子氏
14	(保健所研修10)大規模災害(地震・水害)時における住居環境・衛生対策	2	39	一般財団法人日本環境衛生センター 中臣 昌広氏
15	(保健所研修11) 公衆衛生研究発表会	3	43	庁内講師

16	(保健所研修 12) 地域保健関係専門派遣研修伝達研修会	3.5	61	庁内講師
17	(保健所研修 13) 保健活動調整担当等危機管理ミニ講座	6	44	庁内講師
18	(保健所研修 15) 実習指導者研修会	1	17	北里大学看護学部 講師 吉田 直子氏
19	(保健所研修 16) 針刺し事故研修 (H I V ダイナスクリーン検査の手技研修)	2	7	庁内講師
20	(保健所研修 17) 平成 30 年度衛生研究所研究発表会	3	29	神奈川県衛生研究所 稲田 貴嗣氏
21	(保健所研修 18) レジオネラ属菌検査研修	9	3	庁内講師

(2) 派遣研修

ア 専門派遣研修

国、県その他、結核研究所等民間専門機関が実施する研修に出席しました。

件数	延人数	実日数
99	272	248

3 医師臨床研修・学生実習等指導

(1) 学生実習合同オリエンテーション

保健所実習に先立ち、市の概要、保健福祉業務について実習予定の学生及び研修医を対象に合同でオリエンテーションを実施しました。

日 程	会 場	学校数	参加者数
4月20日(金) 午前9時～午後4時	ウェルネスさがみはら	9	47

(2) 実習受け入れ状況

区 分	学校数	人数	実日数
総 数	13	75	146
医 師	1	1	9
保 健 師 学 生	3	12	59
助 産 師 学 生	1	2	5
看 護 学 生	0	0	0
管 理 栄 養 士 学 生	6	19	45
食 品 衛 生 学 生	0	0	0
医 学 生	2	41	28
獣 医 学 生	0	0	0

4 表彰

(1) 神奈川県保健衛生表彰知事表彰(平成 30 年 11 月 19 日(月) 神奈川県庁)

本市表彰者数 : 7 件

功 勞 者

表彰区分	職業	人数
医療関係功勞者	医師	1
	歯科医師	1
	薬剤師	1
	准看護師	1
環境衛生関係功勞者	獣医師	1
食品衛生関係功勞者	飲食店営業	1
施設	ヘアークラブ・イーズィリー	1

(2) 相模原市保健衛生功勞者表彰(平成 30 年 11 月 13 日(火) 市民会館)

表彰者数 : 47 件

功 勞 者

表彰区分	職業	人数	表彰区分	職業	人数
医療関係功勞者	医師	3	環境衛生関係功勞者	理容師	2
	歯科医師	3		食品衛生関係功勞者	食品販売業
	薬剤師	1	飲食店関係者		3
	看護師	2	地域公衆衛生活動関係功勞者	管理栄養士	1
	歯科衛生士	1		食生活改善推進員	1
	診療放射線技師	1			
	臨床検査技師	1			
	柔道整復師	1			

施 設

営業の種類	施設数	営業の種類	施設数
理容所	2	飲食店	2

非常勤特別職等功勞者

学校医	6
学校医・保育所嘱託医	1
保健所医・健診医	4
学校歯科医	5
学校薬剤師	5
母子訪問相談員	1

5 訪問看護推進事業

相模原市内で訪問看護を行っている機関が連携し、保健・医療・福祉の円滑な推進を図り、市内全体の在宅看護の質を向上することを目的として相模原市訪問看護連絡会議を開催しました。また、訪問看護ステーションが組織する管理者会へ参加しました。

(1) 訪問看護等連絡会議

実施日	参加機関数	参加者数	内容
平成 30 年 10 月 10 日	41 【内訳】 訪問看護実施医療機関：1 訪問看護ステーション：25 その他関係機関：15 (庁内 10 機関含む)	52	・関係機関の活動報告 ・グループワーク テーマ「他職種の顔の見える連携に向けて ～小児・障害・難病事例から～」

市内で訪問看護に従事する看護職等を対象に研修会を実施しました。

実施日	参加機関数	参加者数	内容
平成 31 年 3 月 9 日	16	36	テーマ： 「在宅療養者を支援している関係職種との連携について ～救急隊の視点から～」 ・講義と講習 (心肺蘇生法と A E D の実技) ・講師：相模原市消防局救急課 職員

(2) 訪問看護ステーション管理者会

月 1 回開催される訪問看護ステーション管理者会に参加し、訪問看護上の課題等を把握しました。

第 4 章

医事薬事事業

1 医 事

(1) 医 務

病院、診療所、医療法人等の許認可申請、届出の受理及び立入検査・指導を行い地域医療の向上を図りました。病院等に対する立入検査では、人員配置、構造設備、医療安全対策及び衛生管理等の確認を行いました。

また、救急病院等について県への経由事務を行いました。

ア 医療施設数等

各年度末現在

業種 年度	病院	一般診療所		歯科診療所	医療法人	助産所	あはき		柔道整復所	歯科技工所	衛生検査所	
		有床					出張専門	出張専門				
H28年度	37	423	(12)	372	196	17	(6)	611	(279)	247	103	5
H29年度	37	424	(12)	366	200	17	(6)	637	(285)	255	105	5
H30年度	37	427	(12)	369	206	17	(7)	651	(293)	266	110	5
緑区	11	101	(3)	76	41	6	(2)	147	(56)	54	23	1
中央区	9	138	(3)	134	76	2	(0)	237	(97)	105	49	2
南区	17	188	(6)	159	89	9	(5)	267	(140)	107	38	2
10万人対	5.1	59.1	(1.7)	51.1	28.5	2.4	(1.0)	90.2	(40.6)	36.8	15.2	0.7

「あはき」とは、あん摩マッサージ指圧・はり・きゅうのことをいう。以下同じ。

()内は一般診療所、助産所及びあはきによる内数

10万人対は平成31年4月1日現在の人口を基準とした10万人対施設数

イ 病床数

各年度末現在

種別 年度	合計	病 院 病 床 数						一 般 診療所
		小 計	一 般	療 養	精 神	結 核	感染症	
H28年度	7,800	7,643	3,875	2,733	1,029	0	6	157
H29年度	7,784	7,640	3,920	2,685	1,029	0	6	144
H30年度	7,693	7,549	3,920	2,594	1,029	0	6	144
緑区	2,183	2,135	784	884	461	0	6	48
中央区	1,217	1,184	840	344	0	0	0	33
南区	4,293	4,230	2,296	1,366	568	0	0	63
10万人対	1,065.6	1,045.7	543.0	359.3	142.5	0.0	0.8	19.9

10万人対は平成31年4月1日現在の人口を基準とした10万人対病床数

ウ 医療従事者数

平成 30 年 12 月 31 日現在(隔年調査)

	医 師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯 科 衛生士	歯 科 技工士
総数	1,757	534	1,685	218 (1,375)	206 (254)	5,861 (6,284)	1,018 (1,329)	640	185

平成 30 年医師・歯科医師・薬剤師調査及び業務従事者届の市受理件数
()内は他資格で従事している者を含む

エ 医務関係許可等取扱い件数

業種 項目	病院 *1		一 般 診療所*1		歯 科 診療所*1		医療 法人*2	助産所 *3	あはき *3	柔 道 整復所	歯 科 技工所	衛 生 検査所	
申 請	開 設	1	-	49	-	7	-	4	0	-	-	-	0
	使 用	19	-	0	-	0	-	13	0	-	-	-	-
	変更等	33	-	4	-	3	-	0	0	-	-	-	1
届 出	開 設	0	13	59	78	16	47	186	1 (1)	43 (19)	22	5	-
	休廃止	0	12	62 (56)	80	13 (13)	37	1	1 (0)	28 (11)	14	0	0
	変更等	49	35	218	8	38	1	294	0	95	89	7	4
計	102	60	392	166	77	85	498	2	166	125	12	5	

*1 休廃止は、休止、廃止、再開、死亡及び失そう届、()内は廃止・死亡・失そう内数、右列はエックス線の届出数

*2 件数については、上から設立認可、変更認可、その他認可(選任)、登記事項届、解散届、その他届出の順

*3 ()内は出張専門による内数

オ 立入検査実施状況(施設数)

業種 項目	病院	一 般 診療所	歯 科 診療所	医療 法人	助産所	あはき	柔 道 整復所	歯 科 技工所	衛 生 検査所
新規立入	0	34	15	-	0	25	23	4	0
定期立入	37	4	-	-	2	-	-	-	5
変更確認	21	15	8	-	0	3	3	0	2
苦情等	3	2	0	0	0	2	0	0	0

定期立入については、病院、透析診療所、有床診療所のうち実際に入院患者を受け入れている施設、入所施設を有する助産所及び衛生検査所を対象に実施

(2) 免許事務

医療従事者の免許について、県への経由事務を行いました。

免許事務取扱い件数

申請区分 種別	登録申請	籍訂正 書換え	再交付	登録抹消 免許返納	計
医 師	29	25	2	1	57
歯 科 医 師	4	7	1	1	13
薬 剤 師	69	49	9	2	129
診 療 放 射 線 技 師	15	4	1	0	20
診 療 エ ッ ク ス 線 技 師	-	0	0	0	0
臨 床 検 査 技 師	35	14	3	0	52
衛 生 検 査 技 師	-	2	1	0	3
理 学 療 法 士	40	12	0	1	53
作 業 療 法 士	22	10	0	0	32
視 能 訓 練 士	11	2	0	0	13
保 健 師	44	60	1	0	105
助 産 師	20	5	1	0	26
看 護 師	273	172	14	0	459
准 看 護 師	15	14	5	0	34
管 理 栄 養 士	59	36	1	0	96
栄 養 士	36	50	14	0	100
受胎調節実地指導員	2	0	0	0	2
死体解剖資格認定	1	0	0	0	1
計	675	462	53	5	1,195

薬剤師は籍訂正申請及び書換え申請の合計数

(3) 医療安全相談窓口 (平成 30 年度)

医療機関に対する患者や家族等からの苦情や相談に対応することで、市民と医療機関との信頼関係の構築を支援しました。

ア 相談件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	111	128	100	118	137	104	136	136	95	108	94	112	1,379

イ 相談者数

	男	女	計
本人	377	506	883
家族	122	330	452
その他	18	26	44
計	517	862	1,379

ウ 相談内容

区分	件数
健康や病気に関すること	587
医療行為、医療内容	223
医療機関の紹介、案内	199
コミュニケーションに関すること	116
医療費関係(診療報酬)	103
薬に関すること	49
医療情報に関すること	13
医療機関の施設	13
医療知識に関すること	9
セカンドオピニオン	7
カルテ開示	3
その他	57
計	1,379

エ 対応方法(複数計上)

区分	件数
アドバイス(医療機関の案内含む)	1,370
医療機関へ伝達	38
他機関の紹介	7
その他	6
計	1,421

2 薬 事

(1) 薬 務

薬局・医薬品販売業等の許可申請、毒物劇物販売業等の登録申請、届出の受理及び監視・指導を行い、医薬品等の品質及び安全性の確保、毒物劇物の適正な管理及び販売の徹底を図り、営業者等による自主管理の促進及び事故防止に努めました。

ア 薬局・医薬品販売業等施設数

各年度末現在

業種 年度	薬 局	薬局製造 販売医薬品		医薬品販売業			高度管理 医療機器等		管理医療機器		製 品 販 売 業 再 生 医 療 等
		販 売 業 造	製 造 業	店 舗	卸 売	特 例	販 売 業	貸 与 業	販 売 業	貸 与 業	
H28年度	297	22	22	115	47	1	296	112	2,155	178	5
H29年度	296	22	22	117	54	0	302	119	2,207	188	5
H30年度	295	21	21	118	56	0	309	121	2,226	198	5
緑区	64	2	2	25	11	0	67	25	-	-	0
中央区	104	11	11	47	30	0	116	54	-	-	5
南区	127	8	8	46	15	0	126	42	-	-	0
10万人対	40.9	2.9	2.9	16.3	7.8	0.0	42.8	16.8	308.3	27.4	0.7

10万人対は平成31年4月1日現在の人口を基準とした10万人対施設数

イ 薬局・医薬品販売業許可等取扱い件数

業種 項目	薬 局	薬局製造 販売医薬品		医薬品販売業			高度管理 医療機器等		管 理 医療機器		製 品 販 売 業 再 生 医 療 等	
		販 売 業 造	製 造 業	店 舗	卸 売	特 例	販 売 業	貸 与 業	販 売 業	貸 与 業		
申 請	新規*1	17	1	1	5	3	-	24	12	108	19	0
	更 新	44	4	4	7	3	0	20	6	-	-	0
	書換え等	20	1	0	4	2	0	2	1	-	-	0
届 出	休廃止*2	28 (24)	1 (1)	1 (1)	4 (4)	1 (1)	0	17 (16)	7 (7)	51 (44)	4 (4)	0
	変 更	1,161	4	4	354	19	0	178	65	154	23	3
	その他*3	190	1	0	0	0	0	0	0	-	-	-
計	1,460	12	10	374	28	0	241	91	313	46	3	

*1 管理医療機器販売業・貸与業は届出数

*2 休廃止は、休止、廃止、再開届、()内は廃止届出数

*3 製造販売届、承認整理届、取扱処方箋数届、管理者兼務廃止届

ウ 薬局・医薬品販売業等監視実施状況(施設数)

各年度末現在

業種 項目	薬局	薬局製造 販売医薬品		医薬品販売業			高度管理 医療機器等		管 理 医療機器		製 品 再生医療等 販売業
		販 製 売 造 業 業	製 造 業	店 舗	卸 売	特 例	販 売 業	貸 与 業	販 売 業	貸 与 業	
監視	148	8	8	60	20	0	129	42	152	18	1
違反	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0

エ 毒物劇物販売業等施設数

各年度末現在

業種 年度	毒物劇物販売業			業務上取扱者	特定毒物 使用者	特定毒物 研究者
	一 般	農 業 用 品 目	特定品目	電 気 めっき業		
H28 年度	170	32	9	5	0	6
H29 年度	161	33	7	5	0	6
H30 年度	165	33	7	5	0	5
緑 区	37	14	0	0	0	1
中央区	74	9	6	4	0	2
南 区	54	10	1	1	0	2

オ 毒物劇物販売業登録等取扱い件数

業種 項目	毒物劇物販売業			業務上取扱者	特定毒物 使用者	特定毒物 研究者
	一 般	農 業 用 品 目	特定品目	電 気 めっき業		
申 請	新規*1	9	1	0	0	2
	更 新	19	4	2	-	-
	書換え等	0	10	0	-	0
届 出	廃 止	6	1	0	0	3
	変 更	12	11	0	0	1
	その他*2	25	14	0	1	2
計	71	41	2	1	0	8

*1 業務上取扱者は届出数

*2 毒物劇物取扱責任者設置(変更)届、特定毒物所有品目及び数量届

カ 毒物劇物販売業等監視実施状況(施設数)

各年度末現在

業種 項目	毒物劇物販売業			業務上取扱者	特定毒物 使用者	特定毒物 研究者
	一 般	農 業 用 品 目	特定品目	電 気 めっき業		
監視	75	11	2	2	0	3
違反	0	0	0	0	0	0

キ 薬事等講習会開催状況

対 象 者	開催回数	受講者数	開催場所
薬局・医薬品販売業勤務薬剤師 (苦情事例に学ぶ、調剤事故防止研修会)	1	69	ウェルネスさがみはら
薬局・医薬品販売業新規施設営業者等	1	61	ウェルネスさがみはら
毒物劇物販売業新規施設営業者等	1	21	ウェルネスさがみはら

ク 麻薬免許事務取扱い件数(経由)

種 類	新規申請	継続申請	記載事項 変更届	再交付	業務廃止 ・返納届	年間届等 *	計
麻薬小売業者	20	10	34	0	24	238	326
麻薬施用者	201	129	165	0	292	77	864
麻薬管理者	14	7	3	0	12	61	97
計	235	146	202	0	328	376	1,287

* 年間届、所有届、譲渡届

(2) 薬物乱用防止

広域化、低年齢化傾向にある薬物乱用問題に対処するため、地域における薬物乱用防止体制の連携強化及び啓発活動を行いました。

薬物乱用防止対策事業

内容	回数等	活動場所、内容等
街頭等啓発活動	7回 (8日間)	市役所周辺 (相模原市民桜まつりにおける薬物乱用防止活動)
		J R 橋本駅駅頭 (ダム。ゼッタイ。普及啓発運動)
		ウェルネスさがみはら (健康フェスタにおける薬物乱用防止活動)
		相模原ギオンスタジアム (薬物乱用防止啓発事業 in 相模原ギオンスタジアム)
		中野中学校校庭 (津久井やまびこ祭りにおける薬物乱用防止活動)
		小田急線相模大野駅北口付近 (麻薬・覚醒剤乱用防止運動)
		J R 橋本駅南北自由通路 (成人の日における薬物乱用防止活動)
薬物乱用防止連絡会	1回	ウェルネスさがみはら
薬物乱用防止講演会	1回	ウェルネスさがみはら
薬物乱用防止教室	2回	市内中学校

3 献 血

(1) 献血事業

医療に必要な血液を献血により確保するため、正しい知識の普及を図り、地域住民の健康と福祉に寄与するとともに企業・各種団体の協力のもと献血車を配車するなど、血液供給体制の確保を図りました。

今後も医療技術の進歩により、血液製剤の需要は増大しており、より一層献血思想の普及に努力し、市民に理解と協力を得る必要があります。

年度別献血実施状況

項目 年度	献 血 目標者数	献 血 者数	内 訳					
			採 血 種 別 献 血 者 数	街 頭 献 血 者 数	事 業 所 献 血 者 数	学 校 献 血 者 数	団 体 献 血 者 数*	
H28年度	8,558	6,330	200ml	355	166	95	94	(190)
			400ml	5,975	3,210	2,393	372	(972)
			計	6,330	3,376	2,488	466	(1,162)
H29年度	6,480	6,325	200ml	398	140	123	135	(182)
			400ml	5,927	3,154	2,382	391	(1,585)
			計	6,325	3,294	2,505	526	(1,767)
H30年度	6,530	6,283	200ml	405	121	123	161	(154)
			400ml	5,878	3,024	2,416	438	(1,052)
			計	6,283	3,145	2,539	599	(1,206)

成分献血はなし

* 各種推進団体協力時の街頭献血者数及び学校献血者数の延数（内数）

(2) 骨髄バンクドナー登録事業

各推進団体の協力のもと、骨髄バンク登録事業の普及・啓発をはかり、広く市民が登録できるようにドナー登録会を実施しました。

実施日	会場	登録者数
平成 30 年 4 月 1 日（日）	相模原市民桜まつり	12
平成 30 年 6 月 1 日（金）	相模原市役所前	6
平成 30 年 7 月 6 日（金）	相模原市職員会館	19
平成 30 年 7 月 10 日（火）	北里大学相模原キャンパス	20
平成 30 年 10 月 3 日（水）	北里大学相模原キャンパス	22
平成 31 年 1 月 31 日（木）	相模原市職員会館	14
平成 31 年 2 月 20 日（水）	相模原市役所前	15

第 5 章

成人保健事業

1 成人保健事業体系図

年齢区分	事業名				
	健康診査	健康相談	保健指導	健康教育	健康増進
19歳～	一般健康相談 (健康チェック～19歳から39歳のあなたへ～)				
20歳～	がん検診(子宮) 国民健康保険 歯科健康診査 (20～39歳の 国民健康保険 加入者) 国民健康保険 健康診査(20 ～39歳の国 民健康保険加 入者)	健康相談 専門健康相談 出張健康相談 栄養相談 歯科健康相談 がんピアサポート 歯医者さんの電話 相談 等	訪問指導事業	生活習慣病予防教室 個別健康教育(禁煙チャ レンジコース) 病態別健康教育 ストレス講演会 女性の健康教室 歯科保健普及啓発 等 骨粗しょう症予防事 業(骨密度測定de骨 元気アップセミナー)	生活習慣病予防 運動教室 ・プログラム制御 運動教室 ・出張運動教室 ・産後の運動講座
30歳～	がん検診(乳)				
40歳～	特定健康診査 (国民健康保険 加入者) 健康診査 (医療保険 未加入者) がん検診 (大腸 胃・ 肺 口腔) 肝炎ウイルス 検査 確定診断 検査 お口の 健康診査		特定保健指導 (国民健康 保険加入者) 特定保健指導 (医療保険 未加入者) 糖尿病性腎 症重症化予 防事業		
～70歳					
～74歳					
75歳～	健康診査 (後期高齢者医療 制度加入者)				
～80歳					

2 健康教育

(1) 個別健康教育(禁煙チャレンジコース)

市内に居住し、支援開始より1か月以内に禁煙する意志のある人を対象に、個別面接にて喫煙状況の調査・検査をし、個人の生活習慣等を具体的に把握しながら継続的に健康教育を行うことにより生活習慣行動の改善を支援し、生活習慣病の予防に資することを目的に実施しました。

会場	合計人数	成功者人数	中断者人数	その他	継続中
計	4(3)	2(2)	1(0)	0(0)	1(1)
緑区合同庁舎	1(1)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)
ウェルネスさがみはら	2(2)	1(1)	0(0)	0(0)	1(1)
南保健福祉センター	1(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
津久井保健センター	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)

()内は40歳以上65歳未満の対象者 今年度の新規把握者のみ計上。

(2) 集団健康教育

ア 歯周疾患健康教育

歯科疾患の予防、日常生活における口腔衛生等についての正しい理解および口腔機能の低下予防について理解を図ることを目的として実施しました。また、市民の歯科保健に対する意識の向上を目的に歯科保健普及啓発を実施しました。

事業名	回数	参加者数
生活習慣病予防教室	24(12コース)	313
骨粗しょう症予防教室	6	288
依頼の教育(まちかど講座等)	8	192
歯科保健普及啓発事業	22	662

イ 骨粗しょう症予防事業

高齢者の骨折の主要因である骨粗しょう症を予防し、ねたきり者を減少させるため、骨粗しょう症予防の指導と骨密度測定(超音波法)を実施しました。

(ア) 骨密度測定de骨元気アップセミナー 実施結果 実施回数：年4日(6回)

年齢		合計	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
参加者数	計	288	5	13	60	62	148
女性	計	258	3	13	59	58	125
	正常域	71	1	6	24	20	20
	要注意域	125	2	6	25	29	63
	注意域	62	0	1	10	9	42
男性	計	30	2	0	1	4	23
	正常域	13	1	0	0	2	10
	要注意域	12	1	0	1	1	9
	注意域	5	0	0	0	1	4

(イ) 出張健康相談(再掲)等 実施結果 実施回数：109回

年 齢		合計	40歳未満	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
参加者数	計	4,590	1,137	967	753	369	1,364
女性	計	3,498	916	743	596	276	967
	正常域	1,793	720	547	291	76	159
	要注意域	1,220	185	176	242	154	463
	注意域	485	11	20	63	46	345
男性	計	1,092	221	224	157	93	397
	正常域	460	123	105	67	36	129
	要注意域	456	83	92	67	46	168
	注意域	176	15	27	23	11	100

ウ 病態別健康教育

(ア) 生活習慣病予防教室

生活習慣病予防に関心のある人を対象に、生活習慣病についての知識を深め、疾病を予防するため生活習慣について講義や体験等を通して学び、自己の健康管理意欲の向上を図ることを目的に実施しました。

会 場	コース(回数)	参加者数(延)
計	12(24)	313
緑区合同庁舎	3(6)	71
ウェルネスさがみはら	4(8)	129
南保健福祉センター	4(8)	98
津久井保健センター	1(2)	15

(イ) 病態別健康教育

生活習慣病について関心がある方を対象に、病態や予防方法を知り、自己の生活習慣を振り返ることにより、予防のための望ましい生活習慣を学ぶことを目的に実施しました。

会 場	回数	参加者数(延)
計	7	258
緑区合同庁舎	2	77
ウェルネスさがみはら	2	96
田名公民館	1	43
南保健福祉センター	1	29
津久井保健センター	1	13

エ 一般健康教育

(ア) こころの健康教室

a ストレス講演会

メンタルヘルスに関する基礎的知識や心の健康の保持増進について知識を普及し、健康的なストレス対処行動がとれることを目的にアンガーマネジメントをテーマとし実施しました。

会 場	講 師	参加者数
南保健福祉センター	and C's代表 藤田 潮氏	49

b 女性の健康教室

更年期の女性が、主体的な健康づくりができるよう知識の普及を図ることを目的に実施しました。

会 場	講 師	参加者数
星が丘公民館	地域で行う女性の健康教室として保健師が実施	17
緑区合同庁舎	ソフィアレディスクリニック院長 佐藤芳昭氏	56

(イ) 健康増進事業

生活習慣病予防運動教室

運動習慣がない各世代の市民が、教室参加により運動習慣を定着させるための方法を身につけ、健康増進及び、生活習慣病予防を図ることを目的に実施しました。

プログラム制運動教室

会 場	回数	参加者数(延)
計	61	779
緑区合同庁舎	18	235
ウェルネスさがみはら	18	225
南保健福祉センター	18	224
津久井保健センター	7	95

出張型運動教室

出張先	回数	参加者数(延)
計	8	173
緑区	5	93
中央区	1	20
南区	2	60

緑区のうち、4回 80人については、緑保健センター津久井担当が実施

産後の運動講座

産後4か月～概ね6か月までの女性が、楽しい・心地よい運動体験を通し、自らの生活に健康増進のための運動を取り入れることを目的に実施しました。

会 場	回数	参加者数(延)
計	12	106
緑区合同庁舎	4	29
ウェルネスさがみはら	4	32
南保健福祉センター	4	45

(ウ) 地域の健康教育(歯科以外)

地区住民を対象に、各地区のニーズに対応したより身近な健康教育を実施しました。

内 容	地 区	開催回数	参加者数(延)
計		3	95
ワゲン療育病院長竹 防煙教育	津久井	1	25
楽しむ健康づくり事業(ウォーキング)	津久井	2(1日)	70

(エ) 地域の健康教育(普及員)

健康づくり普及員と協働で、各地区のニーズに対応したより身近な健康教育を実施しました。

	内 容	地 区	開催回数	参加者数(延)
	計		15	328
緑 区	食のセミナー	津久井	2(1日)	19
	健康ウォーキングセミナー	相模湖	4	145
中 央 区	さわやか健康セミナー(骨の健康)	大野北	2	24
	ヨガ教室(自分の健診結果知っていますか?)	中央	1	20
	畳の上の健康体操(ストレスと上手につきあいましょ う)	中央	1	19
南 区	メタボ予防料理教室	新磯	1	13
	血管力を強くするお話	上鶴間	1	27
	あなたの骨 元気ですか	大沼	1	9
	あなたの骨 元気ですか	大野南	1	3
	血管年齢を知ろう	相模台	1	49

(オ) 生涯学習まちかど講座(依頼の健康教育)

サークル、地域、職場等での学習活動の支援を目的に、出張健康教育を実施しました。

内 容	開催回数	参加者数
計	5	97
メタボリックシンドロームを撃退しよう(中央)	1	14
ストレス解消へ「心の健康づくり」(南)	1	9
わかって得する!生活習慣病(緑)	1	16
心の健康づくり(中央)	1	17
メタボリックシンドロームを撃退しよう(中央)	1	41

(カ) その他の健康教育

a 食生活改善普及啓発

食生活に対する関心を高めることで、生活習慣病をはじめとするさまざまな疾患を予防し、健全な食生活を促進することを目的とし、地域のイベントや集団がん検診会場等でリーフレットの配布やパネル展示等を実施しました。

会 場(区別)	回数
計	19
緑区	6
中央区	7
南区	6

b 普及啓発

各世代に応じた生活習慣病の予防その他健康に関して、身近な地域等で正しい知識の普及啓発を図るとともに、健康意識の向上と健康の保持増進を目的にリーフレットの配布やパネル展示等を行いました。

内 容	実施回数
計	108
栄養・食生活	12
身体活動	16
たばこ	27
アルコール	1
歯科	17
がん・脳血管疾患・循環器疾患・糖尿病	10
こころの健康	1
健診・セルフチェック	12
その他	12

c その他

各関係機関・団体名	内 容	回数	参加者数(延)
計		10	558
楽しむ健康づくり事業 フォーラム	生活習慣病予防	2(1日)	130
市内中小企業への出張健康講座	良い生活習慣	3	57
消費生活展 ステージの部	生活習慣病予防	1	30
高齢者学級	骨の健康	1	46
環境衛生協会衛生講習会	生活習慣病予防	1	230
鹿島台子どもセンター子育てひろば	骨の健康	1	22
(株)稲葉電気興業における安全大会	生活習慣病予防	1	43

(3) その他の健康教育(健康増進法外の健康教育)

各関係機関や他団体、他課等から依頼を受け、健康教育を実施しました。

団体名(管轄)	内容	回数	参加者数(延)
計		4	523
女子美術大学	子宮頸がん	1	400
あじさいの会、さくら会	調理実習	2	20
二本松小学校	たばこ	1	103

(4) たばこ対策(一部再掲)

ア 世界禁煙デー

普及啓発として、5月の世界禁煙デー及び禁煙週間には、市役所本庁舎への横断幕設置やパネル展示、庁内放送等による1日禁煙の啓発活動を実施しました。また、広く市民に向けた周知ができるよう、厚生労働省発行のポスターを市関係各課・機関及び市内保育園に配布・掲示依頼をするとともに、たばこに関する記事を相模大野パブリックインフォメーションや広報等に掲載しました。

イ 九都県市受動喫煙防止対策共同キャンペーン

九都県市で共同作成したポスターを、9～11月にかけて市関係各課・機関及び市内保育園の他、市立幼稚園や娯楽施設、コンビニエンスストアに配布・掲示依頼をしました。あわせて、イベントや検診等の事業の他、職域分野とも連携し、ノベルティグッズの配布も行いました。

ウ はたちのつどい

未成年者に対して、喫煙の害や受動喫煙による健康被害等についての正しい知識の普及啓発を行い、成人後の喫煙防止につなげるため、ノベルティグッズの配布を行いました。

エ その他の普及啓発・健康教育

内 容	実施場所・回数	総数
普及啓発	市内商業施設等	下記参照 ・35 ページ (カ)その他の健康教育 b 普及啓発
市内高校における喫煙防止教育	高校 4 校	862 名
個別面接における禁煙勸奨	下記参照 ・32 ページ 2(1)個別健康教育(禁煙チャレンジコース)	

3 健康相談

(1) 重点健康相談

ア 歯周疾患健康相談(歯科相談)

歯周疾患の予防を目的として歯科衛生士による歯の健康相談(来庁)及び歯科医師による電話相談を実施しました。

	回数(回)	相談者数						相談内容(延)																			処遇						
		計(人)	乳幼児	学童(17歳)	18歳	40歳	65歳以上	計(件)	歯みがき	歯ならび	歯の汚れ	歯石	う蝕	フッ素	飲み物	食生活	歯の色	上唇小帯	断乳	歯肉の出血	歯肉の腫れ	歯の痛み	歯周疾患	口臭	顎の痛み	口腔乾燥	摂食嚥下	治療内容	医療機関	その他	計(人)	終結	経過観察
計	65	70	20	1	6	23	20	125	25	3	0	2	1	6	0	0	2	0	0	2	3	1	5	1	0	4	0	22	17	31	70	70	0
歯科健康相談	25	30	14	0	3	3	10	65	23	2	0	1	1	6	0	0	1	0	0	2	2	0	4	1	0	0	5	11	6	30	30	0	
歯医者さんの電話相談	40	40	6	1	3	20	10	60	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	4	0	17	6	25	40	40	0	

イ 生活習慣改善相談

生活習慣を改善し、疾病の予防や検査値の改善を図ることを目的に実施しました。

- ・対象者 ... 健康診査等の結果で、食生活・運動等の生活習慣を改善する必要がある人やその他希望する人

- ・内 容 ... 保健師、管理栄養士等、健康運動指導士による個人の生活習慣にあわせた具体的な指導

会 場	実施回数	相談者数(実)	相談内容(延)			処遇(実)	
			生活指導	栄養指導	運動指導	終結	経過観察
計	23	246	246	240	161	197	49
緑区合同庁舎	4	44	44	44	30	41	3
ウェルネスさがみはら	6	49	49	49	38	37	12
南保健福祉センター	8	84	84	83	54	58	26
津久井保健センター	5	69	69	64	39	61	8

(2) 総合健康相談

ア 電話健康相談・庁内健康相談

心身の健康に関する個別の相談に対して、保健師が電話や面接で随時必要な助言、指導を実施しました。

・実施場所 ... ウェルネスさがみはら、南保健福祉センター、緑区合同庁舎、城山保健福祉センター、津久井保健センター、相模湖総合事務所、藤野総合事務所
(は定例日に庁内相談を実施。来所の相談のみ。)

	実施回数	相談者数(実)	相談内容(延)																	
			肥満	高血圧	糖尿病	脂質異常症	骨粗しょう症	感染症	歯科	認知症	メンタルヘルス	その他の疾病・医療	栄養・食事	運動	介護	機能訓練	くすり	たばこ	アルコール	その他
計	3,416	1,834	48	145	36	23	12	42	5	1	67	464	61	39	11	0	7	2	14	927
庁内相談	1,952	976	39	128	9	7	4	22	0	0	9	210	20	35	4	0	3	0	9	543
電話相談	1,464	858	9	17	27	16	8	20	5	1	58	254	41	4	7	0	4	2	5	384

イ 出張健康相談

健康に無関心な層を含む多くの市民に対して保健師等が身近な地域(公民館・店舗等)に出向いて実施しました。

実施主体	実施回数	相談者数				処遇		
		計	39歳以下	40歳~64歳	65歳以上	計	終結	経過観察
計	175	7,687	1,381	2,857	3,449	7,687	7,687	0
緑保健センター	73	3,169	554	1,282	1,333	3,169	3,169	0
中央保健センター	48	1,925	247	664	1,014	1,925	1,925	0
南保健センター	54	2,593	580	911	1,102	2,593	2,593	0

ウ 栄養相談

個別の栄養指導が必要な人に対し、食生活改善の推進と健康の保持増進を図ることを目的として、管理栄養士等による栄養相談を行いました。市内3会場（緑区合同庁舎、ウェルネスさがみはら、南保健福祉センター）で実施しました。

	実施回数	相談者数（実）	相談内容（延）												
			生活習慣病予防	肥満	高血圧	糖尿病	脂質異常症	骨粗しょう症	心臓病	腎臓病	肝臓病	脳血管疾患	食事形態	介護家族の食事	その他
栄養相談	18	53	10	3	1	9	9	1	2	4	0	1	0	2	13

エ がん検診精密検査事後相談

がん精密検査の対象者で、がん全般に関すること・検診内容・健康管理等の問い合わせがあったときに随時対応しています。

- ・ 実施場所 ... ウェルネスさがみはら

オ がんピアサポート

がん体験者が自らの体験を通して相談者の抱えている不安や悩みを軽減、解消することを目的として、がん体験者によるがん患者やその家族を対象とした相談(ピアサポート)を実施しました。

- ・ 実施場所 ... ウェルネスさがみはら、南保健福祉センター
- ・ 実施回数 ... 4回
- ・ 実相談件数... 7件

カ その他の健康相談

職域連携の一環や事業所等からの依頼により健康相談を実施しました。

内容	相談人数
全国労働衛生週間相模原地区推進大会	39
全国安全週間相模原地区推進大会	50

4 健康診査

(1) 健康診査事業一覧

事業名	検診場所等	検診内容	対象年齢等	周知方法
確定診断検査	市内協力医療機関 随時実施	尿・糞便検査、血液検査、X線検査等	特定健康診査を受診した人で疾病等の疑いがあり、医師の判断により検査が必要となった69歳以下の人	
生活保護受給者等健康診査	市内協力医療機関 随時実施	(必須検査)問診、身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査等 (選択検査)心電図検査、眼底検査等	40歳以上の医療保険に加入していない生活保護受給者等	
がん検診	市内協力医療機関 随時実施	胃(X線)	40歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・広報さがみはら ・市ホームページ ・受診券の一斉送付 加入している医療保険、年齢、性別に応じて受診可能なすべての施設検診受診券を過去の検診受診者、前年度転入者、節目年齢者を対象に送付
		胃(内視鏡)		
		子宮(視診、細胞診と内診)	20歳以上の女性	
		乳(視触診)	30歳以上の女性	
		乳(視触診とX線)	40歳以上の女性 (2年に1回)	
		肺(X線、X線と喀痰細胞診)	40歳以上	
	検診車で市内の公共施設で実施 年55日実施 17会場で実施	胃(X線)	40歳以上	
		子宮(視診と細胞診)	20歳以上の女性	
		乳(視触診とX線)	40歳以上の女性 (2年に1回)	
		肺(X線、X線と喀痰細胞診)	40歳以上	
大腸(検便)	40歳以上			
肝炎ウイルス検診	市内協力医療機関 随時実施	C型・B型肝炎ウイルス検査	40歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受診していない者など	
成人歯科健康診査	市内協力医療機関 随時実施	現在歯の状況、むし歯の状況、歯周病の状況、歯科保健指導など	40~80歳	
口腔がん検診	相模原口腔保健センター 年2日実施 (半日1開催で、4開催)	口腔粘膜の診査	40歳以上	・広報さがみはら
一般健康相談 (39歳以下の健康相談)	ウェルネスさがみはら 年5日実施	身体計測、血圧、尿検査、血液検査、心電図、胸部エックス線等	当該年度19歳以上 39歳以下の市民	<ul style="list-style-type: none"> ・広報さがみはら ・市ホームページ

健康診査・がん検診経年受診状況

	30年度		29年度		28年度		27年度	
	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)	受診者数	受診率(%)
生活保護受給者等健康診査	713	7.09	642	6.50	603	6.28	583	6.41
胃がん	28,370	13.57	27,857	13.32	26,440	12.64	26,093	13.93
子宮がん	29,507	18.26	29,360	18.16	30,298	18.74	30,219	19.07
乳がん	26,418	18.22	26,538	18.30	26,797	18.48	26,695	19.02
肺がん	50,400	24.10	48,927	23.39	47,780	22.85	47,599	25.42
大腸がん	46,625	22.29	46,038	22.01	45,242	21.63	47,639	25.44

(2) 生活保護受給者等健康診査

高齢者の医療の確保に関する法律の施行により、平成20年4月から、医療保険者に、40歳以上の加入者に対する特定健康診査の実施が義務付けられたことに伴い、医療保険加入者に含まれない生活保護受給者等に対し、健康増進法に基づき、特定健康診査に相当する健康診査を実施しました。

- 基本的な健診 …… 問診、身体計測、血圧測定、尿検査、採血による高脂血症検査・肝機能検査・血糖検査・腎機能検査
- 詳細な健診(40～74歳) …… 前年の健診結果又は基本的な健診を実施した医師の判断等により、心電図検査、眼底検査、採血による貧血検査のうち必要な検査を実施

	受診者数(人)	受診率(%)	結果内訳		
			情報提供	動機付支援	積極的支援
生活保護受給者等健康診査	713	7.09	614	56	43
うち詳細な健診受診者	661	-	-	-	-

(3) 確定診断検査

国民健康保険及び被用者保険等加入の特定健康診査受診者のうち、疾病等の疑いのある者に対し、特定健康診査を実施した医師の判断により、尿・糞便検査、血液検査、生化学検査、免疫学検査等のうち必要な検査を実施しました(69歳以下の者が対象)。

	実施者数(人)
合計	2,109
国民健康保険加入者	1,913
被用者保険等加入者	196

(4) がん検診

がんの早期発見、早期治療を図ることを目的として、各地域（ウェルネスさがみはら、南保健福祉センター、小学校等）で検診車等により行う集団検診（年55回実施）と市内協力医療機関で行う施設検診を実施しました。

また、受診者の利便性を確保し、受診機会の拡大を図るために、集団検診においては休日検診を年32回実施しました。

	受診率 (%)	受診者数 (A)			要精検者数 (B)	要精検率 (%) (B)/(A)	がん 確定者数 (C)	がん発見率 (%) (C)/(A)	
		計	集団	施設					
計		181,320	14,364	166,956	12,523	6.91	293	0.162	
胃 が ん	小計	13.57	28,370	2,919	25,451	3,902	13.75	79	0.278
	線		10,597	2,919	7,678	1,127	10.64	7	0.066
	内視鏡		17,773	-	17,773	2,775	15.61	72	0.405
子 宮 が ん	小計	18.26	29,507	2,689	26,818	937	3.18	22	0.075
	頸部		29,507	2,689	26,818	866	2.93	10	0.034
	体部()		(6,209)		(6,209)	90	1.45	13	0.209
乳 が ん	小計	18.22	26,418	1,745	24,673	2,121	8.03	50	0.189
	視触診のみ		11,261		11,261	538	4.78	5	0.044
	視触診と マンモグラフィ		15,157	1,745	13,412	1,583	10.44	45	0.297
肺がん	24.10	50,400	3,494	46,906	1,519	3.01	11	0.022	
大腸がん	22.29	46,625	3,517	43,108	4,044	8.67	131	0.281	

子宮体部がん検診は、頸部がん検診時に医師の判断により実施されるもので、受診者数の()は頸部がん検診受診者のうち、体部がん検診も受診した人数です。

(5) 肝炎ウイルス検診

肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導等をうけ、医療機関で受診することにより、肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し、進行を遅延させることを目的に実施しました。

検査内容 ... C型肝炎ウイルス検査、B型肝炎ウイルス検査

対象者 ... 40歳の者

41歳以上の者で、過去に受診したことがなく、受診を希望する者

特定健康診査及び特定健康診査に相当する健康診査において肝機能検査の数値に異常がみられる者で、受診を希望する者

	受診者数 (人)	C型肝炎		B型肝炎	
		非感染	感染	非感染	感染
肝炎検査	6,294	6,269	25	6,275	19

(6) 成人歯科健康診査(お口の健康診査)

歯周疾患の予防(早期発見)を図るために、「かかりつけ歯科医機能の定着(予防を目的とした定期的受診)」を推進するため、市内の協力医療機関で実施しました。

	受診者数 (人)	受診結果		
		異常なし	要指導	要精査
合計	3,483	236	390	2,857
40～49歳	484	40	56	388
50～59歳	499	35	70	394
60～69歳	817	58	92	667
70～80歳	1,683	103	172	1,408

(7) 口腔がん検診

40歳以上の市民を対象に、口腔がんの早期発見・早期治療を図ることを目的として、口腔がんの予防方法を普及啓発するために、相模原口腔保健センターで実施しました。

実施回数 (回)	年齢	受診者数 (人)	受診結果		
			異常なし	要経過 観察	要精査
4	計	188	156	23	9
	40～49歳	14	12	0	2
	50～59歳	21	20	1	0
	60～69歳	64	51	9	4
	70歳以上	89	73	13	3

(8) 一般健康相談(健康チェック～19歳から39歳のあなたへ～)

生活習慣病の予防・早期発見、健康の保持及び増進等を図るための一般健康相談を実施しました。

実施内容

- ・検査日...各種検査(尿検査、血液一般検査、血液化学検査、胸部X線検査、身体検査、心電図検査) 医師による健康相談、生活習慣質問票による問診
- ・事後指導日...医師、保健師、栄養士、歯科衛生士による保健指導、健康相談

実施場所	実施回数	相談者数 (延)	相談内訳(重複あり)			
			医師	保健師	栄養士	歯科衛生士
ウェルネスさがみはら	5	148	148	130	51	15

5 訪問指導

健康増進法等に基づき、継続的に保健指導が必要な人等を対象に保健師、栄養士が家庭訪問等による保健指導を行いました。

(1) 保健指導

特定健康診査等の結果、医師から保健師に保健指導の指示があった人等を対象に、健康の保持増進及び疾病の発生予防を目的として行いました。

把握別・健診結果別対象者内訳

(平成30年度対象者内訳)

実人数	健診結果保健指導基準値以上該当者内訳(延)														
	BMI	収縮期 血圧	拡張期 血圧	中性 脂肪	HDL	LDL	GOT	GPT	GTP	空腹時 血糖値	HbA1c	血色素	心電図	eGFR	
保健指導基準値 以上・以下	25以上	130 mmHg	85 mmHg	150 mg/dl	39 U/l	120 U/l	31 U/l	31 U/l	51 U/l	100 U/l	5.5 %	男13 女12 mg/dl	所見あり	60ml/分 /1.73㎡	
計	676	145	264	132	127	30	406	58	66	70	184	467	64	207	171
該当者割合%	21.4	39.1	19.5	18.8	4.4	60.1	8.6	9.8	10.4	27.2	69.1	9.5	30.6	25.3	
特定健診 (医師の指示)	327	33	131	57	36	7	214	31	18	28	139	232	16	68	85
後期高齢者健診	206	27	87	31	32	3	115	10	8	8	2	159	39	108	72
健康診断(生保)	106	68	38	38	46	16	59	10	25	23	36	63	7	23	14
国保20～30代健診	32	17	8	6	13	4	18	7	15	11	7	13	2	8	0
健康相談	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
健康教育	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭訪問	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他科・機関から 依頼	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医療機関から依頼	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

事後指導状況

平成30年度実施分

対象者数	年齢別内訳(実)				指導内訳(延)					
	39歳 以下	40～64歳	65～69歳	70歳 以上	家庭 訪問	電話	面接	文書 電子メール	訪問 不在	その他
676	32	167	114	363	205	634	532	240	99	11

(2) 糖尿病性腎症重症化予防

糖尿病腎症の重症化を予防するため、相模原市国民健康保険特定健康診査または人間ドックの結果、医療機関の受診が必要な被保険者に対して受診勧奨を行うとともに、必要に応じてかかりつけ医と連携した保健指導を実施しました。

保健指導状況

平成30年度実施分

対象者数	年齢別内訳(実)			指導内容(延)			
	40～64歳	65～69歳	70～75歳	家庭 訪問	面接	電話	文書
7	0	4	3	2	9	14	3

6 特定保健指導

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、相模原市国民健康保険被保険者の特定健康診査の結果、一定の基準に基づき特定保健指導の対象となった人について、階層化に応じた保健師、管理栄養士による約6か月間の継続的な保健指導と結果評価を行いました。

腹囲	追加リスク		対象	
	血糖 脂質 血压	喫煙歴 (最近1ヶ月間に喫煙)	40-64歳	65-75歳
85 cm男 90 cm女	2つ以上該当	-	積極的支援	動機づけ支援
	1つ該当	あり		
上記以外で BMI25以上	3つ該当	なし	積極的支援	動機づけ支援
	2つ該当	あり		
			なし	
	1つ該当	-		

特定保健指導の階層化判定基準 当てはまらない人は情報提供
 空腹時血糖 100mg/dl以上または、HbA1c 5.6%以上
 中性脂肪 150mg/dl以上またはHDLコレステロール 40mg/dl未満
 収縮期血圧 130mmHg以上、拡張期血圧 85mmHg以上

* の薬剤を内服している場合は特定保健指導の対象者にはならない。

(1) 階層化別・年齢区分別対象者内訳

(平成30年度把握分)

	計	対象者数				
		40~49歳	50~59歳	60~64歳	65~69歳	70~75歳
受診者計	28,357	2,500	2,846	3,154	8,275	11,582
動機付け支援	2,942	196	221	193	1,142	1,190
積極的支援	934	339	327	268	-	-
情報提供	24,481	1,965	2,298	2,693	7,133	10,392

(2) 初回面接実施状況

特定保健指導の対象に本人の希望に基づき、グループ支援(教室「今日からあなたもメタボ脱出」・「再チャレンジセミナー」)または個別の面接や家庭訪問で初回面接を行いました。

グループ支援の会場および開催数	計 81 回	<ul style="list-style-type: none"> 緑区合同庁舎 18回 ウェルネスさがみはら 39回 南保健福祉センター 19回 津久井保健センター 5回
-----------------	--------	---

階層化	実施者数	初回面接実施方法	
		グループ支援	個別（面接・訪問）
計	644	578	66
動機付け支援	576	519	57
積極的支援	68	59	9

（３）継続的な指導の状況（初回面接実施分は除く）

平成 30 年度実施分

対象者数	指導内訳（延）							処遇状況（平成 31 年 3 月末時点）			
計	計	家庭訪問	電話	面接	電子メール 文書	グループ支援	その他	問題解決	経過観察	拒否	その他
3,956	1,140	1	226	62	5	101	745	622	449	1,018	1,867

グループ支援（食体験教室）の状況（再掲）

希望者に対して、調理実習および栄養に関する体験等のグループ支援を実施しました。

会場・・・緑区合同庁舎、ウェルネスさがみはら、南保健福祉センター

実施回数	実人数		年齢区分				
			40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳
12回	計	101	3	7	10	26	55
	動機付け支援	92	1	5	5	26	55
	積極的支援	9	2	2	5	-	-

7 生活保護受給者等への保健指導

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、平成 20 年度から医療保険者に 40 歳以上の加入者に対する特定健康診査及び特定保健指導の実施が義務付けられたことに伴い、医療保険加入に含まれない生活保護受給者等に対し、健康増進法に基づき特定保健指導に相当する保健指導を実施しました。

階層化別・年齢区分別対象者内訳

（平成 30 年度把握分）

	計	対象者数				
		40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～75歳
計	99	37	25	10	12	15
動機づけ支援	56	16	11	2	12	15
積極的支援	43	21	14	8	0	0

事後指導の状況（再掲）

対象者数		指導内訳（延）						処遇状況（H31.3月末時点）			
計	計	家庭訪問	電話	面接	電子メール 文書	グループ 支援	その他	問題解決	経過観察	拒否	その他
99	184	21	88	53	11	0	11	7	63	18	11

8 その他

（1）相模原市歯科保健事業推進審議会

歯と口腔の健康づくり推進計画に基づき、歯と口腔の健康づくりを推進するにあたり、計画の進行管理や必要な事項の検討等を審議するために開催しました。

ア 構成

歯科医師会、医師会、歯科衛生士会、栄養士会、看護協会、大学教授、県立学校長会議地区別会議相模原地区、相模原市立小中学校長会、幼稚園協会、私立保育園園長会、相模原地域連合、障害福祉事業所協会、高齢者福祉施設協議会

イ 開催日及び参加人数

平成 30 年 11 月 1 日（木）15 人

（2）歯科保健広告付物品受入・歯科保健広告掲載

歯と口腔の健康づくりについて広く市民に普及啓発するため、歯科関連普及啓発グッズを提供していただける事業者を募集しました。

提供事業者 2 件

提供事業者	提供物品	数量	広告内容
ライオン(株)	冊子「親子でやろう！0才からの予防歯科」（予防歯科パンフレット）	6,000 冊	妊娠期、乳幼児期向けオーラル製品紹介 ほか
(有)健康と料理社 *協賛:ライオン(株)	冊子「今日から始める歯周病予防」（歯周病予防啓発パンフレット） 歯ブラシ「システムハブラシ コンパクト3列スリム」 歯磨剤「システム EX ハミガキ」	160 冊 160 本 160 個	歯周ポケットケア(歯周病予防)のための製品紹介

第6章

母子保健事業

(こども・若者未来局所管事業)

1 母子保健事業体系図

区分	事業名					
	健康診査	訪問指導	健康相談	健康教育	医療援護	その他
妊 娠	妊婦健康診査 妊婦歯科健康診査	妊産婦訪問指導	不妊・不育 専門相談 育児相談 栄養相談 歯科相談	妊娠前教室 ハロー・マザー クラス マタニティ オーラルセミナー ビーンズクラブ	特定不妊治療費 助成事業	母子健康手帳 の交付
出 生						先天性代謝 異常等検査
4 か 月	4か月児健康診査	こんにちは 赤ちゃん事業 母子訪問指導 (健診受診者事後 指導、健診未受診 者フォロー、他)	ふれあい 親子サロン	地域における 健康教育 離乳食教室 (スタート編) ママの休み時間 ぴよぴよ サロン	未熟児養育医療 小児慢性特定 疾病医療給付 (小児慢性特定 疾病日常生活 用具給付) 自立支援医療 (育成医療)	新生児聴覚検査 慢性疾患児等 訪問指導 講演会 予防接種
8 か 月	乳幼児経過検診 乳幼児精密健康診査					
1 歳	8か月児健康診査 1歳児健康診査			離乳食教室 (モグモグ編) 親子で歯っぴい ちゃれんじ 大作戦! ことり教室		
2 歳	かんがる～ 歯科健診 1歳6か月児 健康診査 (医科・歯科)		おやこ ひだまり 相談室	幼児の良い 生活習慣 普及啓発事業		
3 歳	2歳6か月児 歯科健康診査					
思 春 期	3歳6か月児 健康診査 (医科・歯科)		思春期相談	学校歯科 巡回指導 赤ちゃん ふれあい 体験教室 思春期 出前講座		

2 母子健康手帳交付状況

各子育て支援センター及び、各区民課、各まちづくりセンター、各出張所等において妊娠届出をした方に、「母子健康手帳」を交付しました。

母子健康手帳交付時には、保健師等による面接を行い、必要な情報提供及び相談対応を行いました。

子育て支援センター・区民課以外での交付では、質問票に基づき、後日電話等による支援を行いました。

ア 交付場所別 妊娠届出時の妊娠週数及び交付状況

地区	妊娠届出	妊 娠 週 数					特殊交付		再交付	交付計
		11週以内	12～19週	20～27週	28週以降	不詳	うち分娩後交付			
合 計	5,099	4,853	200	34	10	2	93	1	89	5,281
子育て支援センター・区民課	4,603	4,390	174	30	9	0	83	1	83	4,769
まちづくりセンター	496	463	26	4	1	2	10	0	6	512

特殊交付とは多胎妊娠した人等への交付です。

イ 外国語版交付状況（再掲）

外国語内訳（再掲）						
計	英語	ハングル	中国語	ポルトガル語	タガログ語	スペイン語
86	61	2	14	1	6	2

ウ 点字版交付状況

点字版
0

3 健康診査

(1) 健康診査事業一覧

内容	健診名	健診方法	対象児(者)	受診日	周知方法	健診結果			未受診 フォロー の有無
						対象数	受診数	受診率 (%)	
医 科	妊婦健康診査	個別	妊婦	妊娠中随時(16回)	母子健康手帳 交付時に交付	-	62,182	-	無
	4か月児健康診査	集団 (7会場)	4か月になる月	指定日 (月7~8回実施)	個別通知	5,041	5,002	99.2	有
	8か月児健康診査	個別	7か月になった日~ 9か月になる前日	期間中随時		5,187	5,004	96.5	
	1歳児健康診査		1歳になった日~ 1歳2か月になる前日			5,278	5,097	96.6	無
	1歳6か月児健康診査		1歳6か月になった日~ 1歳8か月になる前日			5,232	4,948	94.6	有
	3歳6か月児健康診査	集団 (7会場)	3歳6か月になる月	指定日 (月7~8回実施)		5,631	5,212	92.6	
	乳幼児経過検診	集団 (3会場)	各乳幼児健康診査等で 必要と認められた児	指定日		111	103	92.8	
妊婦歯科健康診査	集団 (4会場)	市内在住の妊婦	指定日	母子健康手帳交 付時、広報等		920	264	28.7	
1歳6か月児健康診査	集団 (7会場)	1歳7か月になる月		個別通知	5,230	4,817	92.1		
2歳6か月児歯科健康診査		2歳6か月になる月			5,482	4,898	89.3		
3歳6か月児健康診査		3歳6か月になる月			5,631	5,207	92.5		
かんがる~歯科健診		各幼児歯科健康診査等で 必要と認められた児及び 心身に障害を有する児			個別通知 広報(心身障 害児のみ)	50	35	70.0	有

(2) 妊婦健康診査

妊娠中の健康診査を医療機関等に委託して行い、定期的な健康診査の受診をすすめました。また、受診者のうち医師から保健指導の指示のあった人へ保健指導を行いました。

受診人数(延人数)		保健指導(件)								
		なし	あり	内容						
計 (延)	合併症			22週以降	20歳未満	不慣れな 外国人	妊婦健診 不定期受診	その他		
計	62,182									
医療機関	58,817	59,549	603	604	0	17	553	17	2	15
助産所	144			-	-	-	-	-	-	-
償還払い	3,221			-	-	-	-	-	-	-

(3) 妊婦歯科健康診査

市内在住の妊婦に対して、歯科健康診査を行い、口腔衛生指導や受診勧奨を行いました。対象は母親・父親教室(ハロー・マザークラス)受講者のうち健診を希望した者、または妊婦歯科教室(マタニティオーラルセミナー)に参加した妊婦です。

厚生労働省による歯周疾患検診マニュアルの改定に伴い、平成30年度より歯周疾患の評価方法を変更して実施

ア 歯科健康診査結果

実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	健診結果							
				異常なし (人)	要指導 (人)	要治療 (人)	未処置歯の状況			歯周疾患	
							有病者数 (人)	有病者率 (%)	平均未処置歯数 (本)	ポケツトが ある者 (%)	4mm以上の 歯周 者 (%)
68	920	264	28.7	33	131	100	70	26.5	0.56	24.6	71.6

イ 母親・父親教室受講結果

実施回数 (回)	対象者数 (人)	受診希望者数 (人)	受診希望者率 (%)
19	558	145	26.0

(4) 乳幼児健康診査

ア 医科健康診査

(ア) 集団健康診査

乳幼児の健康増進や疾病の早期発見や育児支援のための適切な指導を行うことを目的として、市内7会場(緑区合同庁舎、ウェルネスさがみはら、南保健福祉センター、城山保健福祉センター、津久井保健センター、相模湖総合事務所、藤野総合事務所)で実施しました。また、健診未受診児については、発達質問紙によるアンケートにより状況を把握し、必要に応じ保健指導を行いました。

a 健康診査結果

	対象児数 (人)	受診児数 (人)	受診率 (%)	診察結果(人)							
				異常なし	有所見児数						
					計	要指導	要観察	要精査	要治療	治療中	
4か月児健診	5,041	5,002	99.2	3,682	1,320	37	476	508	46	253	
3歳6か月児健診	5,631	5,212	92.6	3,686	1,526	419	159	668	27	253	

b 有所見児疾病等内訳(延)

	計(件)	栄養問題	頭部・顔面疾患	胸部疾患	腹部疾患	泌尿生殖器疾患	整形外科疾患	皮膚疾患	眼疾患	聴覚疾患	その他
4か月児健診	1,768	254	29	89	64	80	477	640	18	20	97
3歳6か月児健診	1,349	148	30	74	6	21	18	164	181	19	688

医師の診察所見の内訳であり、有所見児数とは異なる。
その他には、「低身長」「言語発達遅延」等が含まれる。

c 未受診児の状況

	発達質問紙送付数 (件)	返送数(件)	返送率(%)	事後指導児数(人)	事後指導率(%)
4か月児健診	293	121	41.3	5	4.1
3歳6か月児健診	1,147	462	40.3	71	15.4

4か月児健診において発達質問紙送付数のうち、健康診査未受診かつこんにちは赤ちゃん訪問未実施者と3歳6か月児健診の発達質問紙送付数のうち2回目の質問紙未返送者については、各子育て支援センター保健師が、発達質問紙を持参し立ち寄り訪問を実施しました。

(イ) 個別健康診査

各協力医療機関で実施しました。また、健診未受診児については、発達質問紙によるアンケートにより状況を把握し、必要に応じ保健指導を行いました。

a 健康診査結果

受診児数のうち、8か月児健診は1件、1歳児健診は0件、1歳6か月児健診は0件が健康診査費助成によるもの。

	対象児数 (人)	受診児数 (人)	受診率 (%)	診察結果(人)						
				異常なし	有所見児数					
					計	要指導	要観察	要精査	要治療	治療中
8か月児健診	5,187	5,004	96.5	4,331	673	35	388	56	31	163
1歳児健診	5,278	5,097	96.6	4,468	629	30	406	56	23	114
1歳6か月児健診	5,232	4,948	94.6	4,252	696	68	404	63	23	138

b 有所見児結果内訳(人)

	計	子育て支援 センターに 依頼	専門病院 紹介	療育相談班 紹介	主治医が 行う	指導済み	治療中	その他
8か月児健診	673	18	55	0	396	18	160	26
1歳児健診	629	23	51	2	392	13	129	19
1歳6か月児健診	696	85	59	3	351	33	142	23

c 有所見児疾病等内訳(延)

	計(件)	栄養問題	頭部・顔 面疾患	胸部疾患	腹部疾患	泌尿生殖 器疾患	整形外科 疾患	皮膚疾患	眼疾患	聴覚疾患	その他	運動発達 遅延	言語発達 遅延	社会性発 達遅延
8か月児健診	878	137	21	45	16	64	38	183	17	9	108	210	15	15
1歳児健診	868	155	16	37	12	59	17	99	24	11	79	201	108	50
1歳6か月児健診	945	74	101	36	11	52	33	113	30	12	89	72	273	49

医師の診察所見の内訳であり、有所見児数とは異なる。
その他には「低身長」等が含まれる。

d 未受診児の状況

	発達質問紙 送付件数(件)	返送数(件)	返送率(%)	事後指導児数(人)	事後指導率(%)
8か月児健診	320	158	49.4	20	12.7
1歳6か月児健診	382	172	45.0	19	11.0

8か月児健診の発達質問紙送付数のうち、1回目の質問紙未返送者と1歳6か月児健診の発達質問紙送付数のうち2回目の質問紙未返送者については、子育て支援センター保健師により、発達質問紙を持参し、立ち寄り訪問を実施。

イ 歯科健康診査

(ア) 集団歯科健康診査

幼児の歯科の健康増進やう蝕等口腔疾患の早期発見を図り、適切な指導を行うことを目的とし、併せて育児支援を行いました。市内 7 会場（緑区合同庁舎、ウェルネスさがみはら、南保健福祉センター、城山保健福祉センター、津久井保健センター、相模湖総合事務所、藤野総合事務所）で実施しました。

	実施回数（回）	対象児数（人）	受診児数（人）	受診率（％）	診察結果（人）								個別指導児（人）				
					異常なし	う歯の状況			一人平均う歯数（本）	軟組織異常	不正咬合	その他異常	フッ化物塗布（件）	歯科衛生士	保健師	管理栄養士等	心理相談員
						有病者数	有病者率（％）	総本数									
1歳6か月児歯科健康診査	78	5,230	4,817	92.1	4,765	52	1.1	143	0.03	32	431	0	1,814	225	568	368	
2歳6か月児歯科健康診査	78	5,482	4,898	89.3	4,579	319	6.5	906	0.18	49	685	0	2,453	2,643	642	280	
3歳6か月児歯科健康診査	88	5,631	5,207	92.5	4,548	659	12.7	2,005	0.39	13	493	0	5,154	155	286		

(イ) かんがる～歯科健診

各幼児歯科健康診査受診者等の中で、継続的にきめ細かな保健指導やフッ化物を利用した予防処置を行う必要のあるう蝕ハイリスク幼児または心身障害児及びその保護者に対し、指導・助言を行いました。市内 7 会場（緑区合同庁舎、ウェルネスさがみはら、南保健福祉センター、城山保健福祉センター、津久井保健センター、相模湖総合事務所、藤野総合事務所）で実施しました。

実施回数	対象児数（延人数）	受診児数（延人数）	新規受診児数（把握事業別）				う歯保有者数（延人数）	フッ化物塗布（延人数）
			1歳6か月児歯科健診	2歳6か月児歯科健診	3歳6か月児歯科健診	その他		
48	50	35	7	12	0	5	14	7

1 内、心身障害児は 4 名。

ウ 乳幼児経過検診

乳幼児健康診査等の結果、より専門的な判断が必要とされる乳幼児とその保護者に対し、指導・助言を市内 3 会場で実施しました。

(ア) 実施状況（延件数）

	開催回数（回）	対象児数（人）	受診児数（人）	受診児の把握区分（人）													
				計	健康診査						事後指導教室	家庭訪問	育児相談	医療機関から紹介	他市町村紹介	その他	
					4か月児	8か月児	1歳児	1歳6か月児 医科	1歳6か月児 歯科	2歳6か月児 歯科							3歳6か月児
計	22	111	103	103	0	0	0	0	2	1	3	12	78	0	0	0	7
緑区合同庁舎	3	13	12	12	0	0	0	0	0	0	1	0	9	0	0	0	2
ウェルネスさがみはら	10	57	52	52	0	0	0	0	0	0	0	10	41	0	0	0	1
南保健福祉センター	9	41	39	39	0	0	0	0	2	1	2	2	28	0	0	0	4

その他には、健康教育事業からの紹介等が含まれる。

(イ) 処遇(延件数)

	計	問題なし	要指導	要観察	要精査	その他
計	103	6	13	8	72	4
緑区合同庁舎	12	1	0	3	4	4
ウェルネスさがみはら	52	4	8	1	39	0
南保健福祉センター	39	1	5	4	29	0

エ 乳幼児精密健康診査

健診の結果、疾病などの疑いがある乳幼児に対して、より精密な健康診査を各医療機関で実施しました。

		計	4か月児	8か月児	1歳児	1歳6か月児	3歳6か月児	経過検診	
発行数		1,451	523	44	34	50	725	75	
内 訳	小児科	243	51	18	18	27	125	4	
	整形外科	463	434	10	4	10	5	0	
	外科	8	7	1	0	0	0	0	
	眼科	431	3	0	3	3	422	0	
	耳鼻咽喉科	132	7	2	0	1	121	1	
	皮膚科	13	9	1	0	1	2	0	
	泌尿器科	30	5	4	7	4	10	0	
	精神科(神経科)	1	0	0	0	0	0	1	
	形成外科	13	6	4	0	1	2	0	
	療育相談班	109	0	0	0	3	37	69	
	脳外科	1	0	0	0	0	1	0	
その他	7	1	4	2	0	0	0		
受診状況	計	1,125	449	37	34	45	490	70	
	結果 内訳	問題なし	444	291	13	4	17	117	2
		要医療	249	23	4	7	5	145	65
		経過観察	428	133	20	22	23	227	3
		未確認	4	2	0	1	0	1	0
未受診	326	74	7	0	5	235	5		
不明	0	0	0	0	0	0	0		

受診期間は1か月です。

発行数は平成31年3月31日までに発行した数です。

受診結果は令和元年6月27日までに保護者、医療機関から報告のあった数です。

未確認とは受診しているが医療機関からの精健結果の返送のないものです。

不明とは受診・未受診の把握のできていないもので転出も含まれます。

4 訪問指導等

出生連絡票や乳幼児健康診査の結果等により、必要な指導を保健師や母子訪問相談員(保健師、助産師、看護師)、管理栄養士等、歯科医師、歯科衛生士が家庭訪問等で行いました。

(1) 対象児別訪問指導実施状況(延)

計 (人)	妊産婦	新生児	乳児	未熟児	幼児	思春期	その他	再掲		
								こんにちは 赤ちゃん	慢性 疾患児	虐待
11,515	4,921	1,375	3,774	273	982	0	190	4,758	66	999

「こんにちは赤ちゃん事業」について

生後4か月までの乳児のいる家庭に対し、保健師・母子訪問相談員が訪問し、母子の状況の確認・養育環境等の把握・育児不安・悩み等に対する相談及び子育て支援に関する情報提供を行いました。また支援が必要な家庭に対しては、適切なサービス提供を行い、さらに児童虐待の予防・早期発見・対応に結びつけました。

28年度	29年度	30年度
5,175	4,851	4,758

(2) 所内指導実施状況(延)

計	電話	面接	文書
16,793	11,224	3,537	2,032

5 健康相談

(1) 母子保健相談

育児や疾病等に関して保健師等が電話や所内面接により助言指導等を行いました。

ア 相談人数および処遇

	回数 (回)	相談人数						処遇		
		計 (人)	(乳 幼児 3 9 歳 以下 未 熟 児 含 む)	学 童)	妊 産 婦	新 生 児	そ の 他	計 (人)	終 結	経 過 観 察
計	3,713	4,239	3,819	223	123	67	7	4,239	4,073	177
来所相談	1,952	2,117	2,032	42	23	18	2	2,117	2,047	70
電話相談	1,464	1,246	924	181	96	40	5	1,246	1,173	73
ふれあい親子サロン 育児相談	297	876	863	0	4	9	0	876	853	34

イ 相談内容

	相談内容(延)																	
	計(件)	身体発育	発達	歯の衛生	食事・栄養	疾病・医療	予防接種	健康診査	生活習慣・育児	事故	心の相談	妊娠	不妊	育児不安	虐待疑い	DV疑い	生活習慣病予防	その他
計	5,125	2,126	420	43	915	411	97	46	572	54	26	56	2	36	4	0	5	312
来所相談	2,531	1,846	119	9	220	62	46	25	116	3	7	18	2	8	1	0	3	46
電話相談	1,435	71	132	11	311	279	44	13	219	37	19	37	0	18	3	0	1	240
ふれあい親子サロン 育児相談	1,159	209	169	23	384	70	7	8	237	14	0	1	0	10	0	0	1	26

(2) 地域における健康相談(ふれあい親子サロン)

27 公民館区において、定例的に月 1 回(8 月を除く)、保健師、保育士、主任児童委員、子育てサポーターなど、母子や地域に関わる多様な職種が対応したふれあい親子サロンが実施されています。その場において、保健師、保育士、管理栄養士、歯科衛生士等が育児相談、栄養相談、歯科相談を実施しました。来所者数 19,924 人(うち子ども 10,277 人)。

歯科衛生士による、ふれあい親子サロン・歯科相談は、城山・津久井・相模湖・藤野公民館区において実施しました。

(3) 栄養相談

管理栄養士等が食生活について栄養相談を実施しました。

ア 相談人数及び処遇

会場等	回数(回)	相談人数							処遇		
		計(人)	乳幼児	19歳以下 学童)	妊婦	産婦	32歳以下 90)	40歳以下	計(人)	終結	経過観察
栄養相談 計	36	140	136	1	2	1	0	0	140	137	3
緑区合同庁舎	12	18	17	0	1	0	0	0	18	18	0
ウェルネスさがみはら	12	65	62	1	1	1	0	0	65	64	1
南保健福祉センター	12	57	57	0	0	0	0	0	57	55	2
ふれあい親子サロン 計	91	604	602	0	0	2	0	0	604	596	8

イ 相談内容

相談内容(延)	会場等	計(件)	19歳以下																						
			授乳・食事リズム	母乳・ミルクの量が少ない	母乳・ミルクの量が多い	水分	離乳食の進め方	離乳食の量	卒乳の進め方	牛乳・フォローアップミルクの量	牛乳・フォローアップミルクの与え方	間食の与え方	間食の量	嗜好飲料の与え方	小食	過食	低体重	過体重	好き嫌い	噛まない	飲み込まない	むら食い	アレルギー	便秘	その他
計		264	23	3	12	2	91	44	10	8	6	5	1	1	6	0	12	2	8	8	0	4	5	2	11
緑区合同庁舎		30	1	0	0	0	11	6	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	1	2	1	3	
ウェルネスさがみはら		145	18	1	11	1	40	20	7	7	5	5	1	1	5	0	8	0	4	2	0	1	2	1	5
南保健福祉センター		89	4	2	1	1	40	18	2	1	1	0	0	0	1	0	3	1	4	4	0	2	1	0	3
ふれあい親子サロン	計	881	57	39	20	28	287	149	15	28	35	14	1	1	13	5	38	6	31	23	3	24	20	13	31

相談内容(延)	会場等	計(件)	妊産婦等				
			肥満	貧血	高血圧	糖尿病	その他
計		3	0	0	0	0	3
緑区合同庁舎		1	0	0	0	0	1
ウェルネスさがみはら		2	0	0	0	0	2
南保健福祉センター		0	0	0	0	0	0
ふれあい親子サロン	計	2	0	0	0	0	2

(4) 歯科相談

歯科衛生士が歯の健康について歯科相談を実施しました。

相談内容(延)	回数(回)	相談者数			相談内容(延)															処遇										
		計(人)	乳幼児	学童(1-9歳以下)	妊産婦・その他	計(件)	歯みがき	歯ならび	歯の汚れ	歯石	う蝕	フッ素	飲み物	食生活	歯の色	上唇小帯	断乳	歯肉の出血	歯肉の腫れ	歯の痛み	口臭	顎の痛み	口腔乾燥	摂食嚥下	治療内容	医療機関	その他	計(人)	経過観察	
ふれあい親子サロン 歯科相談	12	92	92	0	0	235	80	22	6	0	1	16	38	36	3	6	0	1	0	0	1	0	0	3	0	10	12	92	92	0

(5) 個別心理相談(おやこひだまり相談室)

継続的にきめ細かな指導が必要な児と保護者に対し、心理相談員、保育士、保健師が相談を受け、児童の発達促進及び育児支援を行いました。

相談内容(延)	回数(回)	相談人数(人)	問題点(延)							処遇(実)				
			計(件)	全体発達	言語発達	社会性	育児	習癖	その他	計(人)	地区担当 経過観察	再掲		終結
												相談継続	他機関紹介	
計	61	219	378	3	140	155	70	7	3	219	204	11	48	15
緑区合同庁舎	12	47	73	0	31	30	12	0	0	47	42	3	17	5
ウェルネスさがみはら	15	67	109	0	41	48	16	4	0	67	60	0	11	7
南保健福祉センター	18	66	118	0	49	53	16	0	0	66	63	7	16	3
城山保健福祉センター	4	12	21	2	6	7	6	0	0	12	12	1	2	0
津久井保健センター	6	17	40	0	10	10	14	3	3	17	17	0	2	0
相模湖総合事務所	3	5	11	0	3	5	3	0	0	5	5	0	0	0
藤野総合事務所	3	5	6	1	0	2	3	0	0	5	5	0	0	0

(6) 思春期相談

心身ともに著しく成長する思春期の悩みや不安等に関する相談に保健師等が助言、指導を行いました。

相談者数 (人)	相談内容(延)						処遇		
	計(人)	身体	メンタル	性	生活習慣	その他	計(人)	終結	経過観察
106	122	22	7	81	3	9	106	106	0

相談件数は、電話育児相談・所内育児相談の再掲。

(7) 不妊・不育専門相談

不妊・不育の悩みをもつ者に適切な情報を提供することや、相談者の抱えている悩みの軽減を図ることを目的とし、不妊・不育専門相談員が電話・面接による助言を行いました。

	(回数)	相談者数 (人)	相談内訳(延べ)									
			1 不妊の原因 について	2 不妊症の 検査・治療 について	3 不妊治療実 施医療機関 の情報	4 主治医や 医療機関に 対する不満	5 世間の偏見 や無理解に よる不満	6 家族に 関すること	7 費用や 助成制度に ついて	8 不育症に 関すること	9 不妊治療と 仕事の両立	10 その他
合計	11	22	6	14	4	2	0	6	1	1	0	10
電話	11	7	3	2	1	0	0	1	0	1	0	4
面接	11	15	3	12	3	2	0	5	1	0	0	6

6 健康教育

(1) 母親・父親教室(ハロー・マザークラス)

妊娠・出産または育児に関する日常生活に必要な知識及び技術の指導を行い、妊娠・出産による不安を解消するとともに、妊婦同士の友達づくりを目的としました。

対象は概ね妊娠 16 週以降の初妊婦とその家族です。

	開催数(回)		延参加人数		
	コース数	回数	合計人数	内訳	
				妊婦	他
計	19	38	1,710	994	716
緑区合同庁舎	4	8	388	217	171
ウェルネスさがみはら	6	12	586	339	247
南保健福祉センター	6	12	699	417	282
津久井保健センター	3	6	37	21	16

(2) 妊婦歯科教室(マタニティオーラルセミナー)

妊婦が妊娠期に発生しやすい口腔内疾患やその影響を理解し、その予防のための口腔ケア、生活習慣の改善および、かかりつけ歯科医による定期受診(メンテナンス)などを自発的に取り組めるようになることを目的としました。

	開催数(コース)	参加人数
計	58	362
緑区合同庁舎	3	18
ウェルネスさがみはら	4	24
南保健福祉センター	4	35
産科医療機関	47	285

(3) 離乳食教室(スタート編・モグモグ編)

第1子が概ね生後5~6か月、8~9か月になる保護者及びその家族を対象に乳幼児期の食生活(主に離乳食)に関して、離乳食の講義、試食と簡単な実習を行いました。

	スタート編				モグモグ編			
	回数 (回)	参加人数(人)			回数 (回)	参加人数(人)		
		計	内訳			計	内訳	
		母	他		母	他		
計	32	1,048	925	123	30	621	583	38
緑区合同庁舎	6	199	184	15	6	119	110	9
ウェルネスさがみはら	12	383	331	52	12	210	197	13
南保健福祉センター	12	456	401	55	12	283	267	16
城山保健福祉センター	2	10	9	1	-	9	9	0

* 城山のモグモグ編はスタート編と同日開催のため、回数は計上していない。

(4) 幼児の良い生活習慣普及啓発事業

おおむね1歳から就学前の幼児とその保護者を対象に、食生活に関する体験や知識の普及を行うことで、今後の食生活に対する意識を向上させるきっかけとすることを目的に実施しました。

実施方法	会場等	合計		緑		中央		南	
		回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)	回数 (回)	参加人数 (人)
食育講座	私立幼稚園、こどもセンター、子育て広場等	23	639	6	68	10	428	7	143
	再掲) まちかど講座 「子どもの食生活」	9	194	2	37	1	35	6	122
イベント等での普及啓発		0	0	0	0	0	0	0	0

(5) むし歯予防教室(親子で歯っぴいちゃれんじ大作戦!)

生後10か月から1歳2か月までの乳幼児とその家族を対象に、むし歯予防について必要な知識及び技術の指導を行いました。

	回数 (回)	参加人数(人)		
		計	内訳	
			乳幼児	保護者等
計	60	1,154	563	591
緑区合同庁舎	12	237	116	121
ウェルネスさがみはら	24	418	202	216
南保健福祉センター	24	499	245	254

(6) ぴよぴよサロン

児の発達や低出生体重等の育児不安のある保護者が、他児や保護者同士の交流により、よりよい親子関係が育めるような場を設けました。

	回数 (回)	延来所人数(人)		
		計	内訳	
			乳幼児	保護者等
計	36	291	147	144
緑区合同庁舎	12	143	73	70
ウェルネスさがみはら	12	64	32	32
南保健福祉センター	12	84	42	42

(7) 乳幼児健康診査等の事後指導教室(ことり教室)

主に発達面や親子関係等に心配のある幼児とその保護者を対象に、様々な刺激を通して、豊富な経験を得られるよう継続的な育児指導を行いました。

	回数 (回)	実 対 象 児 数 (人)	延来所人数(人)			問題点(延)							心 理 相 談 数 延 (実)	処遇(実)				
			計 (延)	(幼 児 実)	保 護 者	計 (件)	全 体 発 達	言 語 発 達	社 会 性	育 児	そ の 他	教 室 継 続		引 継 ぎ 地 区 担 当	引 継 ぎ 療 育 相 談 室	終 結	そ の 他	
																		(実)
計	106	230	1,874	904 230	970	424	8	211	151	49	5	56	70	108	42	6	4	
緑区合同庁舎	12	28	235	109 28	126	52	0	27	17	8	0	10	13	9	6	0	0	
ウェルネス さがみはら	24	88	634	303 88	331	163	1	84	66	12	0	19	27	31	23	4	3	
南保健福祉 センター	24	84	604	294 84	310	144	6	75	48	11	4	20	24	52	5	2	1	
城山保健福祉 センター	12	9	107	53 9	54	21	1	9	6	5	0	4	0	4	5	0	0	
津久井保健福祉 センター	12	9	91	47 9	44	20	0	8	5	6	1	2	3	4	2	0	0	
相模湖総合事務所	11	12	203	98	105	24	0	8	9	7	0	1	3	8	1	0	0	
藤野総合事務所	11			12														

幼児とその保護者で一組と考えるため、問題点、処遇については、幼児数で計上。

(8) 多胎児支援教室(ビーンズクラブ)

ふたごやみつごの子を持つ家族や妊婦を対象に、育児方法の情報交換や先輩家族との交流の場として教室を開催し、主体的に育児に取り組むことができるよう支援を行いました。

	回数 (回)	参加人数(人)		
		計	内訳	
			保護者等	乳幼児
計	6	222	89	133
緑区合同庁舎	2	78	28	50
ウェルネスさがみはら	2	80	33	47
南保健福祉センター	2	64	28	36

(9) 育児支援教室(ママの休み時間)

育児不安や育児ストレスから子育てに悩む母親たちが心のうちを話し合い、不安やストレスを軽減できるよう、同じような悩みを抱えた「仲間に出会う場所」を提供しました。

回数 (回)	参加人数(人)		
	計	内訳	
		母	乳幼児
12	63	33	30

(10) 慢性疾患児講演会

アレルギー疾患により長期にわたり療育を必要とする児童について、その問題及び療育状況に応じた指導を行い、日常生活における健康保持増進及び福祉の向上を図りました。

会場	内容	講師	参加者数	保育児数
緑区合同庁舎	食物アレルギーについて	国立病院機構 相模原病院 医師 永倉 顕一 氏 看護師 吉田 玲子 氏 緑子育て支援センター 管理栄養士	30 (5)	13
ウェルネスさがみはら	アトピー性皮膚炎について	国立病院機構 相模原病院 医師 高橋 亨平 氏 看護師 押見 美穂 氏 緑子育て支援センター 管理栄養士	47 (20)	17
南保健福祉センター	小児ぜんそくとアレルギー性鼻炎(花粉症)について	国立病院機構 相模原病院 医師 浅海 智之 氏	24 (6)	14

()は、再掲で同席受講児数

(11) 依頼による健康教育

子育てや子どもの健康について学びたい等の要望に応え、地域の住民等からの依頼を受け健康教育を実施し、育児不安の軽減や子育て支援を行いました。

回数・・・ 45回

参加人数・・・ 3,346人

(12) 赤ちゃんとおふれあい体験教室

中高生が赤ちゃんとお保護者におふれあい、赤ちゃんの特徴や育児の様子を知り、生命の大切さを再確認するとともに自己肯定感を育てる目的で行いました。

平成29年度より、思春期出前講座の希望のあった市内の中学校・高等学校から1校選出して実施しています。(思春期出前講座と同時開催)

回数	開催場所	対象学年	参加者数(人)
1	緑が丘中学校	1年生	90

(13) 妊娠前教室

子どもを希望している者に対し、子どもを産み育てる意義を考える機会となるよう、健康な子どもを産み育てるための生活習慣や不妊治療の現状などについて、知識普及を行いました。

回数(回)	開催場所	講師	参加者数(人)
2	ウェルネスさがみはら	京都橘大学看護学部 教授 上澤 悦子 氏	13
	緑区合同庁舎		8

(14) 思春期出前講座

思春期の子どもたちが、生命の大切さを再認識し自己肯定感を育てるきっかけをつくとともに、身体的精神的特長や性に対する正しい知識を得ることにより性に対する態度や行動について、将来を見通して意思決定できる能力を高めることを目的に行いました。

(平成27年度から実施)

区	開催校	対象学年	参加者数(人)
緑	相模丘中学校	2年生	147
	青野原中学校	全学年	43
	旭中学校	2年生	255
	中野中学校	1年生	98
中央	由野台中学校	1年生	116
	緑が丘中学校	1年生	90
	清新中学校	3年生	271
	県立相模田名高等学校	1年生	280
南	大野台中学校	2年生	105
	谷口中学校	1年生	186
	相武台中学校	2年生	119
	若草中学校	1年生	53

7 医療援護

「育成医療」、「小児慢性特定疾病医療」、「養育医療」及び「特定不妊治療費」の審査・決定を行い医療費の助成を行いました。

(1) 自立支援(育成)医療給付

生まれつき、あるいは病気などで身体に障害のある子どもが、生活能力を得るために必要な治療を指定医療機関で受けた場合に、医療保険の自己負担分を助成しました。

認定・却下	実人数(人)	計(件)	疾病区分									
			肢体不自由	視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	心臓機能障害	腎臓機能障害	小腸機能障害	肝臓機能障害	その他内臓障害	免疫機能障害
認定	29	33	5	1	2	20	1	0	0	1	3	0
却下	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

(2) 自立支援(育成)医療補装具給付

自立支援(育成)医療の認定を受けた児に対し、補装具の給付を行いました。

申請数	決定件数
1	1

(3) 小児慢性特定疾病医療給付

慢性で特定の疾病に罹患した子どもが健全に育成していけるよう、指定された医療機関等で受けた治療の、医療保険自己負担分を助成しました。

認定・不承認	実人数(人)	計(件)	疾病区分															
			悪性新生物	慢性腎疾患	慢性呼吸器疾患	慢性心疾患	内分泌疾患	膠原病	糖尿病	先天性代謝異常	血液疾患	免疫疾患	神経・筋疾患	慢性消化器疾患	染色体又は遺伝子に变化を伴う症候群	皮膚疾患	骨系統疾患	脈管系疾患
認定	521	538	60	36	20	132	116	19	33	15	24	3	33	29	4	2	10	2
不承認	25	25	15	1	0	2	1	1	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0

(4) 小児慢性特定疾病児童日常生活用具給付

小児慢性特定疾病の認定を受けた児童のうち、在宅で日常生活を営むことに支障がある児に対し、日常生活用具の給付を行いました。

申請数 (件)	給付決定数 (件)				
		電気式たん吸引器	ネブライザー	パルスオキシメーター	人工鼻
10	10	2	0	3	5

(5) 未熟児養育医療給付

出生体重が 2,000g 以下、もしくは在胎週数 37 週未満で身体機能が未熟な状態で生まれ、医師が入院養育を必要と認めた乳児が、諸機能を得るまでの必要な入院医療を指定医療機関で受けた場合に、医療保険の自己負担分を助成しました。

出生時の体重(件)							
総数	1,000g 以下	1,001 ~1,500g	1,501 ~1,800g	1,801 ~2,000g	2,001 ~2,300g	2,301 ~2,500g	2,501g 以上
216	37	36	24	31	48	13	27

(6) 特定不妊治療費助成

高額な医療費がかかる特定不妊治療の経済的負担の軽減を図るため、配偶者間の不妊治療に要する費用の一部を助成しました。

申請	助成承認 件数	承認内訳				助成不承認 件数
		体外 受精	顕微 授精	凍結胚 移植	その他	
794	793	173	297	225	98	1

8 その他

(1) 学校歯科巡回指導

市内小学校を巡回して2年生と5年生全員に歯科保健に関する指導を行いました。

学校数	クラス数	人数
71	387	11,675

(2) 母子継続看護連絡会

本市における母子に関わる保健・医療の円滑な推進を図るため、開催しました。

ア 構成

市内の母子に関わる継続看護を実施している医療機関及び関係職員

イ 開催日及び参加人数

平成30年7月20日(金) 17人

平成31年2月25日(月) 21人

(3) 先天性代謝異常等検査

生後5~8日の新生児に対し、フェニルケトン尿症など、20疾患の早期発見、早期治療のために先天性代謝異常等の検査を行いました。

・検査件数 5,230件

(4) 新生児聴覚検査

新生児等の聴覚障害の早期発見及び早期療育を推進し、聴覚障害による音声言語発達等への影響を最小限に抑えることを目的として新生児聴覚検査費用の一部を助成しました。

・検査件数 1,548件 (平成30年10月から事業開始)

第7章

地域における保健事業

1 相模原市健康づくり普及員連絡会活動

健康づくり普及員連絡会が、地域に根ざした健康づくりを推進するために健康づくり事業を行いました。

平成 30 年 4 月 1 日現在 健康づくり普及員数 168 名

	実施回数	内 容
総会	1	平成 30 年 4 月 23 日 (月)
役員会	31	各種事業の実施内容の検討等 本部会 11 回、支部会・拡大合同会議 17 回、専門部代表者会議 3 回
地区事業	306	主に公民館を拠点とした 27 地区で、ウォーキング教室や健康づくり普及事業、育児支援事業等を実施 参加者数 14,068 名
重点事業部	実施事業 3 回 部会・企画会議 16 回	「骨の健康」を重点テーマに活動 <研修会> ・骨の健康に関する啓発方法(パネルの使い方)について、市内 1 会場で実施 <啓発事業> ・健康フェスタ 2018・相模原スポーツフェスティバル等で、啓発活動を実施 <啓発媒体作成> ・骨の健康「あなたの骨・元気ですか」のパネル作成
介護予防部	実施事業 4 回 (元気倶楽部 479 回) 部会・企画会議 12 回	<研修会> ・元気倶楽部の「体操」「体力測定」について、市内 1 会場で各 1 回実施 ・元気倶楽部の交流タイムに活用するため「笑いヨガ」「コグニサイズ」について、市内 1 会場で 1 回実施。 <元気倶楽部> ・概ね 65 歳以上の方を対象に、転倒体力低下予防のための体操及び体力測定を 27 地区で実施 479 回 参加者数 10,401 名 <啓発事業> ・健康フェスタ 2018(体力測定およびその評価)・さがみはらスポーツフェスティバル(体組成測定)で啓発活動を実施
子育て支援部	実施事業 4 回 部会・企画会議 16 回	<研修会> ・子育て支援の方法について、市内 3 会場で実施 <事業開催> ・市民を対象に子育て講座を市内 1 会場で実施。 内容：講座「ヨガでリフレッシュ、親子ふれあい」、寸劇「骨の話」、グループワーク <出前講座(地区活動のため実施回数に計上せず再掲)> ・市内 3 地区にて、子育て支援事業の実施をサポート
運動習慣支援部	実施事業 2 回 部会・企画会議 12 回	<研修会> ・スロトレをテーマに市内 1 会場で実施 <啓発事業> ・健康フェスタ 2018 で啓発活動を実施(スロトレの体験・正しい歩き方等) <啓発媒体作成・配布> ・スロトレ指導マニュアルの確認、上記研修会や地区事業等で使用。 ・ウォーキングマップ作成、地区配布
広報部	部会・企画会議 9 回 取材 3 回	<広報紙「みんな元気」作成・配布> ・健康に関する情報提供、健康づくり普及員の活動紹介をする広報紙を年 1 回(10 月)発行し、地区事業等で配布 発行部数 7,500 部

2 人材育成

(1) 健康づくり普及員養成講座

市民の立場から健康づくり普及啓発活動をしてもらう健康づくり普及員を養成することを目的に、津久井保健センター、ウェルネスさがみはら、南保健福祉センターにおいて養成講座を実施しました。

- ・ 対象者 ... 市内在住の人で、講座修了後、地域において健康づくり推進のための活動を積極的に行う意志があり、地域との連携を図り活動のできる人。
- ・ 内容 ... 活動のイメージを持ち、意欲を高められるよう、健康づくり普及員の役割、基本的な活動内容等を学ぶ。

実施回数	修了者数	委嘱者数
15	14	11

(2) 健康づくり普及員現任研修

健康づくり普及員として活動するため、必要な知識と技術を習得し、今年度の普及員活動に役立てることを目的に研修を実施しました。

- ・ 内容

ア 「運動習慣をつくろう ～3033運動～」

運動を日常生活の中で習慣化することで、生活習慣病の予防等につながることを学び、運動を生活に取り入れる手法として「3033運動」について学んだ。

講師：神奈川県立体育センター職員

イ 「骨の健康 ～基礎知識～」

「骨の健康」について、医学的な面からの基礎知識について学んだ。

講師：宮城 正行 先生（北里大学病院 整形外科 医師）

ウ 「『食事』と『運動』で骨の健康アップ」

骨の健康には「食事」と「運動」が大きく関係していること、また実際の生活の中に取り入れられる方法について学んだ。

講師：石川 三知 先生（Office LAC-U 代表 管理栄養士・スポーツ栄養アドバイザー）

エ 地区での活動に役立つ！おトク講座

保健師から地域の特徴や健康課題を学び、地域理解を深めた。

オ 「健康づくり普及員ナットク講座」

たばこに関する知識（全普及員対象）

たばこに関する新しい情報について学んだ。

初任者向け（普及員1年目）

活動を始めてみて浮かんできた疑問や思いを共有・整理し、普及員活動について再確認した。

実施回数	延人数
10	473

第 8 章

栄養・食生活改善事業

1 広域的・専門的栄養改善活動

(1) 専門栄養指導・相談

疾病の予防・療養の両面から食生活に関する正しい知識と実践技術の啓発・普及のため、各種疾病教室を開催するとともに、それぞれの疾病に応じた個別相談を行いました。

	区分	回数	人数	備考
集団指導	難病支援	2	20	(再掲)その他の健康教育(健康増進法外の健康教育)

(2) 地域における食生活改善事業

ライフステージに応じた、適切な食生活実践の支援を行いました。

区分	回数	人数	内容	備考
計	46	1,507	-	-
生活習慣病予防	1	635	普及啓発	-
	27	560	講話、実習	公民館等
高齢者対象	18	312		

(3) 栄養表示推進事業

ライフスタイルが多様化し、食関連情報が氾濫している中で、適切な食品選択を行い、健康づくりにつなげることができるように、市民に対して食品表示基準(栄養成分表示等)を普及啓発しました。

また、虚偽誇大広告等の表示の禁止、加工食品等の栄養成分表示の推進等、食品の製造に関わる企業等へ指導助言を実施しました。

ア 食品表示基準制度、虚偽誇大広告等の指導

区分	集団指導		
	回数	人数	備考
計	14	1,596	-
市民	14	1,596	わかかな会委託事業(栄養表示普及啓発講習会) ...9回1,410人 まちかど講座等...1回10人 食生活改善推進員養成講座...1回11人 食生活改善推進団体わかかな会定例会...3回165人
食品業者	0	0	-

イ 食品業者に対しての表示改善指導

区分	件数	備考
表示改善等指導	44	栄養表示の表示方法に関する指導、表示内容の改善指導、誇大広告の内容に関する指導及び広告内容の改善指導を計上しています。
収去検査	0	収去検査実施依頼なし

ウ 外食栄養成分表示

区分	実施数	備考
総登録店	67 店	-
(再掲)新規登録店	8 店	-
登録取消店	1 店	閉店のため
登録店個別指導回数	67 回	-
外食栄養成分表示 普及啓発回数・人数	18 回 1,144 人	食品衛生責任者講習会、 新規営業者講習会において

2 食育推進事業

(1) 食育推進委員会

食育推進計画の推進を図るため、食育推進委員会を開催しました。

ア 構成

医師会、歯科医師会、学識経験者、幼稚園・認定こども園協会、私立保育園・認定こども園園長
会、公立小中学校長会、栄養士会、食生活改善推進団体わかな会、健康づくり普及員連絡会、農
業協同組合、神奈川つくい農業協同組合、小中学校PTA連絡協議会、食品衛生協会、食品衛生
協会特別委員会、さがみはら消費者の会、公募委員及び関連職員

イ 開催日及び参加人数

平成30年7月5日(木) 20人
平成30年9月18日(火) 20人

(2) 食育推進計画検討ワーキング

第2次食育推進計画に位置づいている事業または取り組みについて、推進状況の確認と、計画へ
の課題や推進内容の検討を行うとともに、第3次食育推進計画の策定に向けて計画内容の検討を行
いました。

ア 構成

消費生活総合センター 生活衛生課 中央保健センター 保育課 こども家庭課 緑子育て支援
センター 中央子育て支援センター 南子育て支援センター 商業観光課 農政課 廃棄物政策
課、資源循環推進課、学校保健課 学校教育課 生涯学習課 健康増進課の職員

イ 開催日及び参加人数

平成30年4月17日(火) 18人
平成30年5月15日(火) 17人
平成30年5月29日(火) 15人
平成30年8月3日(金) 19人

(3) 食育フェア

市民が食について興味を持ち、楽しみながら学ぶとともに、楽しい食を実践しやすい環境を整え
るため、食育推進委員会と連携し、「第9回たのしさアップ!おいしさアップ!食育フェア」を開催
しました。

開催日 平成31年2月16日(土)
会場 アリオ橋本
参加人数 515人(実)

(4) 食育推進事業

様々な経験を通じて、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人を育てることを目的として講座を実施するとともに、「食育」の意義や必要性についての普及・啓発を行いました。

	区分	回数	人数	内容	備考
食育講座	計	10	193		
	地域における親子食育講座	7	144	親子を対象とした調理と食について学ぶ講座	公民館にて実施。委託事業
	命の大切さ、食品の衛生的な取扱いをテーマとした食育講座	3	49	親子を対象とし、地域で伝わる郷土料理について学ぶとともに、調理と食の大切さや楽しさを学ぶ。	委託事業として公民館・ソレイユさがみ等で実施
	その他、食育講座	0	0	-	-
普及啓発	計	19	4,312		
	野菜350g摂取の普及・啓発	11	2,208	野菜の計量、試食、食育パネルの展示等	まつり、イベント等にて実施。委託事業、食育フェア等
	食育パネル展	1	-	食育に関するパネル展示及び資料配布	ウェルネスさがみはらにて実施
	関連機関・団体との連携	7	2,104	着ぐるみの貸し出しと食育資料の配布等	

3 特定給食施設等指導事業

(1) 特定給食施設講習会

ア 特定給食施設等管理者及び従事者講習会

特定給食施設等における栄養管理や食品衛生に関する知識を習得し、これらの改善・向上を図ることを目的として実施しました。

	月日	時間	会場	対象者	内容・講師
栄養管理	7月 11日 (水)	午後 2:00～ 4:00	教育会館 3階 大会議室	施設の 管理者 管理栄養士 栄養士 調理従事者 等	「和食を切り口とした食育の推進について」 東京家政学院大学 教授 酒井 治子氏 園での取組事例 1 ひよこ保育園 園での取組事例 2 星ヶ丘二葉園
	7月 17日 (火)	午後 2:00～ 4:00	ウェルネス さがみはら A館3階 集団指導室	施設の 管理者 管理栄養士 栄養士 調理従事者 等	「診療報酬・介護報酬の改定に伴い栄養管理に求められること」 診療報酬・介護報酬の改定のポイント(情報提供) 相模原市保健所 健康増進課 管理栄養士 栄養サマリーを活用した施設間連携について(仮) 総合相模更生病院 管理栄養士 蛸子みどり氏 シルバータウン相模原特別養護老人ホーム 管理栄養士 岡本 裕子氏 退院時共同指導料の算定に向けた取り組みについて 相模原中央病院 管理栄養士 山口さゆり氏 意見交換
食品衛生	7月 3日 (火)	午後 2:00～ 4:00	ウェルネス さがみはら A館7階 視聴覚室	施設の 管理者 管理栄養士 栄養士 調理従事者 等	「食品衛生について」 相模原市保健所 生活衛生課 食品衛生監視員
	7月 4日 (水)	午後 2:00～ 4:00	津久井保健 センター 2階 集団指導室		

(2) 特定給食施設等支援

介護老人保健施設や老人福祉施設における栄養・健康管理に関する知識の向上、また各施設のネットワークづくりを行うため、各栄養士部会等の研修会の開催について支援を行いました。

(3) 特定給食施設等個別指導

対象者の健康確保のため給食提供が計画的、衛生的になされるよう、指導助言を実施しました。

ア 登録給食施設状況(平成31年3月31日現在)

種別区分	対象施設数	特定給食施設(施設数)								小規模特定給食施設(施設数)			
		1回300食以上または 1日750食以上				1回100食以上または 1日250食以上				1回50食以上または 1日100食以上			
		管理栄養士のみ	+ 管理栄養士	栄養士のみ	未配置	管理栄養士のみ	+ 管理栄養士	栄養士のみ	未配置	管理栄養士のみ	+ 管理栄養士	栄養士のみ	未配置
計	380	40	19	17	9	26	47	32	41	30	16	44	59
学 校	63	33	10	15	0	1	0	3	0	0	0	1	0
病 院	34	3	6	0	0	4	12	0	0	4	5	0	0
介護老人保健施設	12	0	0	0	0	3	9	0	0	0	0	0	0
老人福祉施設	37	0	0	0	0	9	15	0	0	6	7	0	0
児童福祉施設	128	0	2	0	0	7	10	24	20	15	2	28	20
社会福祉施設	15	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	5	5
事業所	50	4	1	2	9	0	1	2	19	0	1	0	11
寄宿舎	5	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
矯正施設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自衛隊	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
その他	34	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	10	19

対象施設数()は、管理栄養士必置施設の内数です。

イ 登録給食施設個別指導状況

種別区分	対象施設数	個別指導延件数	個別指導内訳(延)			特定給食施設(延施設数)								小規模特定給食施設(延施設数)			
			巡回指導	来所指導	電話相談	1回300食以上または 1日750食以上				1回100食以上または 1日250食以上				1回50食以上または 1日100食以上			
						管理栄養士のみ	+ 管理栄養士	栄養士のみ	未配置	管理栄養士のみ	+ 管理栄養士	栄養士のみ	未配置	管理栄養士のみ	+ 管理栄養士	栄養士のみ	未配置
計	380	181	98	0	83	4	6	4	3	13	33	21	15	19	5	29	29
学 校	63	12	9	0	3	3	1	3	0	0	0	4	0	0	0	1	0
病 院	34	23	16	0	7	1	4	0	0	0	10	0	0	5	3	0	0
介護老人保健施設	12	8	5	0	3	0	0	0	0	2	6	0	0	0	0	0	0
老人福祉施設	37	22	12	0	10	0	0	0	0	6	9	0	0	5	2	0	0
児童福祉施設	128	61	38	0	23	0	1	0	0	5	7	14	5	5	0	16	8
社会福祉施設	15	8	4	0	4	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	4	2
事業所	50	16	3	0	13	0	0	1	3	0	1	2	7	0	0	0	2
寄宿舎	5	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
矯正施設	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自衛隊	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	34	29	11	0	18	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	8	16

対象施設数()は、管理栄養士必置施設の内数です。

対象施設数は、平成30年度中に廃止・休止した施設も含まれます。

- ウ 未登録施設指導（1回50食未満または1日100食未満）
11件（児童福祉施設、有料老人ホーム、通所施設等）

エ 登録給食施設状況調査

給食施設における栄養給与及び栄養指導等の状況を把握するために、「特定給食施設等の栄養の改善に関する規則」第6条に基づき、給食施設栄養管理報告書の提出を求め、状況分析や指導等に活用しました。

- 1 提出年月日 平成31年3月31日（平成30年の給食実施内容）

2 提出様式及び提出施設数

様式	施設種別	対象施設数	提出施設数
第5号	病院	34	34
第6号	学校	65	65
第7号	児童福祉施設	125	125
第8号	介護保険施設・老人福祉施設・社会福祉施設 その他の施設	96	96
第9号	事業所・寄宿舍・矯正施設・自衛隊	57	55
合 計		377	375

4 人材育成

（1）食生活改善推進員養成講座

地域における食生活改善活動を推進するためのボランティアである食生活改善推進員の養成を目的に、ウェルネスさがみはらの調理実習室等において必要な知識と技術を習得する養成講座を実施しました。

ア 講座の実施状況

実施回数	受講延人数	受講実人数	修了者数
9	101	13	12

イ 記念講演の実施

実施日 平成30年12月21日（金）

内 容 「地域における食生活改善推進員に求められる役割と活動について」

講 師 田村 須美子氏

場 所 ウェルネスさがみはら

（2）相模原市食生活改善推進団体わかかな会の育成・支援

地域において健康づくり及び食生活改善を推進する指導的人材を育成するため、ボランティア団体である相模原市食生活改善推進団体わかかな会の育成・支援を実施しました。

区 分	実施回数	延人数
計	35	1,338
研修会(定例学習会、その他)	23	1,230
役員会	12	108

(3) 地域リーダー等の育成・支援

地域において健康づくり及び食生活改善を推進する指導的人材を育成するため、保健・医療・福祉領域の管理栄養士等の人材育成を進めました。

区 分	実施回数	延人数
計	6	53
栄養士会	6	53

第9章

感染症対策事業

1 結核対策事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき健康診断を実施し、患者の早期発見・発症予防に努めるとともに、発見された患者については早期治癒にむけての生活指導等を実施しました。

(1) 結核登録状況

ア 新登録患者数：(年次推移) (各年累計)

年	区分	新登録患者数			罹患率(人口10万対)		
		全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
H26年		19,615	1,329	96	15.4	14.6	13.3
H27年		18,280	1,311	79	14.4	14.4	11.0
H28年		17,625	1,192	57	13.9	13.0	7.90
H29年		16,789	1,143	70	13.2	12.5	9.75
H30年		15,576	1,024	60	12.3	11.2	8.35

平成30年は概数

イ 全登録者数：(年次推移) (各年12月31日現在)

年	区分	全登録者数			登録率(人口10万対)		
		全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
H26年		47,845	3,556	259	37.6	39.1	35.8
H27年		44,888	3,426	224	35.3	37.5	31.1
H28年		42,299	3,213	196	33.3	35.1	27.2
H29年		39,664	3,028	190	31.3	33.1	26.5
H30年		37,146	2,777	140	29.4	30.3	19.4

平成30年は概数

ウ 活動性全結核登録者数：(年次推移) (各年12月31日現在)

年	区分	活動性全結核登録者数			有病率(人口10万対)		
		全国	神奈川県	市	全国	神奈川県	市
H26年		13,513	937	62	10.6	10.3	8.6
H27年		12,534	922	47	9.86	10.1	6.5
H28年		11,717	785	34	9.23	8.58	4.71
H29年		11,097	734	48	6.74	7.50	6.69
H30年		10,441	690	36	8.26	7.52	4.98

平成30年は概数

工 活動性分類別・新登録患者数

(各年累計)

区 分	活 動 性 結 核						潜在性 結核 感染症 (別掲)	
	総 数	肺 結 核 活 動 性				肺外結核 活動性		
		総 数	喀痰塗抹 陽性	その他の 結核菌 陽性	菌陰性・ その他			
H26年	96	73	33	31	9	23	38	
H27年	79	67	25	24	18	12	33	
H28年	57	48	23	20	5	9	37	
H29年	70	59	28	24	7	11	31	
H30年	60	49	26	21	2	11	19	
(再掲) 内訳	20歳未満	1	1	0	1	0	0	0
	20～29歳	4	3	1	2	0	1	5
	30～39歳	1	1	0	1	0	0	0
	40～49歳	4	3	2	1	0	1	5
	50～59歳	7	6	2	4	0	1	2
	60～69歳	10	10	5	4	1	0	4
	70歳～	33	25	16	8	1	8	3

才 活動性分類別・年齢階級別年末現在登録者数

(12月31日現在)

年齢階級別	年 末 現 在 登 録 者 数									潜在性 結核 感染症 (別掲)	
	総 数	活 動 性 結 核						不活動 性結核	活動性 不明		
		総 数	肺 結 核 活 動 性				肺外結 核活動 性				
総 数	140	36	30	17	10	3		6	56	48	62
(再掲) 内訳	20歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	20～29歳	11	2	2	1	1	0	0	4	5	8
	30～39歳	14	1	1	0	1	0	0	5	8	9
	40～49歳	14	1	1	1	0	0	0	8	5	8
	50～59歳	18	4	4	2	2	0	0	6	8	11
	60～69歳	24	6	6	4	1	1	0	12	6	13
	70歳～	59	22	16	9	5	2	6	21	16	11

(2) 定期健康診断

感染症法に基づき、結核患者の早期発見のため、胸部エックス線検査を受ける機会のない 65 歳以上の人を対象に市民結核健康診断を実施しました。

年度	胸部エックス線検査受検者数
H26 年度	1,785
H27 年度	1,895
H28 年度	1,746
H29 年度	1,704
H30 年度	1,694

(3) 接触者健康診断

感染症法に基づき結核患者の家族や接触者に胸部エックス線検査や I G R A 検査等を実施し、感染者の発見と発病予防、発病者の早期発見及び感染源の把握に努めました。

また、事業所や施設等において結核患者が発生した場合には、状況を調査し、接触者に対する健康診断の実施結果報告を求めました（平成 30 年度は、11 か所（病院 5 か所、福祉施設 2 か所、事業所等 4 か所）を対象に訪問調査を実施）。

受診者数	健診内容（延）				健 診 結 果			医療機関紹介の受診結果				
	胸部エックス線検査	パルス反応検査	喀痰検査	IGRA 検査	異常なし	医療機関紹介	要観察	結核治療開始	LTBI 治療開始	IGRA 陽性要観察	その他	未受診
261	96	9	0	222	248	8	5	0	5	2	0	1

(4) 結核患者管理指導

結核患者の早期治療に向けて、各種情報を集約し病状把握に努めるとともに、療養上の支援を行いました。

ア 管理検診

結核登録者に対して、結核の予防または医療上必要があると認めるとき、感染症法に基づき精密検診を実施し、病状経過の把握に努めました。

受診者数	検診内容（延）		検 診 結 果		
	胸部エックス線検査	喀痰検査	異常なし	医療機関紹介	要観察
49	49	1	47	1	1

イ 結核定期病状調査

結核登録者のうち、病状把握の困難な者については、医療機関等から報告を受け、病状等を把握し、訪問指導等の結核対策の迅速化・円滑化を図り、結核の再発や二次感染の防止に努めました。

報告件数 92 件

ウ 結核患者保健指導

入院・通院治療をしている結核登録者に対し、面接または訪問を行い患者本人の治癒に向けた服薬指導を行いました。また、本人・家族等から正確な情報収集を行い、適切な対象に健診が実施できるよう努めました。

指導内訳（延人数）			
訪問	電話	面接	文書
186 人	1,532 人	136 人	1,839 人

（５）結核患者の服薬支援（地域DOTS事業）

結核患者が確実に抗結核薬を服用することにより、結核のまん延を防止するとともに、多剤耐性結核の発生を予防することを目的に結核患者の服薬支援を行いました。

ア 訪問服薬支援員制度・薬局DOTS制度

訪問服薬支援員制度として、市に登録している看護師等が結核患者の自宅を訪問し、服薬確認を行いました。薬局DOTS制度については、市に登録している薬局に結核患者が通い、薬剤師が服薬確認を行います。

訪問服薬支援員制度及び薬局DOTS制度による支援患者数	
訪問服薬支援員制度	薬局DOTS制度
3 人（延べ 13 回）	0 人

イ DOTSカンファレンス

結核患者の服薬支援計画についての評価・検討を定期的（1回/月）に実施することにより、より良い服薬支援につなげ、治療完了率の向上を図ることに努めました。

カンファレンス件数 延べ182件（12回/年）

DOTSカンファレンスの内訳			
登録・退院後1ヵ月	登録後4ヵ月	LTBI登録後1ヵ月	LTBI登録後4ヵ月
79 件	61 件	24 件	18 件

ウ コホート検討会

結核患者の治療成績を分析するとともに、患者支援の評価・見直しを行い、地域DOTS体制の推進を図ることを目的として、喀痰塗抹陽性患者を対象に年3回検討会を開催し、結果については関係機関に還元しました。

コホート検討会の内訳			
コホート検討	死亡事例	失敗事例	脱落事例
30件	11件	0件	0件

エ 結核対策評価会議

結核患者の治療成績の分析及び支援方法の評価を踏まえ、事業全体の評価と見直しを行い、地域の結核対策全般に関する課題検討を行いました。

実施日：平成31年3月1日（金）

参加者数：28人 内訳（有識者2人、医療機関14人、その他関係機関12人）

（6）感染症診査協議会（結核診査部会）

感染症法に基づき、委員8名で構成し、市長の諮問に応じ、結核患者に対する指定医療機関への入院勧告、就業制限及び医療費の公費負担の申請に関する必要事項を審議しました。

公費負担については、一般患者（37条の2）は厚生労働省令で定める医療に要した費用の95%を、入院患者（37条）については医療費の全額を負担しました。

医療費負担区分別公費負担申請件数（感染症法第37条の2）

（各年累計）

区分 年	種別	総数	被用者保険		国民健康保険	後期高齢 者医療	生活保護法	その他
			本人	家族				
H26年	申請	202	41	15	60	69	17	0
	承認	201	41	15	60	68	17	0
H27年	申請	157	38	5	60	43	10	1
	承認	156	38	5	59	43	10	1
H28年	申請	147	40	3	51	40	11	2
	承認	146	40	3	50	40	11	2
H29年	申請	137	53	9	43	19	12	1
	承認	136	53	9	42	19	12	1
H30年	申請	101	31	1	27	34	7	1
	承認	101	31	1	27	34	7	1

当該年中に合否の決定がなされたものを計上。

感染症法に基づく入院勧告による入院患者数及び公費負担申請（感染症法第 37 条）件数

年	区分	入院患者数		公費負担申請件数 (各年累計)
		(各年累計)	(各年末現在)	
H26 年		37	8	101
H27 年		26	6	90
H28 年		25	4	67
H29 年		31	5	98
H30 年		25	6	77

当該年中に入院勧告を行った又は公費負担申請のあったものを計上。

法改正により公費負担の有効期間は平成 19 年度以降は最大 33 日。

(33 日間を超える入院が必要な場合は、感染症診査協議会で予め最大 30 日間の入院期間延長の決定をした上で、公費負担の継続申請の手続きが必要となる。)

(7) 結核予防啓発事業

結核に対する正しい知識の普及を図り、結核のまん延を未然に防止するため、各種予防啓発事業を実施しました。

ア 結核予防週間

毎年 9 月の最終週が厚生労働省により結核予防週間に定められ、市ホームページへの記事掲載、職域保健との連携、ポスターの配布等を通じて、啓発事業を行いました。

イ 複十字シール運動

財団法人結核予防会が主催している複十字シール運動に協力し、パンフレットの配布及び募金活動を行いました。

ウ 研修会

社会福祉施設向け研修会

市内の福祉施設等の職員を対象に、結核に対する正しい知識の普及啓発を図るため、研修会を実施しました。

実施日 平成 30 年 7 月 25 日(水)

会場 ウェルネスさがみはら 7 階 視聴覚室

内容 ・結核の基礎知識
・高齢者結核のDOTSと結核早期発見のために

参加者数 76 人

医療従事者研修会

結核の現状、課題及び治療の知識等を深めることにより、患者の早期診断、標準治療の普及、院内感染防止等を目的とし、市内の結核医療に従事する医療機関、施設等の関係者

を対象に研修会を実施しました。

実施日 平成 30 年 10 月 12 日（金）
 会場 ウェルネスさがみはら 7 階 視聴覚室
 テーマ 「結核による院内感染と耐性菌結核の検査及び治療について」
 講師 公益財団法人結核予防会 結核研究所
 医師 吉山 崇 氏
 参加者数 59 人

エ 外国人無料なんでも相談会

さがみはら国際交流ラウンジ運営機構主催の外国人無料なんでも相談会（無料結核検診）にて神奈川県結核予防会と連携し健康相談等を行いました。

2 感染症対策事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症発生時には、その類型に応じ、患者等の人権の保護に配慮し、積極的疫学調査、健康診断、その他必要な措置の迅速な対応に努めました。また、感染症発生の状況及び原因の調査を行い、感染症の発生の予防及びまん延の防止を図るとともに、感染症対策の効果的な実施を図るため、感染症発生動向調査を実施しました。

(1) 感染症発生届出状況 (年次推移)

(各年累計)(平成 30 年は暫定数)

年	区分	計	二類（結核除く）					三類				
			急性灰白髄炎	ジフテリア	呼吸器症候群	重症急性（H5N1）	鳥インフルエンザ（H7N9）	鳥インフルエンザ	コレラ	細菌性赤痢	腸チフス	パラチフス
H26 年	全県	285	0	0	0	0	0	0	8	3	1	273
	市	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
H27 年	全県	250	0	0	0	0	0	1	14	2	1	222
	市	10	0	0	0	0	0	0	1	1	2	6
H28 年	全県	283	0	0	0	0	0	2	8	3	0	270
	市	18	0	0	0	0	0	0	0	1	0	17
H29 年	全県	289	0	0	0	0	0	0	17	3	2	267
	市	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
H30 年	全県	317	0	0	0	0	0	0	15	2	0	300
	市	10	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8

平成 30 年に相模原市保健所への四類感染症の届出については、E 型肝炎 2 件、A 型肝炎 6 件、デング熱 1 件、つつがむし病 2 件、レジオネラ症 6 件の合計 17 件でした。

五類感染症(全数把握対象)は、アメーバ赤痢 8 件、ウイルス性肝炎 2 件、カルバペネム耐性腸内細菌感染症 18 件、急性弛緩性麻痺 1 件、急性脳炎 4 件、クロイツフェルト・ヤコブ病 7 件、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5 件、後天性免疫不全症候群 7 件、侵襲性インフルエンザ菌感染症 4 件、侵襲性肺炎球菌感染症 11 件、梅毒 21 件、百日咳 34 件、風しん 23 件、水痘(入院例) 2 件の合計 147 件でした。

(2) 感染症診査協議会(感染症診査部会)

感染症診査協議会では、感染症患者に対する入院勧告及び入院期間の延長、就業制限に関する必要事項を審議します。

開催回数 1 回

(3) 感染症患者等保健指導

本人・家族・社会福祉施設等から正確な情報収集を行い、感染症の予防やまん延防止に努めました。

指導内訳(延人数)			
訪問(調査)	電話	面接	文書
58 人	837 人	28 人	882 人

(4) 学校等におけるインフルエンザによる学級閉鎖等状況

(平成 30 年 9 月 3 日～令和元年 5 月 19 日累計)

施設	保育園・幼稚園	小学校	中学校	その他の学校	計
施設閉鎖数	0	1	0	0	1
学年閉鎖数	0	23	1	0	24
学級閉鎖数	12	351	65	4	432

・県の「インフルエンザ防疫対策実施要領」に基づき、平成 30 年 12 月 10 日に、市内におけるインフルエンザ事例の初発校において調査を実施しました。

調査結果：小学生児童 2 名のうがい液を採取し検査を実施した結果、2 名からインフルエンザウイルス A 型(H3)の遺伝子を検出しました。

(5) 感染症予防啓発事業

感染症の予防やまん延防止等を目的として、感染症に関する正しい知識の普及啓発を行いました。

- ・健康教育：9 回(集団感染発生時の感染症対策等) 参加者 245 人
- ・感染症対策のポイントを市内全介護事業所に説明：全 6 回、延参加者 610 人
- ・インフルエンザ予防啓発ポスターを配布：1,944 箇所(市内事業所、高齢者施設、保育園、幼稚園、小学校、中学校等)
- ・広報さがみはらに記事を掲載

(6) 感染症発生動向調査事業

感染症の発生予測及び予防対策の効果的な実施を図るため、感染症の発生の状況、動向及び原因の調査を行い、関係機関に情報の提供を行いました。

- ・全数把握対象疾患：一～四類感染症全て及び新型インフルエンザ等感染症と五類感染症のうち 24 疾患の計 88 疾患
- ・定点把握対象疾患（指定医療機関からの届出）：五類感染症のうち 25 疾患
患者定点：33 医療機関、病原体定点：7 医療機関

3 性感染症予防対策事業

人権や社会的背景に配慮しつつ、H I V 感染症（エイズ）等の性感染症の拡大の抑制と患者が安心して療養生活を送れる環境づくりのために、正しい知識の普及啓発、相談・検査体制及び患者等の支援の充実、性感染症対策を推進するための体制整備に努めました。

(1) H I V（エイズ）相談・検査

患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、火曜日、月 2 回土曜日（無料、匿名）の H I V（エイズ）相談・抗体検査を実施しました。

ア H I V（エイズ）相談・検査実施状況 (単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談	1,019	872	907	919	1,035
検査	509	473	497	491	542

イ H I V（エイズ）検査(性・年齢別)実施状況(平成 30 年度) (単位：人)

	計	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	365	12	123	87	79	34	30
女	177	8	97	43	20	6	3
計	542	20	220	130	99	40	33

(2) 性感染症相談・検査

患者・感染者及びその家族や感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、火曜日、月 2 回土曜日（無料、匿名、H I V（エイズ）検査と同時実施）の性感染症相談・抗体検査を実施しました。

ア クラミジア相談・検査実施状況 (単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談	865	763	839	857	886
検査	436	393	443	448	468

イ クラミジア検査(性・年齢別)実施状況(平成 30 年度)

(単位：人)

	計	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	308	11	100	71	69	29	28
女	160	8	86	40	17	6	3
計	468	19	186	111	86	35	31

ウ 梅毒相談・検査実施状況

(単位：人)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
相談	885	785	836	853	937
検査	445	415	445	454	496

エ 梅毒検査(性・年齢別)実施状況(平成 30 年度)

(単位：人)

	計	0～19 歳	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上
男	334	11	113	78	73	31	28
女	162	8	88	40	17	6	3
計	496	19	201	118	90	37	31

(3) HIV(エイズ) 予防啓発事業

HIV(エイズ)および性感染症は、正しい知識を持つことや、適切な性行動の選択ができることが予防につながります。そこで、性に関する意思決定や行動選択に係る能力が形成過程にある青少年に対し、市内の中学校や高等学校で講演会を実施しました。

また、世界エイズデーにあわせて、ハイリスク層を対象とした相談・検査を実施しました。

ア 「世界エイズデー」に伴う予防啓発キャンペーン

実施日 平成 30 年 12 月 2 日(日)

会 場 ユニコムプラザさがみはら

内 容 ハイリスク層を対象とした相談・検査

HIV(エイズ)・梅毒・B型肝炎の即日検査

イ 性感染症予防講演会の開催

対 象	回 数	人 数
中学生	18 回	2,232 人
高校生	10 回	2,378 人

(4) HIV(エイズ) 対策の推進に向けた体制整備

市民のニーズに応じたHIV(エイズ)対策を総合的かつ効果的に実施するために、マンパワーの充実とともに、保健医療、福祉、教育、NPO、市民等の協力連携の推進に努めました。

(5) エイズ対策特別促進事業

HIV感染者の増加及び高齢化等に伴い、長期療養・在宅療養を積極的に支える体制整備の推進が必要とされているなか、地域の福祉施設や医療機関の受け入れ体制の向上をはかることを目的とし、市内の高齢者福祉施設等を対象に研修会を実施しました。

実施日 平成 31 年 2 月 19 日 (火)
会場 けやき会館 大研修室
テーマ 「HIV患者を地域で支えるために」
講師 国立研究開発法人
国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
看護支援調整職 池田和子 氏
事例提供
北里大学病院 内科専門外来 加藤 笑 氏
北里大学病院 トータルサポートセンター 本田 伊織 氏
参加者数 35 人

4 肝炎対策事業

B型・C型肝炎ウイルス感染に不安を持つ者に対して電話や面接での随時相談に加え、無料でB型・C型肝炎ウイルス検査を実施しました。

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
検査件数	168	136	74	86	102

平成 20 年 1 月から実施

5 予防接種事業

(1) 定期予防接種

感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を防止するため、予防接種法に基づき、定期の予防接種(ジフテリア、破傷風、百日せき、ポリオ(急性灰白髄炎)、麻しん、風しん、日本脳炎、BCG、ヒトパピローマウイルス感染症(子宮頸がん)、Hib感染症、小児の肺炎球菌感染症、水痘、B型肝炎及び高齢者インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌感染症)を実施しました。

ア 乳幼児等予防接種

乳幼児、小中学生等を対象に、協力医療機関(148箇所)で予防接種を実施しました。また、協力医療機関以外のかかりつけ医療機関等での予防接種に対して助成金制度を実施しました。

区分	26年度			27年度			28年度			29年度			30年度		
	計画数	延接種者数	()	計画数	延接種者数	()	計画数	延接種者数	()	計画数	延接種者数	()	計画数	延接種者数	()
計	138,242	130,557	(89)	122,832	121,148	(140)	128,644	127,281	(237)	129,932	129,637	(208)	123,947	129,481	(276)
四種混合	21,530	21,402	(16)	20,682	21,975	(34)	21,758	21,700	(54)	20,872	20,590	(38)	19,733	20,513	(51)
三種混合	3,590	2,092	(2)	400	66		75	3		16	0		0	0	
二種1期	13	1		10	0		0	4		0	0		0	0	
混合2期	5,130	3,910		3,540	3,550	(2)	3,509	3,882		3,528	3,803		3,981	4,387	
麻し1期	5,510	5,680	(1)	5,660	5,610	(3)	5,400	5,504	(4)	5,239	5,139	(2)	4,773	5,189	(4)
ん風2期	5,550	5,749	(2)	5,810	5,660		5,267	5,565		5,125	5,375	(1)	5,557	5,427	(1)
しん3期															
混合4期															
麻しん	23	1		5	1		0	1		0	0		0	1	
ん風しん	43	1		5	1		0	0		0	0		0	2	
日本1期	10,790	20,246	(5)	11,800	17,620	(1)	13,707	17,430	(6)	13,768	17,467	(3)	13,841	17,766	(9)
脳炎2期	11,651	3,953		9,540	4,235		8,033	5,564	(1)	7,949	5,774		8,981	5,879	
BCG	4,970	5,610	(3)	4,880	5,490	(5)	5,400	5,340	(9)	5,234	5,025	(8)	4,773	5,073	(7)
不活化ポリオ	4,540	5,400	(5)	2,710	1,286		591	707	(3)	779	426		566	154	
子宮頸がん予防	270	46		60	24		26	12		22	14		9	41	
ヒブ	22,351	22,698	(27)	21,120	22,009	(45)	20,949	21,253	(62)	20,583	20,309	(54)	19,264	20,091	(69)
小児用肺炎球菌	22,351	22,461	(26)	21,210	21,974	(45)	20,894	21,340	(60)	20,693	20,372	(54)	19,290	20,186	(69)
水痘	19,930	11,307	(2)	15,400	11,647	(5)	12,703	10,649	(5)	10,423	9,930	(4)	9,427	9,934	(12)
B型肝炎							10,332	8,327	(33)	15,701	15,413	(44)	13,752	14,838	(54)

* 延接種者数の()は、助成金制度の実施者数(内数)
* 延べ接種者数には、区域外接種者を含む

イ 高齢者予防接種

・インフルエンザ予防接種

高齢者を対象に、協力医療機関等(323箇所)で高齢者インフルエンザ予防接種を実施しました。

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65歳以上の方	169,183	69,255	174,388	72,031	178,634	70,866	181,494	73,994
60歳以上65歳未満の心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に高度の障害を有する方	身体障害者 手帳1級 交付者数 370	183	身体障害者 手帳1級 交付者数 338	169	身体障害者 手帳1級 交付者数 310	157	身体障害者 手帳1級 交付者数 307	146
合計	169,553	69,438	174,726	72,200	178,944	71,023	181,801	74,140

* 65歳以上の対象者数は各年度の1月1日現在の住民基本台帳人口

・肺炎球菌感染症予防接種

高齢者を対象に、協力医療機関等（277 箇所）で高齢者の肺炎球菌感染症予防接種を実施しました。

区分	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
65,70,75,80, 85,90,95,100 歳の方*	36,675	12,467	39,577	14,095	41,875	14,927	41,555	12,946
60 歳以上 65 歳未満 の心臓、じん臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に高度の障害を有する方	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 370	1	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 338	1	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 310	6	身体障害者 手帳 1 級 交付者数 307	0
合計	37,045	12,468	39,915	14,096	42,185	14,933	41,862	12,946

* 65 歳以上の対象者数は年度の 4 月 1 日現在の住民基本台帳人口。26 年度のみ 101 歳以上を含む。接種履歴は勘案していない。

(2) 任意予防接種

予防接種法に基づかない任意の予防接種について、次のとおり接種費用等の助成を行いました。

ア 風しん予防接種促進事業

先天性風しん症候群の発生防止を目的として、風しん抗体検査費用の助成及び予防接種費用の一部助成を行いました。

区 分		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
		対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数	対象者数	接種者数
妊娠を予定、 希望する女性	抗体検査	266	341	260	331	248	310	1,251	1,660
	予防接種	139	144	130	131	135	125	636	610

* 対象者数は、予算積算で使用したもの。

* 平成 30 年 11 月より対象者を拡大し、「妊娠を予定、希望する女性の配偶者、妊婦の配偶者」も対象としました。

第 1 0 章

難病対策事業

1 難病対策事業

平成 27 年 1 月に、難病の患者に対する医療等に関する法律が施行され、同法第 40 条大都市特例の規定により、平成 30 年 4 月 1 日より神奈川県から事務移譲がされ、特定医療費の支給認定等の実施、ならびに療養生活支援のための事業を実施しました。

なお、特定疾患治療研究事業として 3 疾患(スモン・難治性肝炎のうち劇症肝炎・重症急性肝炎)に対する医療費助成については、神奈川県により引き続き行われています。ただし、難治性肝炎のうち劇症肝炎及び重症急性肝炎については、新規の申請は認められていません。

(1) 難病患者医療費給付事業

各保健センターを窓口として、特定医療費(指定難病)支給認定申請等の受付を行い、医療受給者証の交付等を行いました。

ア 特定医療費(指定難病)医療受給者証等交付事務(単位:件)

新規申請	更新申請	*その他申請	合計
821	4,552	2,384	7,757

*その他の申請(変更届、変更申請、医療給付申請、返納届等)

イ 年度別特定医療費(指定難病)医療受給者証等交付数 平成 26・27 年度は翌年 4 月末計 平成 28・29・30 年度は年度末計

告示 番号	疾患名	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
1	球脊髄性筋萎縮症	9	7	8	8	13
2	筋萎縮性側索硬化症	39	34	41	36	42
3	脊髄性筋萎縮症	1	2	3	0	1
4	原発性側索硬化症		1	1	1	1
5	進行性核上性麻痺	32	42	46	50	57
6	パーキンソン病	611	635	663	633	678
7	大脳皮質基底核変性症	15	15	19	20	20
8	ハンチントン病	10	10	9	9	10
10	シャルコー・マリー・トゥース病			1	1	2
11	重症筋無力症	148	157	163	164	170
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	99	99	103	94	106
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多 巣性運動ニューロパチー	16	18	19	13	12
15	封入体筋炎		1	1	1	2
16	クドウ・深瀬症候群	1	2	1	1	1
17	多系統萎縮症	75	69	71	66	65
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を 除く。)	103	102	104	93	104
19	ライソゾーム病	8	9	7	10	11
21	ミトコンドリア病	10	10	10	8	7
22	もやもや病	86	94	99	69	71
23	プリオン病	3	3	2	0	3

25	進行性多巣性白質脳症			1	0	0
28	全身性アミロイドーシス	8	7	8	7	7
30	遠位型ミオパチー		1	1	2	2
34	神経線維腫症	21	26	26	20	24
35	天疱瘡	42	44	42	23	23
36	表皮水疱症	2	1	1	2	2
37	膿疱性乾癬（汎発型）	9	9	9	7	4
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	0	1	1	1
39	中毒性表皮壊死症	0	0	1	0	0
40	高安動脈炎	24	24	22	13	14
41	巨細胞性動脈炎		2	4	2	3
42	結節性多発動脈炎	31	27	25	20	20
43	顕微鏡的多発血管炎	38	51	52	45	48
44	多発血管炎性肉芽腫症	14	15	20	14	20
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	2	17	21	22	27
46	悪性関節リウマチ	52	58	56	44	42
47	パージャール病	25	25	26	17	17
48	原発性抗リン脂質抗体症候群		2	3	4	5
49	全身性エリテマトーデス	383	392	391	361	379
50	皮膚筋炎 / 多発性筋炎	143	133	134	127	133
51	全身性強皮症	149	162	166	139	138
52	混合性結合組織病	74	76	80	75	81
53	シェーグレン症候群	1	8	13	17	25
54	成人スチル病	3	10	10	12	16
55	再発性多発軟骨炎	3	4	6	4	5
56	パーチェット病	115	121	119	100	102
57	特発性拡張型心筋症	149	160	161	114	125
58	肥大型心筋症	12	15	18	16	17
59	拘束型心筋症	0	0	2	2	2
60	再生不良性貧血	56	60	61	43	48
61	自己免疫性溶血性貧血		1	1	1	1
62	発作性夜間へモグロビン尿症	1	2	3	2	6
63	特発性血小板減少性紫斑病	131	134	139	85	98
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0	0	0	0	1
65	原発性免疫不全症候群	3	2	3	4	5
66	IgA 腎症	6	32	30	30	37
67	多発性嚢胞腎	3	19	27	28	39
68	黄色靭帯骨化症	16	15	20	17	19
69	後縦靭帯骨化症	135	154	149	114	121
70	広範脊柱管狭窄症	22	27	27	28	29
71	特発性大腿骨頭壊死症	79	85	107	74	101
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	7	16	16	16	21
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	0	0	1	0	0
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	8	11	10	6	5
75	クッシング病	5	6	7	7	7
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	2	0	0	0	0

77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15	22	23	21	27
78	下垂体前葉機能低下症	72	72	83	78	84
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1	1	2	1	1
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	/	3	4	4	5
82	先天性副腎低形成症	0	0	0	0	1
84	サルコイドーシス	90	82	84	56	65
85	特発性間質性肺炎	53	49	49	53	80
86	肺動脈性肺高血圧症	19	20	18	20	21
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	11	12	14	18	24
89	リンパ脈管筋腫症	3	4	4	4	6
90	網膜色素変性症	207	197	193	187	189
91	バッド・キアリ症候群	1	1	1	1	1
92	特発性門脈圧亢進症	/	1	4	4	6
93	原発性胆汁性胆管炎	131	135	133	91	90
94	原発性硬化性胆管炎	/	2	4	3	4
95	自己免疫性肝炎	1	11	12	10	17
96	クローン病	182	196	204	193	216
97	潰瘍性大腸炎	972	982	956	648	712
98	好酸球性消化管疾患	/	/	/	2	3
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1	2	2	2	2
107	若年性特発性関節炎	1	1	1	2	3
111	先天性ミオパチー	/	/	1	1	2
113	筋ジストロフィー	/	1	10	8	14
117	脊髄空洞症	/	/	3	0	2
119	アイザックス症候群	/	1	1	1	1
120	遺伝性ジストニア	/	2	2	2	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	/	/	2	2	4
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う 遺伝性びまん性白質脳症	/	0	0	0	1
127	前頭側頭葉変性症	/	2	3	3	4
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	/	/	1	0	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	/	/	1	1	1
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	/	1	1	1	1
144	レノックス・ガストー症候群	/	/	1	1	1
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	/	0	0	0	1
158	結節性硬化症	/	/	1	1	1
161	家族性良性慢性天疱瘡	/	/	/	1	0
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	/	10	13	10	14
163	特発性後天性全身性無汗症	/	/	1	0	0
164	眼皮膚白皮症	/	/	0	1	0
166	弾性線維性仮性黄色腫	/	0	0	0	1
167	マルファン症候群	/	3	4	4	5
171	ウィルソン病	/	4	2	2	2
191	ウェルナー症候群	/	1	1	1	1
193	ブラダー・ウィリ症候群	/	1	1	1	1
195	ヌーナン症候群	/	/	/	1	0

201	アンジェルマン症候群			1	1	1
208	修正大血管転位症		0	0	0	1
209	完全大血管転位症				1	2
210	単心室症			1	2	2
212	三尖弁閉鎖症		2	1	2	2
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症		1	1	1	1
215	ファロー四徴症		2	3	6	6
216	両大血管右室起始症		0	0	0	1
217	エプスタイン病				1	1
220	急速進行性糸球体腎炎			1	0	0
221	抗糸球体基底膜腎炎		0	0	0	1
222	一次性ネフローゼ症候群		7	21	37	46
224	紫斑病性腎炎			2	2	2
225	先天性腎性尿崩症		1	1	1	1
227	オスラー病			1	0	2
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）		1	1	1	1
236	偽性副甲状腺機能低下症			1	1	1
251	尿素サイクル異常症		0	0	0	1
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症		1	1	1	1
266	家族性地中海熱				1	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群		1	1	0	0
271	強直性脊椎炎		1	5	12	10
272	進行性骨化性線維異形成症			1	1	1
276	軟骨無形成症		0	0	0	1
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）		0	0	0	1
283	後天性赤芽球癆			2	2	2
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症				1	1
293	総排泄腔遺残		1	1	1	1
296	胆道閉鎖症		0	0	0	1
297	アラジール症候群		1	1	1	1
300	I g G 4 関連疾患		3	5	8	15
301	黄斑ジストロフィー		1	1	0	0
306	好酸球性副鼻腔炎			4	7	9
316	カルニチン回路異常症				1	1
319	セプアプテリン還元酵素（SR）欠損症				0	1
331	特発性多中心性キャスルマン病					4
合 計		4,800	5,106	5,288	4,474	4,932

（ 2 ） 指定医及び指定医療機関の指定の状況

（ 3 月末現在）

年度	指定医			指定医療機関			
	計	難病指定医	協力難病指定医	計	病院・診療所	薬局	訪問看護事業所
H30	767	749	18	567	229	290	48

(3) 難病患者地域支援対策推進事業

難病患者及び家族の療養上の不安解消を図るとともに、きめ細やかな支援が必要な患者に対し、医療機関や関係機関との連携の下に在宅療養生活を支援しました。

ア 相模原市難病対策地域協議会

関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた難病患者への支援体制の整備を図るため会議を開催しました。

実施日	平成30年度の内容	出席者数
平成31年2月4日(月)	相模原市難病対策地域協議会の設置、難病相談支援センター、平成30年度難病関連事業等について	11

イ 医療相談事業

難病患者及びその家族等に対し、専門医等により療養上の不安の解消を図るとともに、最新の治療に関する情報提供を行い、療養生活を支援しました。

(ア) 講演会・医療相談会

実施日	内容	講師	講演会参加人数			医療相談会参加人数*2
			患者・家族	その他*1	計	
平成30年 8月9日(木)	特発性拡張型 心筋症	慶應義塾大学病院 医師 佐野 元昭氏	20	3	23	12
平成30年 8月31日(金)	混合性結合組 織病	日本医科大学付属病院 医師 桑名 正隆氏	19	5	24	15
平成30年 10月26日(金)	パーキンソン 病	(独)国立病院機構相模原病院 医師 長谷川 一子氏	61	8	69	12
平成30年 10月29日(月)	パーキンソン 病～リハビリ テーションに ついて～	(独)国立病院機構村山医療 センター 理学療法士 堀川 拓海氏	48	6	54	17
平成30年 12月19日(水)	ベーチェット 病	北里大学医学部 医師 廣畑 俊成氏	26	4	30	12
平成31年 1月10日(木)	多発性硬化症	国立精神・神経医療研究センター 医師 山村 隆氏	33	5	38	12

開催場所：ウェルネスさがみはら

*1 ケアマネージャー・訪問看護師・ホームヘルパー等

*2 講演会と同時に実施した相談会での相談者数

ウ 訪問相談・指導事業

難病患者及び家族等の精神的負担の軽減、また、患者・家族のQOLの向上を図るため、保健師等が訪問指導等により、支援を行いました。

(ア)訪問相談事業

	延人数			実人数		
	男	女	計	男	女	計
計	148	111	259	80	84	164

(イ) その他

難病に関する個別の相談に対し、保健師が電話や面接で随時相談を行いました。

	延人数			実人数		
	男	女	計	男	女	計
面接	1,744	2,089	3,833	1,586	1,983	3,569
電話	534	467	1,001	221	245	466
文書	47	46	93	42	40	82

(ウ) 患者と家族の会

難病患者及び家族がレクリエーション等を通して相互の親睦を図ることにより、安心して療養生活を送れるよう支援しました。

a あじさいの会（難病患者及び家族とボランティアが自主運営）

開催回数	延人数			内容
	計	患者・家族	ボランティア等	
8	117	100	17	定期総会・文集作成・調理実習 戸外活動・懇談会等

開催場所：ウェルネスさがみはら 等

b さくら会

開催回数	延人数			内容
	計	患者・家族	ボランティア等	
7	53	46	7	調理実習・戸外活動等

開催場所：南保健福祉センター 等

(エ) 支援検討会議の実施

難病患者の支援方針について、ケース会議を実施することにより、職員の資質の向上と、より良い療養支援計画、評価につながるよう努めました。

検討件数延べ 558 件（会議回数 22 回/年）

支援検討会議の内訳			
初回支援	支援困難	Sランク	災害ランクⅠ・Ⅱ
397 件	2 件	38 件	121 件

難病患者の支援方法の評価や見直しを行うため、年 1 回外部有識者を交えた支援検討会議を行い、難病患者支援体制の推進を図りました。

実施日：平成 31 年 3 月 8 日（金）

(4) 療養生活環境整備事業

ア 難病患者一時入院事業

家族等介護者の休息や疾病等でその介護を受けることが困難と認められる場合、患者が一時的に病院に入院することによって、患者の安定した療養生活の確保とその介護者の福祉の向上を図ることを目的として実施しました。(平成22年度から実施)

延べ 144日(実利用者6人)

イ ホームヘルパー養成研修の実施

難病患者等の多様化するニーズに対応した適切なホームヘルプサービスを提供するために必要な知識、技能を有するホームヘルパーの養成を図るため実施しました。(平成22年度から実施)

基礎課程	開催回数	1回	16人
基礎課程	開催回数	1回	21人(修了者) 二日間コース
			延べ参加 37人

第 1 1 章

原子爆弾被爆者援護事業

1 原子爆弾被爆者援護事業

被爆者に対する保健・医療・福祉にわたる総合的な援護対策を実施しました。

(1) 被爆者健康手帳等交付状況

実施主体は神奈川県であり、本市は進達業務を行いました。

(平成 31 年 3 月 31 日現在)

区 分	交付者数
被爆者健康手帳	246
第一種健康診断受診者証	1
第二種健康診断受診者証	7
被爆者のこども健康診断受診証	434
計	688

(2) 療養費・医療費助成事業

平成 22 年度政令指定都市移行により、市単独事業の実施を開始しました。

ア 原子爆弾被爆者はり・きゅう・マッサージ療養費助成事業

原子爆弾被爆者に対し、健康を保持するとともに福祉の増進を図ることを目的に、はり・きゅう・マッサージ療養費の一部を助成しました。

イ 原子爆弾被爆者の子に対する医療費助成事業

原子爆弾被爆者の実子に対し、健康の保持及び向上を図ることを目的に、医療費を助成しました。

(平成 30 年度実績)

事業名	件数
原子爆弾被爆者はり・きゅう・マッサージ療養費助成事業	28
原子爆弾被爆者の子に対する医療費助成事業	83

第 1 2 章

食品衛生事業

1 食品等営業施設の衛生確保対策

調理業・製造業・販売業等の施設の監視指導、表示の点検を行い、食品等の苦情に対して調査、指導を行いました。また、食中毒の発生時は原因究明と再発防止のため調査、検査を行いました。

(1) 営業施設の許可等事務及び監視指導状況

ア 許可営業施設

	施設数	許可件数		廃業 件数	監視指導 件数	
		更新	新規			
食	飲食店営業	5,085	458	517	649	2,359
	菓子製造業	437	41	66	76	377
	乳処理業	0	0	0	0	0
	特別牛乳搾取処理業	0	0	0	0	0
	乳製品製造業	3	1	0	0	5
	集乳業	0	0	0	0	0
	魚介類販売業	591	68	66	67	455
	魚介類せり売営業	0	0	0	0	0
	魚肉ねり製品製造業	3	2	0	0	4
	食品の冷凍又は冷蔵業	5	0	0	1	2
	缶詰又は瓶詰食品製造業	4	0	1	0	3
	品	喫茶店営業	671	96	57	94
あん類製造業		2	0	0	0	3
アイスクリーム類製造業		3	0	1	0	4
乳類販売業		1,013	155	77	111	584
衛	食肉処理業	28	1	0	1	49
	食肉販売業	629	67	85	77	463
	食肉製品製造業	4	1	0	0	3
	乳酸菌飲料製造業	0	0	0	0	0
	食用油脂製造業	5	1	1	0	8
	マーガリン又はショートニング製造業	0	0	0	0	0
生	みそ製造業	9	0	1	0	1
	醤油製造業	1	0	0	0	1
	ソース類製造業	7	0	0	0	9
	酒類製造業	5	0	0	0	5
法	豆腐製造業	21	4	0	4	27
	納豆製造業	0	0	0	0	0
	めん類製造業	29	4	2	1	34
	そうざい製造業	49	5	4	2	58
	添加物製造業	6	2	0	1	6
	食品の放射線照射業	0	0	0	0	0
	清涼飲料水製造業	4	0	0	0	4
	氷雪製造業	0	0	0	0	0
氷雪販売業	3	1	0	0	2	
小計	8,617	907	878	1,084	4,717	

条 例	魚介類行商	3	0	0	0	0
	魚介類加工業	14	1	0	0	33
	発酵乳等販売業	32	4	3	6	8
	小 計	49	5	3	6	41
合 計		8,666	912	881	1,090	4,758

イ 報告営業施設（施設数は延べ数を計上）

		施設数	監視指導件数
給 食 施 設	学 校	62	32
	病 院・診療所	22	10
	事業所	24	15
	その他	198	96
	小 計	306	153
報 告 営 業	乳搾取業	34	0
	食品製造業	272	169
	野菜果物販売業	1,057	426
	そうざい販売業	950	415
	菓子販売業	1,902	724
	食品販売業	2,305	2,292
	食品添加物の製造業	9	2
	食品添加物販売業	237	152
	冰雪採取業	0	0
	器具・容器包装・おもちゃの製造業・ 販売業	884	487
小 計	7,650	4,667	
合 計		7,956	4,820

ウ ふぐ営業施設（再掲）

	施設数	新規件数	廃業件数	監視指導件数
ふぐ営業認証	54	1	3	26
ふぐ加工製品取扱等届	143	18	6	513
計	197	19	9	539

エ 食品等輸入事務所（一部再掲）

	施設数	新規件数	廃業件数	監視指導件数
食品等輸入事務所	30	1	1	18
計	30	1	1	18

(2) 食中毒発生状況

ア 食中毒発生状況

発生日	原因施設	摂食者数	患者数	死亡者数	原因食品	病因物質
5月21日(月)	魚介類販売業 (魚介類販売)	1	1	0	H30.5.20 に販売された生食用鮮魚介類(アジ)	アニサキス
11月3日(土)	飲食店営業 (一般食堂)	6	5	0	H30.11.2 及び H30.11.3 に調理・提供された食事	ノロウイルス
12月14日(金)	飲食店営業 (一般食堂)	10	7	0	H30.12.12 に調理・提供された食事	ノロウイルス
2月25日(月)	飲食店営業 (レストラン)	11	8	0	H31.2.23 に調理・提供された食事	ノロウイルス
3月9日(土)	飲食店営業 (レストラン)	27	22	0	H31.3.7 に調理・提供された食事	サポウイルス
計5件	-	55	43	0	-	-

イ 食中毒関連調査(他自治体からの調査依頼件数)

	東京都	神奈川県	横浜市	その他	計	前年度比較
件数	11	5	3	15	34	11
対象者数	14	4	1	54	73	10
発症者数	10	3	1	16	30	16

(3) 食品衛生に関する苦情の状況

苦情処理状況

(件数)

対象	内容	異物混入	かび	腐敗・変敗	異味・異臭	不衛生な取扱い	容器・包装	添加物	体調不良	喫食後に	その他	計
食品に関するもの	乳・乳製品・乳類加工品 (直接飲用に供するもの)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
	乳・乳製品・乳類加工品 (上記以外のもの)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	魚介類及びその加工品	2	0	1	1	1	0	0	14	0	0	19
	肉・卵類及びその加工品	13	0	2	1	2	0	0	12	4	0	34
	穀類及びその加工品	16	0	0	1	0	0	0	4	4	0	25
	豆類及びその加工品	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	野菜類及びその加工品	13	0	3	1	2	0	0	2	2	0	23
	菓子類	5	2	0	2	1	0	0	1	2	0	13
	複合調理食品	20	0	0	1	6	0	0	26	3	0	56
	その他	3	0	0	1	4	0	1	3	3	0	15
	不明	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
小計		74	2	6	8	18	0	1	64	18	191	
施設に関するもの		-	-	-	1	20	-	-	-	4	25	
合計		74	2	6	9	38	0	1	64	22	216	

2 食品等の衛生確保対策

食品の安全性を確保するため食品等の検査を実施し、違反食品、不良食品等の排除に努めました。

検査実施状況

食品等の分類		検体数	理化学検査	微生物検査	違反件数
収 去 に 関 す る も の	魚介類	23	2	21	0
	冷凍食品（無加熱摂取）	19	9	10	0
	冷凍食品（凍結直前加熱加熱後摂取）	7	0	7	0
	冷凍食品（凍結直前未加熱加熱後摂取）	28	6	22	0
	冷凍食品（生食用冷凍鮮魚介類）	0	0	0	0
	魚介類加工品（缶詰、瓶詰を除く）	13	13	5	0
	肉卵類及びその加工品（缶詰、瓶詰を除く）	16	16	5	0
	乳及び乳製品	0	0	0	0
	乳類加工品（アイスクリームを除き、マーガリンを含む）	0	0	0	0
	アイスクリーム類・氷菓	10	10	10	0
	穀類及びその加工品（缶詰、瓶詰を除く）	25	19	25	0
	野菜類・果実及びその加工品（缶詰、瓶詰を除く）	102	56	57	0
	菓子類	88	41	47	0
	清涼飲料水	8	8	8	0
	酒精飲料	20	20	0	0
	氷雪	0	0	0	0
	水	5	5	5	0
	缶詰、瓶詰食品	8	8	0	0
	その他の食品	134	4	130	0
	添加物及びその製品	2	2	0	0
器具類及び容器包装	3	3	0	0	
おもちゃ	0	0	0	0	
小 計		511	222	352	0
放射性物質		20	20	0	0
合 計		531	242	352	0

3 食品衛生啓発対策

(1) 消費者や食品等事業者を対象とした食品衛生講習会

食品等事業者、食品衛生責任者及び消費者を対象として、食中毒予防等に関する講習会を実施し、注意を喚起しました。

講習会実施状況

	回数*	受講者数*	内 容
食品等事業者	71(13)	4,235(603)	食中毒予防、食品等事故の防止などについて
消費者	20(3)	959(358)	市民、学生等を対象に食中毒予防などについて
計	91(10)	5,194(245)	-

* () 前年度比較

(2) 相模原市食の安全・安心懇話会

本市における食の安全・安心に係るリスクコミュニケーション*を推進するため、情報提供を行うとともに、意見交換を実施しました。

ア 構成

消費者団体、食品等事業者、学識経験者、公募市民

イ 開催日

平成 30 年 7 月 3 日(火)、平成 30 年 12 月 3 日(月)

*【リスクコミュニケーション】異なる立場の者が情報及び意見を交換し、相互理解を図ること。

(3) 食中毒予防キャンペーン

食中毒の発生しやすい 8 月及び 11 月に相模原食品衛生協会と協同で食中毒予防キャンペーンを実施し、食中毒予防について正しい知識の啓発と情報提供に努めました。

食中毒予防キャンペーン開催状況

名称	内 容	実施日	実施場所
食中毒予防キャンペーン	リーフレット等の配布、のぼり旗の掲揚、食中毒クイズ・アンケートの実施、広報車による巡回広報	8 月 2・3 日	市内大型商業施設等
ノロウイルス食中毒予防キャンペーン	リーフレット等の配布	11 月 8 日	

4 免許事務

調理師等の免許について、神奈川県への経由事務を行いました。

免許申請等取扱い件数

	調 理 師	製菓衛生師	ふぐ包丁師
免許申請	145	26	0
名簿訂正・免許証書換え申請	22	1	0
免許証再交付申請	29	0	0
名簿削除申請	2	0	0
計	198	27	0

第 1 3 章

環境衛生・動物愛護事業

1 環境衛生営業施設等指導事業

理容所、美容所等環境衛生営業6業種について施設等の衛生管理の徹底を図り、自主管理を促進するため、監視指導を実施しました。

また、スポーツクラブ等のプールや夏季に一般開放されている学校プール施設について危険防止及び管理運営の徹底を図るため、監視指導を実施し、利用者の健康と安全の確保に努めました。

(1) 営業施設数及び監視指導状況

業 種 \ 項 目	施設数	許可(確認)件数	廃止件数	監視指導件数
理 容 所	494	13	10	134
美 容 所	946	62	31	298
クリーニング所*	368(233)	4(3)	26(11)	118(71)
旅 館	118	8	4	81
興 行 場	10	0	0	5
公 衆 浴 場	49	1	5	60
計	1,985	88	76	696

* ()うち取次店

(2) プール施設数及び監視指導状況

種 別 \ 項 目	施設数	監視指導件数
学 校	68	22
そ の 他	21	18

(3) 衛生講習会開催状況

対象者 \ 項 目	開催回数	受講者数	内 容
理容所開設者	1	102	理容師法の運用と衛生管理について*
美容所開設者	1	105	美容師法の運用と衛生管理について*
公衆浴場、旅館、 プール営業者	2	53	平成29年度の公衆浴場、旅館の浴槽水及びプールの採暖槽水の行政検査結果について 循環式ろ過装置を使用した浴槽等における施設の維持管理について

* 講師派遣

(4) 浴槽水等水質検査実施状況

検査施設数	検査検体数	検査結果	
		適	不適
35	135	112	23

(5) 免許事務

クリーニング師の免許について、神奈川県への経由事務を行いました。

クリーニング師免許申請等取扱件数

免許申請	訂正	再交付	返納	計
1	0	0	0	1

2 生活環境施設等指導事業

多数の人が利用する特定建築物について、衛生的な環境の確保を図るため、監視指導を実施しました。

専用水道等の水道施設について、適正な維持管理の徹底を指導し、温泉施設については、温泉を適正利用すること及び温泉の採取に伴い発生する可燃性ガスによる災害防止等指導しました。

また、衣料品等の家庭用品に起因する健康被害の発生を未然に防止するため、家庭用品の試買検査を実施しました。

さらに、化学物質等による室内環境変化に伴う健康影響（シックハウス症候群）についても、市民への啓発を行うとともに、個別相談に応じ、助言や情報提供を行いました。

(1) 特定建築物施設数及び監視指導状況

用途別	項目	施設数	監視指導件数
興行場		6	1
百貨店		1	1
店舗		66	9
事務所		50	3
学校		36	19
旅館		12	6
その他		12	0
計		183	39

(2) 建築物衛生管理業登録営業所数及び監視指導状況

種 別 \ 項 目	登録営業所数	監視指導件数
建 築 物 清 掃 業	26	7
建 築 物 空 気 環 境 測 定 業	3	3
建 築 物 空 気 調 和 用 ダクト 清 掃 業	0	0
建 築 物 飲 料 水 水 質 検 査 業	0	0
建 築 物 飲 料 水 貯 水 槽 清 掃 業	51	21
建 築 物 排 水 管 清 掃 業	4	2
建 築 物 ね ず み 昆 虫 等 防 除 業	13	7
建 築 物 環 境 衛 生 総 合 管 理 業	11	6
計	108	46

(3) 水道施設数及び監視指導状況

種 別 \ 項 目	施設数	監視指導件数
専 用 水 道	44	25
簡 易 専 用 水 道	1,121	6

(4) 小規模水道等施設数及び監視指導状況

種 別 \ 項 目	施設数	監視指導件数
小 規 模 水 道	36	28
小規模受水槽水道	1,121	1

(5) 温泉施設数及び監視指導状況

種 別 \ 項 目	施設数	監視指導件数
温 泉	9	9
温泉利用施設	13	9

(6) 家庭用品試買検査実施状況

品 目 \ 項 目	試買検体数	試験検査 件数	検 査 結 果	
			適	不適
織 維 製 品	58	67	67	0
家庭用エアゾル製品	1	1	1	0
住宅用洗剤	0	0	0	0
家庭用洗剤	1	2	2	0
計	60	70	70	0

(7) 室内空気環境測定実施状況

測定 施設数	測定内容		指針値外 施設数	室内濃度 指針値 ^{*2}
	項目 ^{*1}	測定件数		
5	ホルムアルデヒド	5	2	100 μg/m ³ (0.08ppm)
	トルエン	3	0	260 μg/m ³ (0.07ppm)
	キシレン	0	0	870 μg/m ³ (0.20ppm)
	パラジクロロベンゼン	0	0	240 μg/m ³ (0.04ppm)

* 1 主な用途

- ・ホルムアルデヒド：合板の樹脂加工剤、壁紙などの接着剤の原料や防腐剤
- ・トルエン：接着剤や塗料の溶剤
- ・キシレン：接着剤や塗料の溶剤
- ・パラジクロロベンゼン：衣類の防虫剤やトイレの防臭剤

* 2 単位

- ・μg/m³：空気1立方メートル中に存在する化学物質の重量
- ・ppm：空気中に存在する化学物質の体積の割合（1ppm=100万分の1）
- ・両単位の換算は、25 の場合による

(8) 墓地等の許可状況及び施設数

ア 墓地等の許可状況

種別 \ 項目	新設	変更	廃止
墓地	1	2	6
納骨堂	0	0	0
火葬場	0	0	0

イ 墓地等の施設数

種別 \ 経営形態	公営	宗教法人	その他	計
墓地	2	130	4,798	4,930
納骨堂	0	7	0	7
火葬場	1	0	0	1

(9) 化製場法に基づく畜舎等施設数

	牛	馬	豚	めん羊	山羊	鶏	犬
新規	0	0	0	0	0	0	0
施設数	6	2	4	1	1	2	11

(10) 住宅宿泊事業法に基づく施設数

施設数	新規件数	変更件数	廃止件数
7	7	0	0

3 狂犬病予防対策及び動物愛護事業

狂犬病の発生予防のため、犬の登録、狂犬病予防定期集合注射及び放浪犬の捕獲・抑留等を実施しました。

また、犬猫の引取り、負傷した動物の収容・措置、犬のこう傷事故の再発防止指導並びに市民から寄せられた犬猫等の相談・苦情に対する助言及び調査・指導を行ったほか、適正な飼養管理を推進するため、犬のしつけ方教室等を実施しました。

さらに、猫の糞尿や繁殖などによる周辺的生活環境の被害を防止するため、人と猫との共生社会支援事業として、猫の適正飼養ガイドラインの普及啓発、猫の相談会や譲渡面接会を実施したほか、野良猫等の不妊去勢手術に係る費用を助成しました。

その他にも、ペットショップ・ペットホテル等について、第一種動物取扱業の登録、監視指導及び動物取扱責任者研修を実施しました。また、動物愛護ボランティア等について、第二種動物取扱業の届出の受理及び監視指導を実施しました。

(1) 犬の登録及び狂犬病予防注射実施状況

ア 登録及び注射実施状況

項目 区分	窓口受付分	集合注射会場 受付分*	獣医師会 受付分	計
登録申請頭数	1,905	33	583	2,521
注射実施頭数	16,234	3,362	10,854	30,450

*集合注射 日数13日、会場116箇所(延べ119箇所)

イ 年度別状況

区分	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
登録頭数	41,069	40,943	40,691	39,795	39,464
登録申請頭数	2,668	2,733	2,456	2,485	2,521

(2) 犬、猫等の取扱状況

ア 狂犬病予防法による取り扱い

収容状況 (頭数)

区分	捕獲・抑留
成犬	93
子犬	0
計	93

措置状況

(頭数)

区分	返還 ^{*1}	譲渡 ^{*1}	処分 ^{*2}	計 ^{*1}
成犬	75(72)	16	0	91(72)
子犬	0	0	0	0
計	75(72)	16	0	91(72)

収容状況の計及び措置状況の計は、前年度からの繰り入れ、翌年度への繰り越し頭数があるため、合致しません。

*1 () うち市返還分・譲渡分

*2 処分には、抑留中の死亡を含む

イ 動物の愛護及び管理に関する法律による取り扱い

引き取った犬、猫に関する収容状況 (頭数)

区 分 \ 項 目	所有者から	所有者不明	計
成 犬	10	0	10
子 犬	0	0	0
成 猫	34	1	35
子 猫	12	42	54
計	56	43	99

引き取った犬、猫に関する措置状況 (頭数)

区 分 \ 項 目	返還	譲渡 ^{*1}	処分 ^{*2}	計 ^{*1}
成 犬	0	10 (2)	0	10 (2)
子 犬	0	0	0	0
成 猫	0	26 (4)	4	30 (4)
子 猫	0	54(54)	0	54(54)
計	0	90(60)	0	90(60)

*1 () うち市譲渡分

*2 処分には、抑留中の死亡を含む

負傷動物に関する収容状況 (頭数)

区 分 \ 項 目	所有者不明
成 犬	5
子 犬	0
成 猫	39
子 猫	26
その他のペット	0
計	70

負傷動物に関する措置状況 (頭数)

区 分 \ 項 目	返還 [*]	譲渡 [*]	処分	計 [*]
成 犬	4 (4)	0	1	5 (4)
子 犬	0	0	0	0
成 猫	6 (6)	9 (1)	24	39 (7)
子 猫	1 (1)	18 (6)	7	26 (7)
その他のペット	0	0	0	0
計	11 (11)	27 (7)	32	70 (18)

負傷動物に関する収容状況の計及び措置状況の計は、前年度からの繰り入れ、翌年度への繰り越し頭数があるため、合致しません。

* () うち市返還・譲渡分

ウ 相模原市動物の愛護及び管理に関する条例による取り扱い

成犬1頭の収容・抑留があり、後に市内にて措置(返還)を行いました。

(3) こう傷等事故の発生状況

こう傷等 事故件数	被害者数	被害動物数
32	26	6

(4) 犬、猫等に関する苦情・相談の状況

ア 犬、猫等の相談

(件)

区分 \ 内容	譲渡	飼い方	所有権 放棄	計
犬	36	72	74	182
猫	87	50	39	176
その他のペット	9	4	-	13
計	132	126	113	371

イ 犬、猫等の苦情

(件)

区分 \ 内容	捕獲 収容	放し 飼い	飼育 公害	犬看板 配布	猫被害軽減機 貸出	その他	計
犬	119	13	129	236	-	37	534
猫	36		113	-	29	15	193
その他のペット	-		7	-	-	5	12
計	155	13	249	236	29	57	739

*その他、野良猫に関する相談・苦情：271件

(5) 犬、猫等の失踪・保護情報の受付件数

区分 \ 項目	失踪	保護
犬	217	161
猫	191	216
その他のペット	20	23
計	428	400

(6) 犬のしつけ方教室等実施状況

ア 犬のしつけ方教室

開催回数	受講者数	開催場所
3	103	麻布大学

イ 飼い方等の相談

開催回数	相談者数	開催場所
6	40	犬一時抑留施設前

(7) 人と猫との共生社会支援事業

ア 猫の相談会、譲渡面接会実施状況

猫の相談会実施状況

開催回数	相談件数	来場者数
22	95	146

猫の譲渡面接会実施状況

開催回数	譲渡成立頭数	来場者数
11	20	181

イ 野良猫等の不妊去勢手術助成事業実施状況

不妊去勢手術実施頭数		計
メス	オス	
568	478	1,046

* 助成金限度額 メス1頭8,000円 オス1頭5,000円

ウ 地域猫活動実施状況

登録地区数	不妊去勢手術実施頭数	
	メス	オス
17	14	17

(8) 動物取扱業

ア 第一種動物取扱業の登録事務及び監視指導状況

種別	項目	総事業所数	登録数	登録件数		廃業 件数	監視指導 件数
				新規	更新		
	販売*	290	125(94)	7	11	13	45
	保管		195	19	19	14	43
	貸出し		7	0	0	1	5
	訓練		38	3	1	1	7
	展示		19	2	2	1	14
	競りあわせん業		0	0	0	0	0
	譲受飼養業		2	1	0	0	0
計	-	386	32	33	30	114	

* () うち犬猫等販売業

イ 第二種動物取扱業の届出施設数及び監視指導状況

種別 \ 項目	飼養施設を設置する場所の総数	飼養施設数	新規届出件数	廃業件数	監視指導件数
譲渡し	8	7	1	2	8
保管		0	0	0	0
貸出し		0	0	0	0
訓練		0	0	0	0
展示		1	0	0	1
計	-	8	1	2	9

ウ 動物取扱責任者研修

回数	受講者数	内 容
2	299	動物の愛護及び管理に関する法令等について 平成 29 年度動物取扱業立入検査結果について シェルターメディスンについて

(9) 特定動物の飼養許可

飼養許可状況

哺乳類		鳥類		爬虫類		計	
施設数	頭数	施設数	頭数	施設数	頭数	施設数	頭数
1	3	0	0	2	1	3	4

4 生活害虫等事業

居住環境で発生する生活害虫等に関する相談を通じて、市民の快適な生活環境の確保に努めました。

ねずみ・昆虫等相談件数

ねずみ	昆 虫 等							計
	ハチ	シロアリ	クモ	ダニ*	アリ	アタマジラミ	その他	
105	744	5	2	6	9	1	26	898

* タカラダニ等を含む

第 1 4 章

衛 生 檢 查

1 衛生検査・環境検査

(1) 衛生研究所業務

衛生研究所は衛生及び環境保全に係る試験検査業務を臨床関係・微生物関係・理化学関係の各分野について実施しています。

検査には保健所等市の事業に基づく行政検査（感染症、食中毒、苦情・相談等への対応を含む）と市民や事業所等からの依頼に基づき実施する依頼検査があります。

また、各検査の信頼性を維持するための精度管理を実施しています。

業務内容は以下のとおりです。

【衛生に係る業務】

種 類	内 容
性感染症検査	行政検査として、HIV、梅毒、性器クラミジアの検査を実施
感染症発生動向調査	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という）第14条（病原体定点調査）に基づき病原体定点で採取した検体及び同法第15条（積極的疫学調査）に基づき搬入された検体の病原体の分離・同定を実施
感染症法に基づく健康診断	感染症法第17条に基づき、健康診断として感染症患者の陰性化確認、接触者等の検便及び結核（QFT）検査等を実施
食中毒検査	糞便、食品等からの病因物質の検索や、感染源の究明
食品の微生物学及び理化学検査	食品中の微生物、添加物、動物用医薬品、残留農薬、重金属等について、行政検査等を実施
薬事検査	いわゆる健康食品中の医薬品成分検査を実施
飲料水、井戸水等の水質検査	依頼検査として、水質基準適合検査を実施
公衆浴場水等の水質検査	行政検査として、レジオネラ属菌等の水質基準適合検査を実施
家庭用品検査	行政検査として、繊維製品、洗剤等の中の有害物質検査を実施
放射性物質に関する検査	食品、飲料水（簡易水道等）等の放射性物質に関する検査を実施
苦情、相談等に関する検査	食品等の劣化や異物混入等に関する検査を実施
精度管理	検査精度維持のため各種検査について、精度管理を実施
衛生に係る調査研究	国との共同研究事業及びデング熱等媒介蚊サーベイランスを実施
公衆衛生情報の収集、解析及び提供	感染症情報センターを設置し情報発信を実施

【環境保全に係る業務】

種 類	内 容
工場排水等の水質検査	水質基準適合検査等を実施

(2) 検査実施状況

臨床・食品・環境等の微生物学試験、理化学試験を実施しました。

		総検体数	総項目数	一般依頼検査		行政検査		その他*1			
				検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数		
合計		3,307	21,299	81	1,085	3,018	19,200	208	1,014		
性感染症検査	梅毒	472	944	-	-	472	944	-	-		
	性器クラミジア	467	934	-	-	467	934	-	-		
	HIV	519	519	-	-	519	519	-	-		
感染症法	発生动向調査	病原体 定点調査	細菌	14	14	-	-	14	14	-	-
		ウイルス	92	204	-	-	92	204	-	-	
	積極的 疫学調査	細菌	9	9	-	-	9	9	-	-	
		ウイルス	129	387	-	-	129	387	-	-	
	健康診断 (結核を除く)		細菌	46	46	-	-	46	46	-	-
	健康診断		結核	191	191	-	-	191	191	-	-
食中毒検査*2		316	4,233	-	-	316	4,233	-	-		
食品	微生物学検査	323	754	-	-	323	754	-	-		
	理化学検査	225	10,256	-	-	225	10,256	-	-		
環境検査	水質検査	飲料水等	79	1,079	79	1,079	-	-	-	-	
		公衆浴場等	135	436	-	-	135	436	-	-	
		排水等*3	79	591	-	-	-	-	79	591	
	家庭用品		60	213	-	-	60	213	-	-	
	悪臭		0	0	-	-	-	-	-	-	
放射性物質に関する検査	食品検査		81	288	2	6	20	60	59	222	
	飲料水(簡易水道等)検査		24	72	-	-	-	-	24	72	
	その他*4		22	66	-	-	-	-	22	66	
苦情検査		10	21	-	-	-	-	10	21		
デング熱等蚊のサーベイランス		14	42	-	-	-	-	14	42		

*1：市の機関からの依頼検査及び調査研究等

*2：ふきとり検査を含む

*3：工場排水、利用水、排水自主検査、調査研究等を含む

*4：清掃施設関連、こども施設関連等

2 検査実施内訳

(1) 性感染症検査

性感染症である HIV、梅毒、性器クラミジアの検査を実施しました。

項目		検査件数
梅毒	RPR	472
	TPHA	472
性器クラミジア	抗体検査 (IgA)	467
	抗体検査 (IgG)	467
HIV 1	抗体検査	519
合計		2,397

1 即日検査 (HIV40 件) を含む

(2) 感染症法に係る検査

感染症発生動向調査事業による病原体定点で採取した臨床検体からの病原体の分離・同定を実施しました。

また、疾病対策課の依頼により、感染症発生時に、積極的疫学調査及び健康診断として海外渡航者等の原因者やその接触者の検便などの臨床検体の検査を実施しました。

ア 感染症発生動向調査 (病原体定点) 細菌

(ア) 月別細菌分離・同定状況

		合計	検出月 (検体採取月)											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検査件数		14	2	2	2	1	0	0	0	5	2	0	0	0
陽性数		11	1	1	2	1	0	0	0	4	2	0	0	0
分離細菌	A 群溶血性レンサ球菌 T1 型	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T4 型	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T12 型	3	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T25 型	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264 型	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不明	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

(イ) 疾病名別細菌分離・同定状況

	合計	疾病名			
		A 群溶血性 レンサ 球菌咽頭炎	百日咳	細菌性 髄膜炎	感染性 胃腸炎
検査件数	14	14	0	0	0
陽性数	11	11	0	0	0
分離細菌	A 群溶血性レンサ球菌 T1 型	2	2	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T4 型	2	2	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T12 型	3	3	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T25 型	1	1	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 TB3264 型	2	2	-	-
	A 群溶血性レンサ球菌 T 型別不明	1	1	-	-

イ 感染症発生動向調査（病原体定点）ウイルス

(ア) 月別ウイルス分離・同定状況

	合計	検出月（検体採取月）											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検査件数	92	5	5	4	2	1	1	1	1	12	26	15	19
陽性数	85	5	4	2	2	1	1	1	0	12	25	13	19
分離ウイルス	インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型	20	-	-	-	-	-	-	-	8	10	-	2
	インフルエンザウイルス AH3 亜型	36	1	2	-	-	-	-	-	2	13	11	7
	インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型及び AH3 亜型	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	インフルエンザウイルス B 型山形系統	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B 型ビクトリア系統	11	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	8
	インフルエンザウイルス B 型系統不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	ノロウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	サポウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 3 型	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 54 型	6	-	1	1	-	1	-	1	-	1	1	-
	アデノウイルス 56 型	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ロタウイルス A 群	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A2 型	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A4 型	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A5 型	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A6 型	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
コクサッキーウイルス A16 型	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

(イ) 疾病名別ウイルス分離・同定状況

	合計	疾病名							
		インフルエンザ	感染性胃腸炎	咽頭結膜熱	手足口病	ヘルパンギーナ	流行性角結膜炎	急性出血性結膜炎	無菌性髄膜炎
検査件数	92	75	2	2	2	4	7	0	0
陽性数	85	71	1	1	2	3	7	0	0
分離ウイルス	インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型	20	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス AH3 亜型	36	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型及び AH3 亜型	1	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B 型山形系統	2	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B 型ビクトリア系統	11	-	-	-	-	-	-	-
	インフルエンザウイルス B 型系統不明	1	-	-	-	-	-	-	-
	ノロウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-
	サポウイルス	0	-	-	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 3 型	1	-	1	-	-	-	-	-
	アデノウイルス 54 型	6	-	-	-	-	6	-	-
	アデノウイルス 56 型	1	-	-	-	-	1	-	-
	ロタウイルス A 群	1	-	1	-	-	-	-	-
	コクサッキーウイルス A2 型	1	-	-	-	-	1	-	-
	コクサッキーウイルス A4 型	1	-	-	-	-	1	-	-
	コクサッキーウイルス A5 型	1	-	-	-	-	1	-	-
	コクサッキーウイルス A6 型	1	-	-	-	1	-	-	-
コクサッキーウイルス A16 型	1	-	-	-	1	-	-	-	

(ウ) インフルエンザウイルス AH1pdm09 亜型を対象とした薬剤耐性株の遺伝子解析

	合計	検出月（検体採取月）											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
タミフル耐性株数 *1	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タミフル感受性株数 *2	15	-	-	-	-	-	-	-	-	7	7	1	-
判定不能数	5	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	1

*1：タミフルが効かない、あるいは効きにくいインフルエンザウイルス

*2：タミフルが効きやすいインフルエンザウイルス

ウ 感染症発生動向調査（ 積極的疫学調査 ）

		合計	臨床検体	菌株
検体数		138	129	9
項目数		396	387	9
細菌	腸管出血性大腸菌	8	-	8
	赤痢菌	1	-	1
ウイルス	デングウイルス	6	6	-
	チクングニアウイルス	6	6	-
	ジカウイルス	6	6	-
	重症熱性血小板減少症候群ウイルス	5	5	-
	麻疹ウイルス	124	124	-
	風疹ウイルス	125	125	-
	ノロウイルス	12	12	-
	サポウイルス	7	7	-
	ロタAウイルス	12	12	-
	ロタCウイルス	12	12	-
	エンテロウイルス	13	13	-
	アデノウイルス	12	12	-
	ヘルペスウイルス	12	12	-
	ムンプスウイルス	12	12	-
	インフルエンザウイルス	12	12	-
	インフルエンザウイルス *1	2	2	-
ウイルス分離		9	9	-

*1：インフルエンザによる市内初の学級閉鎖施設について検査を実施

エ 健康診断（ 結核を除く ）

		検体数
項目		46
細菌	腸管出血性大腸菌	36
	赤痢菌	10

オ 健康診断（ 結核 ）

	項目	検体数
結核	QFT（ IGRA 検査 ）	191

(3) 食中毒検査

市内で発生した食中毒及び他の自治体で発生した食中毒に関連する検査を実施しました。

		合計	食品	ふきとり	便	その他 *1
検体数		316	29	117	167	3
項目数		4,233	493	1,972	1,764	4
内 訳	腸炎ビブリオ	242	29	117	96	-
	ビブリオ・フルビアリス	242	29	117	96	-
	ナグビブリオ	242	29	117	96	-
	ブドウ球菌	241	29	117	95	-
	セレウス菌	244	29	117	98	-
	ウェルシュ菌	247	29	117	101	-
	サルモネラ	243	29	117	97	-
	腸管出血性大腸菌	241	29	117	95	-
	病原性大腸菌	241	29	117	95	-
	カンピロバクター	241	29	117	94	1
	エルシニア	242	29	117	96	-
	エロモナス	242	29	117	96	-
	プレジオモナス	242	29	117	96	-
	赤痢菌	244	29	117	98	-
	コレラ菌	241	29	117	95	-
	チフス菌	240	29	117	94	-
	ノロウイルス	260	29	87	144	-
	サポウイルス	29	-	10	19	-
	ロタウイルス	7	-	-	7	-
	アデノウイルス	7	-	-	7	-
アニサキス	2	-	-	-	2	
細菌 PCR 検査	53	-	3	49	1	

*1：菌株、アニサキス虫体

(4) 食品検査

生活衛生課の収去による行政検査や調査研究のための検査、また他課からの依頼検査等を実施しました。

ア 微生物学検査

	合計	魚介類及び その加工品	肉・卵類及び その加工品	乳類及び その加工品	アイスクリーム・ 氷菓・氷雪	穀類加工品	野菜類・果物及び その加工品	菓子類	清涼飲料水	弁当・惣菜・ 調理パン	レトルト食品	冷凍食品	ふきとり	その他
検体数	323	24	5	0	10	25	56	43	13	101	7	39	0	0
項目数	754	24	14	0	20	75	137	125	21	253	7	78	0	0
細菌数	262	-	-	-	10	25	45	42	-	101	-	39	-	-
大腸菌群	121	5	1	-	10	6	27	42	13	-	-	17	-	-
E.coli	139	-	4	-	-	19	18	-	-	76	-	22	-	-
E.coli 最確数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
黄色 ブドウ球菌	164	-	4	-	-	25	18	41	-	76	-	-	-	-
腸炎ピブリオ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸炎ピブリオ 最確数	19	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
サルモネラ	4	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸管出血性大腸菌 *1	29	-	-	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	-
乳酸菌数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クロスト リジウム属菌	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
腸球菌	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
緑膿菌	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
カンピロ バクター属菌	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
リステリア菌	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他*2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-

*1：026、0103、0111、0121、0141 及び 0157

*2：当該容器包装詰加圧加熱殺菌食品中で発育しうる微生物

イ 理化学検査

(ア) 添加物等検査

		合計	魚介類及び その加工品	肉・卵類及び その加工品	乳類及び その加工品	アイスクリーム・ 氷菓・氷雪	穀類及び その加工品	野菜類・果物 及びその加工品	菓子類	清涼飲料水	酒精飲料	缶詰・びん 詰食品	弁当・惣菜・ 調理パン	レトルト食品	その他
検体数		168	13	5	0	10	19	35	41	13	20	8	0	0	4
項目数		2,446	221	56	0	20	19	586	709	295	313	136	0	0	91
合成保存料	ソルビン酸	129	13	5	0	0	0	33	38	8	20	8	0	0	4
	デヒドロ 酢酸	165	13	41	0	0	0	33	38	8	20	8	0	0	4
	安息香酸	129	13	5	0	0	0	33	38	8	20	8	0	0	4
	パラオキシ 安息香酸	95	-	-	-	-	-	15	-	40	20	-	-	-	20
合成着色料	タール色素	1,356	156	-	-	-	-	396	456	96	108	96	-	-	48
発色剤	亜硝酸根	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
漂白剤	亜硫酸	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合成甘味料	サッカリン ナトリウム	134	13	-	-	10	-	33	38	8	20	8	-	-	4
	アセスルファ ムカリウム	134	13	-	-	10	-	33	38	8	20	8	-	-	4
	スクラロース	20	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-
酸化防止剤	BHA	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	BHT	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	二酸化イオウ	20	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-
防ばい剤	オルトフェニル フェノール	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	ジフェニル	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
	チアベンダ ゾール	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
	イマザリル	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
品質保持剤	プロピレン グリコール	19	-	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	
pH		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
重金属	スズ	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
	鉛	8	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-
	カドミウム	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ヒ素	8	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-
酸価・過酸化物価		0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ミネラル ウォーター類 成分規格	元素類	50	-	-	-	-	-	-	-	50	-	-	-	-	-
	陰イオン	17	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-
	その他	33	-	-	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-
特定原材料	そば	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	
指定外	サイクラミ ン酸	30	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
	TBHQ	30	-	-	-	-	-	-	30	-	-	-	-	-	-
	着色料	45	-	-	-	-	-	-	-	-	45	-	-	-	-

*たれ、つゆ、食品添加物

(イ) 食品中の残留農薬

	農作物及びその加工品		カフェンストロール	36
検体数	36		カルバリル	36
項目数	1,196		カルプロパミド	36
EPN	36		キナルホス	36
XMC	36		キノキシフェン	17
アクリナトリン	36		キノクラミン	36
アザコナゾール	20		キントゼン	12
アザメチホス	36		クミルロン	33
アジンホスメチル	36		クレソキシムメチル	36
アゾキシストロピン	33		クロキントセットメキシル	36
アトラジン	36		クロチアニジン	32
アニロホス	36		クロフェンテジン	36
アメトリン	30		クロマフェノジド	36
アラクロール	36		クロリダゾン	36
アレスリン *2	23		クオルタールジメチル	36
イソキサチオン	36		クオルピリホス	28
イソフェンホス *1	36		クオルピリホスメチル	28
イソプロカルブ	34		クオルフェンピンホス *2	36
イソプロチオラン	36		クオルプロファム	36
イプロバリカルブ	36		クオロクスロン	36
イプロベンホス	36		クオロベンジレート	36
イマザメタベンズメチルエステル *2	36		シアゾファミド	35
イマザリル	10		シアノホス	36
イミダクロプリド	36		ジウロン	36
イミベンコナゾール	0		ジエトフェンカルブ	36
インダノファン	33		ジクロシメット *2	36
インドキサカルブ	36		ジクロフェンチオン	28
エスプロカルブ	36		ジクロホップメチル	34
エタルフルラリン	18		ジクロラン	28
エチオン	36		シハロトリン *2	36
エディフェンホス	36		シハロホップブチル	36
エトキサゾール	16		ジフェナミド	36
エトフェンプロックス	28		ジフェノコナゾール *2	28
エトプロホス	0		シフルトリン *2	36
エポキシコナゾール	18		シフルフェナミド	36
オキサジアゾン	36		ジフルフェニカン	36
オキサジキシル	36		ジフルベンズロン	36
オキサジクロメホン	33		シプロコナゾール	20
オキサミル	36		シプロジニル	36
オキシカルボキシン	36		シベルメトリン *2	35
オキシフルオルフェン	36		シマジン	29
カズサホス	36		シメコナゾール	36

ジメタメトリン	36	トルフェンピラド	36
ジメチリモール	36	ナプロアニリド	36
ジメテナミド	36	ナプロパミド	36
ジメトエート	36	ニトロタールイソプロピル	36
ジメトモルフ	33	ノバルロン	36
シメトリン	36	パクロブトラゾール	36
ジメピペレート	36	パラチオン	36
シラフルオフェン	0	パラチオンメチル	36
スピノサド *3	0	ハルフェンプロックス	28
スピロキサミン *2	0	ピテルタノール *2	31
ターバシル	36	ピフェノックス	36
ダイアジノン	36	ピフェントリン	28
ダイムロン	33	ピペロホス	36
チアクロプリド	36	ピラクロホス	36
チアベンダゾール	36	ピラゾホス	36
チアメトキサム	36	ピラゾリネート	36
チオベンカルブ	36	ピラフルフェンエチル	34
テクナゼン	4	ピリダフェンチオン	36
テトラクロルピンホス	36	ピリダベン	28
テトラコナゾール	36	ピリフェノックス *2	7
テトラジホン	28	ピリフタリド	36
テニルクロール	36	ピリブチカルブ	36
テブコナゾール	14	ピリプロキシフェン	28
テブチウロン	36	ピリミカーブ	36
テブフェノジド	36	ピリミノバックメチル *2	36
テブフェンピラド	36	ピリミホスメチル	36
テフルトリン	28	ピリメタニル	36
テフルベンズロン	34	ピロキロン	36
デルタメトリン及びトラロメトリン	36	ピンクロゾリン	36
テルブトリン	36	フィプロニル	36
テルブホス	3	フェナミホス	31
トリアジメノール *2	36	フェナリモル	36
トリアジメホン	36	フェニトロチオン	36
トリアゾホス	36	フェノキサニル	33
トリアレート	18	フェノキシカルブ	36
トリシクラゾール	7	フェノチオカルブ	36
トリチコナゾール	36	フェノトリン *2	26
トリブホス	28	フェリムゾン	36
トリフルムロン	36	フェンアミドン	25
トリフルラリン	23	フェンスルホチオン	36
トリフロキシストロピン	36	フェントエート	36
トルクロホスメチル	36	フェンバレレート *2	36

フェンピロキシメート	36	ヘキサコナゾール	4
フェンピロキシメート (Z)	36	ヘキサジノン	36
フェンブコナゾール	36	ヘキシチアゾクス	36
フェンプロパトリン	36	ベナラキシル	36
フェンプロピモルフ	36	ベノキサコール	36
フサライド	23	ペルメトリン *2	28
ブタクロール	36	ペンコナゾール	25
ブタフェナシル	36	ペンシクロン	36
ブタミホス	36	ベンゾフェナップ	36
ブピリメート	36	ベンダイオカルブ	36
ブプロフェジン	28	ペンディメタリン	28
フラムプロップメチル	36	ペントキサゾン	33
フラメトピル	36	ベンフルラリン	18
フルアクリピリム	36	ベンフレセート	36
フルキンコナゾール	36	ホサロン	36
フルシトリネート *2	36	ボスカリド	36
フルトラニル	36	ホスチアゼート *2	36
フルバリネート *2	36	ホスファミドン *2	33
フルフェノクスロン	33	ホスメット	36
フルミオキサジン	36	マラチオン	36
フルリドン	36	マイクロブタニル	36
プレチラクロール	36	メタベンズチアズロン	36
プロシミドン	36	メタミドホス	9
プロチオホス	28	メチダチオン	36
プロパキザホップ	36	メトキシクロール	36
プロパジン	36	メトキシフェノジド	36
プロパニル	36	メトラクロール	36
プロピコナゾール *2	36	メビンホス	18
プロピザミド	36	メフェナセット	36
プロヒドロジャスモン *2	22	メフェンピルジエチル	36
プロフェノホス	36	メプロニル	36
プロポキスル	36	モノクロトホス	36
プロマシル	36	モノリニューロン	36
プロメトリン	36	リニューロン	36
プロモプロピレート	36	ルフェヌロン	36
プロモホス	28	レナシル	36

*1: イソフェンホスはイソフェンホスとイソフェンホスオキシソンの和

*2: 異性体の和

*3: スピノサドはスピノシン A とスピノシン D の和

(ウ) 畜水産食品中の動物用医薬品

		合計	食肉・鶏卵	魚介類
検体数		13	11	2
項目数		137	95	42
サイ ク リ ン 系 抗 生 物 質	オキシテトラサイクリン	13	11	2
	クロルテトラサイクリン	13	11	2
	テトラサイクリン	11	11	0
合 成 抗 菌 剤	スルファジミジン	5	3	2
	スルファモノメトキシ	5	3	2
	スルファチアゾール	5	3	2
	スルファジメトキシ	5	3	2
	スルファキノキサリン	5	3	2
	スルファメラジン	5	3	2
	スルファクロルピリダジン	5	3	2
	スルファジアジン	5	3	2
	スルファドキシ	5	3	2
	スルファニトラン	5	3	2
	スルファピリジン	5	3	2
	スルファメトキサゾール	5	3	2
	スルファメトキシピリダジン	5	3	2
	チアンフェニコール	5	3	2
	エトパベート	5	3	2
	オルメトプリム	5	3	2
	トリメトプリム	5	3	2
5-プロピルスルフォニル-1H-ベンゾイミダゾール-2-アミン	5	3	2	
駆 虫 剤	フルベンダゾール	8	8	0
	レバミゾール	2	0	2

(エ) 器具容器包装

	合計	金属缶	ガラス瓶
検体数	3	0	3
項目数	6	0	6
カドミウム	3	-	3
鉛	3	-	3
ヒ素	0	-	-
蒸発残留物	0	-	-
フェノール	0	-	-
ホルムアルデヒド	0	-	-
エピクロルヒドリン	0	-	-

(オ) いわゆる健康食品の医薬品成分検査

検体数	項目数	検査項目								
		シルデナフィル	バルデナフィル	タダラフィル	ホンデナフィル	キサントアントラフィル	チオキナピペリフィル	フェンフルラミン	N-ニトロソフェンフルラミン	シブトラミン
5	45	5	5	5	5	5	5	5	5	5

(5) 環境検査

ア 水質検査

	合計	上水道	専用水道	簡易水道	簡易専用 水道	小規模水道	井戸水	受水型小規模 水道	その他の 飲料水	プール水	浴槽水	採暖槽	工場排水	地下水	その他水質 *1
検体数	293	14	0	0	1	15	35	2	12	0	122	13	11	43	25
項目数	2,106	206	0	0	15	199	451	36	172	0	423	13	201	172	218
一般細菌数	82	13	-	-	1	15	34	2	12	-	-	-	-	-	5
大腸菌群	105	-	-	-	-	-	-	-	-	-	105	-	-	-	-
大腸菌群数	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大腸菌	82	13	-	-	1	15	34	2	12	-	-	-	-	-	5
レジオネラ属菌	135	-	-	-	-	-	-	-	-	-	122	13	-	-	-
亜硝酸態窒素	74	13	-	-	1	13	29	2	11	-	-	-	-	-	5
硝酸性窒素 及び亜硝酸性窒素	74	13	-	-	1	13	29	2	11	-	-	-	-	-	5
塩化物イオン	74	13	-	-	1	13	29	2	11	-	-	-	-	-	5
全有機炭素 (TOC)の量	73	13	-	-	1	13	29	2	10	-	-	-	-	-	5
過マンガン酸 カリウム消費量	98	-	-	-	-	-	-	-	-	-	98	-	-	-	-
鉄	74	14	-	-	1	13	29	2	10	-	-	-	-	-	5
総硬度	74	13	-	-	1	13	29	2	11	-	-	-	-	-	5
pH	103	13	-	-	1	13	29	2	11	-	-	-	11	-	23
臭気	86	13	-	-	1	13	29	2	11	-	-	-	11	-	6
味	73	13	-	-	1	13	29	2	10	-	-	-	-	-	5
色度	75	13	-	-	1	13	29	2	11	-	-	-	-	-	6
濁度	173	13	-	-	1	13	29	2	11	-	98	-	-	-	6
アンモニア性窒素	74	13	-	-	1	13	29	2	11	-	-	-	-	-	5
残留塩素	73	13	-	-	1	13	29	2	10	-	-	-	-	-	5
蒸発残留物	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
銅	29	3	-	-	-	-	2	2	3	-	-	-	11	-	8
亜鉛	29	3	-	-	-	-	2	2	3	-	-	-	11	-	8
鉛	20	4	-	-	-	-	2	2	3	-	-	-	1	-	8
総トリハロメタン	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
BOD	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
その他*2	415	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	145	172	98

*1：地下水、排水自主検査及び調査研究等を含む

*2：溶解性鉄、溶解性クロム、溶解性マンガン、ニッケル、クロム、マンガン、カドミウム、ヒ素、セレン、六価クロム、フッ素、ホウ素、シアン、揮発性有機化合物、チウラム、シマジン、チオベンカルブアンモニア性窒素等、COD、よう素消費量、総水銀、温度、外観

イ 家庭用品

	合計	繊維製品	接着剤	洗剤	噴霧剤	その他
検体数	60	58	-	1	1	-
項目数	213	208	-	4	1	-
ホルムアルデヒド	58	58	-	-	-	-
メタノール	1	-	-	-	1	-
有機水銀	1	1	-	-	-	-
アゾ化合物	148	148	-	-	-	-
塩化水素・硫酸	0	-	-	-	-	-
水酸化ナトリウム・ 水酸化カリウム	1	-	-	1	-	-
ディルドリン	1	1	-	-	-	-
落下試験	1	-	-	1	-	-
漏水試験	1	-	-	1	-	-
圧縮変形試験	1	-	-	1	-	-

ウ その他の環境検査

大気環境保全に関する検査として、悪臭の検査を実施しています。平成30年度の実績は0件でした。

(6) 放射性物質に関する検査

食品、飲料水（簡易水道等）等の放射性物質に関する検査を実施しました。

	検体	検体数	項目数
食品検査	学校給食（事前検査）	45	180
	農林畜産物	14	42
	行政検査	20	60
	市民持ち込みによる放射性物質検査	2	6
	小計	81	288
飲料水（簡易水道等）検査		24	72
その他	清掃施設関連	22	66
	土壌	0	0
	堆肥	0	0
	調査研究	0	0
	小計	22	66
合計		127	426

(7) 苦情品検査

生活衛生課等に相談があった苦情のうち、必要に応じて微生物及び理化学検査を実施しています。検査項目別内訳は以下のとおりです。

	合計	食材	ふき取り	便	水	異物	その他
検体数	10	2	-	-	-	7	1
項目数	21	3	-	-	-	14	4
食中毒菌等	1	1	-	-	-	-	-
細菌数	0	-	-	-	-	-	-
鏡頭（形状等の確認）	7	-	-	-	-	7	-
蛍光 X 線検査	4	-	-	-	-	4	-
赤外分光光度計検査	2	-	-	-	-	2	-
農薬検査キット	1	1	-	-	-	-	-
植物繊維判定試験	0	-	-	-	-	-	-
燃焼試験	1	-	-	-	-	1	-
その他 1	5	1	-	-	-	-	4

(8) 精度管理検査

食品検査は内部精度管理及び食品検査の業務管理（GLP）に基づく国内統一による外部精度管理に、感染症検査は感染症法に基づき国が行う外部精度管理に、水質検査は内部精度管理の他に神奈川県水質管理計画に基づく精度管理及び厚生労働省が行う外部精度管理に参加しました。

		合計		内部精度管理		外部精度管理	
		検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
合計		412	3,391	359	3,321	53	70
食品検査	理化学	335	3,187	314	3,166	21	21
	細菌	25	25	21	21	4	4
感染症検査	細菌	1	1	-	-	1	1
	ウイルス	11	11	-	-	11	11
環境検査		40	167	24	134	16	33

(9) 衛生研究所の主要機器整備状況

(平成31年3月31日現在)

No.	機器名称	機器メーカー	型式
1	ガスクロマトグラフ (ECD、FID)	島津製作所	GC-2014
2	ガスクロマトグラフ	Agilent Technologies	Agilent 7890A
3	ガスクロマトグラフ質量分析計	Agilent Technologies	Agilent 6890N/5975B
4	ヘッドスペース付 ガスクロマトグラフ質量分析計	Agilent Technologies	Agilent 7890A/5975C
5	ガスクロマトグラフ質量分析計	Agilent Technologies	Agilent 7000D/7890B
6	高速液体クロマトグラフ	Agilent Technologies	Agilent HP1260 Infinity
7	高速液体クロマトグラフ	Waters	ACQUITY UPLC H-Class
8	ポストカラム付 イオンクロマトグラフ	ダイオネクス	ICS-1500
9	高速液体クロマトグラフ質量分析計	Agilent Technologies	Agilent 6410
10	GPC前処理装置	島津製作所	Prominence
11	誘導結合プラズマ質量分析装置	Agilent Technologies	Agilent 7700X
12	分光光度計	日立	U-2900
13	分光光度計	島津製作所	BioSpec-nano
14	紫外可視分光光度計	島津製作所	UV-1800
15	原子吸光度計	島津製作所	AA-7000
16	イオンクロマトグラフ	ダイオネクス	ICS-1600
17	全有機体炭素計	島津製作所	TOC-V CPN
18	水銀濃度計	日本インスツルメンツ	RA-3A
19	DNAシーケンサー	アプライドバイオシステムズ	3500-250-BA04 GeneticAnalyzer
20	PCR遺伝子増幅装置	タカラ	TP600
21	PCR遺伝子増幅装置	タカラ	TP650
22	PCR遺伝子増幅装置	アステック	PC708
23	PCR遺伝子増幅装置	アプライドバイオシステムズ	Gene Amp PCR System 9700
24	PCR遺伝子増幅装置	アプライドバイオシステムズ	ProFlex PCR System 3×32Well
25	リアルタイムPCRシステム	アプライドバイオシステムズ	7500システム
26	リアルタイムPCRシステム	アプライドバイオシステムズ	7500Fastシステム
27	リアルタイムPCRシステム	アプライドバイオシステムズ	7500Fastシステム
28	パルスフィールド電気泳動装置	バイオラッド	CHEF DR システム
29	蛍光・可視光イメージング装置	ATTO	WSE-5200 Pringtgraph2M
30	生物顕微鏡	オリンパス	BX50
31	ゲルマニウム半導体検出器	セイコー・イージー・アンドジー	GEM20P4-70
32	赤外分光光度計	日本分光	FT/IR-4600
33	蛍光X線分析装置	日立ハイテク	EA6000VX

3 衛生に係る調査研究

(1) 国との共同研究事業

「マスギャザリング時や新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベイランスの強化とリスクアセスメントに関する研究」(研究期間：平成30年4月1日～令和3年3月31日)を実施しています。

(2) デング熱等媒介蚊のサーベイランス

デングウイルス等を媒介するヒトスジシマカ雌のウイルス保有状況調査を実施しました。採集後の蚊を分類した後、デングウイルス、チクングニアウイルス及びジカウイルスの遺伝子検査を実施したところ、いずれも陰性でした。

		月別採集数(ヒトスジシマカ雌数)				
		6月	7月	8月	9月	10月
合計		2	7	60	135	25
採集場所	相模原北公園(緑区)	1	-	11	-	5
	相模湖林間公園(緑区)	-	-	-	-	-
	淵野辺公園(中央区)	-	1	21	23	14
	相模大野中央公園(南区)	1	6	28	112	6
遺伝子の 検出結果	検体数*	2	2	3	4	3
	デングウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
	チクングニアウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性
	ジカウイルス	陰性	陰性	陰性	陰性	陰性

実施時期：平成30年6月～10月

実施箇所：市内各区一箇所の公園(緑区は2箇所の公園を隔月で実施)

実施方法：人囀法

* 各公園内1定点で採集された蚊を定点ごとにまとめて検体としている。

4 公衆衛生情報の収集、解析及び提供

感染症情報センター(平成31年1月1日設置)から感染症情報を発信し、市民への注意喚起を図りました。

ア 週報発信 12回

イ 月報発信 3回

5 衛生研究所内研修

職員の資質向上のため民間等より講師を招き、研修を実施しました。

No.	表題	講師
1	包装研修（伝達研修）	所内講師
2	マイクロピペット・天秤研修	ジーエルサイエンス株式会社
3	精度管理研修（伝達研修）	所内講師
4	DNA シーケンサー研修（伝達研修）	ライフテクノロジージャパン株式会社
5	分析値の品質保証システム（伝達研修）	所内講師
6	正しいラボテクニック伝達研修（伝達研修）	所内講師
7	高圧ガス保安講習会	渡商会株式会社
8	微生物安全実験室使用研修（伝達研修）	所内講師
9	クリプトコッカス研修（伝達研修）	所内講師
10	C R E 研修（伝達研修）	所内講師
11	OJT 研修	所内講師

第 1 5 章

人口動態統計

1 人口動態の概況

人口動態統計は、基幹統計として出生・死亡・死産・婚姻及び離婚の各届出書から移記作成するもので、市民の健康に関する特性や問題点を把握する基礎資料として利用されます。

(1) 人口動態件数・率の年次推移

	人口	婚姻			離婚			出生					死亡				
		総数	率	県率	総数	率	県率	総数	男	女	率	県率	総数	男	女	率	県率
S40年	163,381	1,875	11.5	11.4	79	0.5	0.8	3,965	2,029	1,936	24.3	21.8	752	404	348	4.6	5.2
45年	278,314	3,073	11.0	11.4	253	0.9	0.9	7,109	3,711	3,398	25.5	22.5	1,036	571	465	3.7	4.7
50年	377,341	3,191	8.5	9.4	396	1.1	1.2	7,270	3,717	3,553	19.3	18.5	1,242	707	535	3.3	4.3
55年	439,257	2,667	6.1	7.0	546	1.2	1.3	6,028	3,092	2,936	13.7	13.6	1,497	817	680	3.4	4.3
60年	482,778	2,943	6.1	6.6	704	1.5	1.4	5,514	2,817	2,697	11.4	11.6	1,786	1,021	765	3.7	4.6
H 2年	531,542	3,683	6.9	6.9	768	1.4	1.4	5,408	2,745	2,663	10.2	10.0	2,113	1,220	893	4.0	5.0
7年	570,597	4,568	8.0	7.5	1,050	1.8	1.8	6,233	3,186	3,047	10.9	9.8	2,462	1,441	1,021	4.3	5.6
12年	605,561	4,384	7.2	7.2	1,477	2.4	2.2	6,315	3,230	3,085	10.4	9.8	2,930	1,718	1,212	4.8	6.0
17年	628,698	4,022	6.4	6.4	1,427	2.3	2.1	5,771	2,971	2,800	9.2	8.7	3,442	1,930	1,512	5.5	6.7
22年	717,544	4,129	5.8	6.1	1,511	2.1	2.0	6,036	3,072	2,964	8.4	8.8	4,780	2,696	2,084	6.7	7.6
27年	720,780	3,434	4.8	5.4	1,362	1.9	1.8	5,475	2,919	2,556	7.6	8.2	5,655	3,151	2,504	7.9	8.4
28年	721,552	3,349	4.6	5.1	1,354	1.9	1.7	5,196	2,633	2,563	7.2	7.7	5,611	3,108	2,503	7.8	8.5
29年	722,157	3,301	4.6	5.1	1,256	1.7	1.7	5,045	2,527	2,518	7.0	7.4	6,073	3,383	2,690	8.4	8.8
再掲 緑区	172,461	764	4.4	-	296	1.7	-	1,119	563	556	6.5	-	1,504	843	661	8.7	-
中央区	271,476	1,217	4.5	-	532	2.0	-	1,903	952	951	7.0	-	2,261	1,292	969	8.3	-
南区	278,220	1,320	4.7	-	428	1.5	-	2,023	1,012	1,011	7.3	-	2,308	1,248	1,060	8.3	-

	乳児死亡					新生児死亡					死産					周産期死亡		
	総数	男	女	率	県率	総数	男	女	率	県率	総数	自然	人工	率	県率	総数	率	県率
S40年	54	29	25	13.6	14.3	29	18	11	7.3	9.5	229	169	60	54.6	64.5	-	-	-
45年	75	37	38	10.6	10.9	50	25	25	7.0	7.3	302	208	94	40.8	44.8	133	18.5	18.5
50年	61	37	24	8.4	8.8	35	20	15	4.8	5.9	308	238	69	40.6	39.6	107	14.6	13.9
55年	42	20	22	7.0	7.2	29	13	16	4.8	4.9	180	118	62	29.0	37.0	56	9.2	10.8
60年	33	20	13	6.0	5.1	23	13	10	4.2	3.3	194	106	88	34.0	36.4	39	7.0	7.4
H 2年	27	15	12	5.0	4.5	11	7	4	2.0	2.6	222	83	139	39.4	35.1	30	5.5	5.6
7年	28	16	12	4.5	4.5	14	9	5	2.3	2.4	172	88	84	26.9	27.2	45	7.2	7.5
12年	32	17	15	5.1	3.4	25	14	11	4.0	2.1	179	81	98	27.6	25.9	42	6.6	6.3
17年	18	11	7	3.1	3.1	10	4	6	1.7	1.7	156	71	85	26.3	26.3	27	4.6	5.1
22年	18	6	12	3.0	2.6	8	4	4	1.3	1.3	142	65	77	23.0	20.9	31	5.1	4.8
27年	13	10	3	2.4	1.9	7	5	2	1.3	1.0	133	58	75	23.7	20.0	24	4.4	3.9
28年	15	6	9	2.9	2.1	8	2	6	1.5	1.1	122	55	67	22.9	19.4	20	3.8	3.6
29年	13	4	9	2.6	2.3	5	1	4	1.0	1.2	115	59	56	22.3	19.6	21	4.1	3.8
再掲 緑区	1	1	-	0.9	-	-	-	-	-	-	28	18	10	24.4	-	3	2.7	-
中央区	4	1	3	2.1	-	1	1	-	0.5	-	42	20	22	21.6	-	7	3.7	-
南区	8	2	6	4.0	-	4	-	4	2.0	-	45	21	24	21.8	-	11	5.4	-

- (注)1 調査期間は暦年（各年1月から12月まで）です。
 2 平成7年以前の数値は相模原保健福祉事務所年報から抜粋しました。
 3 人口（推計人口）は、各年10月1日現在です。
 4 平成12年以降の県率は、神奈川県衛生統計年報より抜粋しています。
 5 調査客体は日本における日本人です。
 6 婚姻率・離婚率・出生率・死亡率は人口千対、乳児死亡率・新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡率は出産（出生＋妊娠満22週以降の死産）千対です。
 7 乳児死亡は生後1年未満、新生児死亡は生後4週未満の死亡数です。
 8 周産期死亡は、後期死産（妊娠満22週以降）と早期新生児死亡（生後1週間未満）を合わせたものです。
 なお、平成6年以前は、妊娠満28週以後の死産と早期新生児死亡を合わせたものです。
 9 昭和50年の死産総数には、自然・人工別不明のものが各1件含まれています。

2 出生

(1) 性別及び月別出生児数

		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
H27年	総数	5,475	453	409	474	453	466	451	485	445	436	462	460	481	
	男	2,919	255	238	254	236	264	235	244	217	226	259	233	258	
	女	2,556	198	171	220	217	202	216	241	228	210	203	227	223	
H28年	総数	5,196	418	428	443	399	404	459	449	482	452	434	407	421	
	男	2,633	218	219	231	200	212	224	220	241	214	223	204	227	
	女	2,563	200	209	212	199	192	235	229	241	238	211	203	194	
H29年	総数	5,045	429	369	387	374	452	444	423	449	433	426	443	416	
	男	2,527	215	186	193	188	227	228	205	220	222	206	227	210	
	女	2,518	214	183	194	186	225	216	218	229	211	220	216	206	
再掲	緑区	総数	1,119	97	91	76	75	103	91	88	106	87	99	101	105
		男	563	51	48	35	40	56	50	45	56	36	45	47	54
		女	556	46	43	41	35	47	41	43	50	51	54	54	51
	中央区	総数	1,903	167	124	149	138	183	165	162	166	176	159	172	142
		男	952	76	68	76	66	95	76	80	83	99	81	89	63
		女	951	91	56	73	72	88	89	82	83	77	78	83	79
	南区	総数	2,023	165	154	162	161	166	188	173	177	170	168	170	169
		男	1,012	88	70	82	82	76	102	80	81	87	80	91	93
		女	1,011	77	84	80	79	90	86	93	96	83	88	79	76

(2) 出産の場所及び立会者別出生児数と出生割合

	総数	病院		診療所		助産所		自宅			その他				
		医師	助産	医師	助産	医師	助産	医師	助産	その他	医師	助産	その他		
H27年	総数	5,475	3,411	488	1,529	5	-	33	6	3	-	-	-	-	
	割合	100	62	9	28	0	-	1	0	0	-	-	-	-	
H28年	総数	5,196	3,368	452	1,334	5	3	21	3	7	2	1	-	-	
	割合(%)	100	65	13	26	0	0	1	0	0	0	0	-	-	
H29年	総数	5,045	3,508	323	1,179	1	10	15	4	4	-	1	-	-	
	割合(%)	100	70	6	23	0	0	0	0	0	-	0	-	-	
再掲	緑区	総数	1,119	717	72	324	-	1	4	-	1	-	-	-	-
		割合(%)	100	64	6	29	-	0	0	-	0	-	-	-	-
		割合(%)	100	64	6	29	-	0	0	-	0	-	-	-	-
	中央区	総数	1,903	1,341	109	443	1	3	4	1	-	-	1	-	-
		割合(%)	100	70	6	23	0	0	0	0	-	-	0	-	-
		割合(%)	100	70	6	23	0	0	0	0	-	-	0	-	-
	南区	総数	2,023	1,450	142	412	-	6	7	3	3	-	-	-	-
		割合(%)	100	72	7	20	-	0	0	0	0	-	-	-	-
		割合(%)	100	72	7	20	-	0	0	0	0	-	-	-	-

割合は出生総数に対する構成割合である。

(3) 妊娠期間別出生児数

	総数	28週未満	28～31週	32～35週	36～39週	40～43週	不詳	再掲						
								早期満28週	37週未満	28～32週	37～42週	正期	過期	
H27年	総数	5,475	14	27	134	3,673	1,627	-	2	27	283	5,140	11	
	男	2,919	8	16	71	1,997	827	-	2	16	154	2,734	7	
	女	2,556	6	11	63	1,676	800	-	-	11	129	2,406	4	
H28年	総数	5,196	14	23	121	3,437	1,600	1	14	23	276	4,872	10	
	男	2,633	9	13	65	1,763	783	0	9	13	142	2,465	4	
	女	2,563	5	10	56	1,674	817	1	5	10	134	2,407	6	
H29年	総数	5,045	10	32	109	3,450	1,441	3	10	32	227	4,766	7	
	男	2,527	2	21	59	1,769	675	1	2	21	123	2,375	5	
	女	2,518	8	11	50	1,681	766	2	8	11	104	2,391	2	
再掲	緑区	総数	1,119	4	4	19	768	323	1	4	4	45	1,063	2
		男	563	1	3	8	410	141	-	1	3	25	533	1
		女	556	3	1	11	358	182	1	3	1	20	530	1
	中央区	総数	1,903	1	14	47	1,264	576	1	1	14	95	1,787	5
		男	952	-	8	28	645	270	1	-	8	49	890	4
		女	951	1	6	19	619	306	-	1	6	46	897	1
	南区	総数	2,023	5	14	43	1,418	542	1	5	14	87	1,916	0
		男	1,012	1	10	23	714	264	-	1	10	49	952	-
		女	1,011	4	4	20	704	278	1	4	4	38	964	-

再掲は週数不詳を含んでいない。

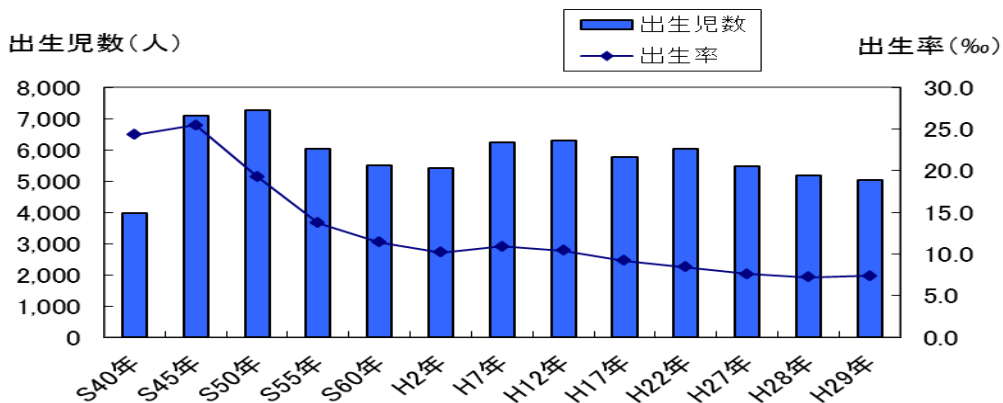
(4) 母の年齢階級別出生児数

		総数	15歳未満	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	
H27年	総数	5,475	-	80	463	1,362	1,964	1,305	299	2	
	男	2,919	-	37	248	735	1,017	716	166	-	
	女	2,556	-	43	215	627	947	589	133	2	
H28年	総数	5,196	1	58	436	1,251	1,860	1,276	306	8	
	男	2,633	-	29	221	642	921	647	166	7	
	女	2,563	1	29	215	609	939	629	140	1	
H29年	総数	5,045	1	61	425	1,252	1,869	1,151	280	6	
	男	2,527	1	26	210	646	932	563	145	4	
	女	2,518	-	35	215	606	937	588	135	2	
再掲	緑区	総数	1,119	-	15	93	284	420	250	57	-
		男	563	-	8	49	146	206	122	32	-
		女	556	-	7	44	138	214	128	25	-
	中央区	総数	1,903	1	27	203	482	676	410	101	3
		男	952	1	12	103	254	332	193	54	3
		女	951	-	15	100	228	344	217	47	-
	南区	総数	2,023	-	19	129	486	773	491	122	3
		男	1,012	-	6	58	246	394	248	59	1
		女	1,011	-	13	71	240	379	243	63	2

(5) 体重別出生児数

		総数	0～499g	500～999g	1,000～1,499g	1,500～1,999g	2,000～2,499g	2,500～2,999g	3,000～3,499g	3,500～3,999g	4,000～4,499g	4,500～4,999g	不詳	
H27年	総数	5,475	-	13	22	79	462	2,156	2,209	500	32	2	-	
	男	2,919	-	7	14	34	207	1,051	1,261	322	21	2	-	
	女	2,556	-	6	8	45	255	1,105	948	178	11	-	-	
H28年	総数	5,196	-	16	23	66	413	2,087	2,108	446	31	5	1	
	男	2,633	-	10	9	26	179	922	1,171	290	21	5	-	
	女	2,563	-	6	14	40	234	1,165	937	156	10	-	1	
H29年	総数	5,045	2	12	24	69	397	2,004	2,059	450	25	2	1	
	男	2,527	-	4	13	36	175	906	1,092	284	16	1	-	
	女	2,518	2	8	11	33	222	1,098	967	166	9	1	1	
再掲	緑区	総数	1,119	-	3	7	9	91	439	462	104	4	-	-
		男	563	-	-	5	4	36	205	247	63	3	-	-
		女	556	-	3	2	5	55	234	215	41	1	-	-
	中央区	総数	1,903	-	1	9	33	166	752	769	161	9	2	1
		男	952	-	-	4	17	72	325	430	98	5	1	-
		女	951	-	1	5	16	94	427	339	63	4	1	1
	南区	総数	2,023	2	8	8	27	140	813	828	185	12	-	-
		男	1,012	-	4	4	15	67	376	415	123	8	-	-
		女	1,011	2	4	4	12	73	437	413	62	4	-	-

(6) 出生児数と出生率の推移



3 死亡

(1) 性別及び月別死亡者数

		計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
H27年	総数	5,655	636	449	479	473	453	418	444	417	438	496	457	495	
	男	3,151	365	240	264	263	254	235	251	222	234	283	257	283	
	女	2,504	271	209	215	210	199	183	193	195	204	213	200	212	
H28年	総数	5,611	552	470	455	427	442	389	421	441	458	485	504	567	
	男	3,108	297	257	255	249	230	221	228	247	261	273	275	315	
	女	2,503	255	213	200	178	212	168	193	194	197	212	229	252	
H29年	総数	6,073	647	519	511	485	469	442	453	501	453	494	523	576	
	男	3,383	363	285	298	278	253	233	266	280	247	272	288	320	
	女	2,690	284	234	213	207	216	209	187	221	206	222	235	256	
再掲	緑区	総数	1,504	164	126	114	129	132	120	113	119	102	129	123	133
		男	843	86	76	65	72	79	62	67	70	56	63	63	84
		女	661	78	50	49	57	53	58	46	49	46	66	60	49
	中央区	総数	2,261	244	186	192	195	160	153	171	193	183	183	197	204
		男	1,292	147	96	116	112	82	80	106	106	100	112	122	113
		女	969	97	90	76	83	78	73	65	87	83	71	75	91
	南区	総数	2,308	239	207	205	161	177	169	169	189	168	182	203	239
		男	1,248	130	113	117	94	92	91	93	104	91	97	103	123
		女	1,060	109	94	88	67	85	78	76	85	77	85	100	116

(2) 性別及び年齢階級別死亡者数

	H29年			再掲								
	総数	男	女	緑区			中央区			南区		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総数	6,073	3,383	2,690	1,504	843	661	2,261	1,292	969	2,308	1,248	1,060
1歳未満	13	4	9	1	1	-	4	1	3	8	2	6
再掲)1歳未満	4	-	-	-	-	-	1	1	-	3	-	3
再掲)1~4歳未満	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
1歳	3	3	-	-	-	-	1	1	-	2	2	-
2歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3歳	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-
4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9歳	3	2	1	-	-	-	1	1	-	2	1	1
10~14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19歳	6	3	3	3	2	1	3	1	2	-	-	-
20~24歳	15	10	5	3	3	-	5	5	-	7	2	5
25~29歳	19	13	6	5	2	3	4	4	-	10	7	3
30~34歳	24	17	7	5	2	3	11	9	2	8	6	2
35~39歳	29	16	13	7	5	2	11	9	2	11	2	9
40~44歳	65	46	19	13	7	6	25	20	5	27	19	8
45~49歳	88	54	34	19	13	6	32	19	13	37	22	15
50~54歳	123	86	37	30	16	14	54	40	14	39	30	9
55~59歳	159	110	49	40	26	14	56	41	15	63	43	20
60~64歳	231	173	58	72	54	18	91	69	22	68	50	18
65~69歳	479	325	154	123	82	41	189	129	60	167	114	53
70~74歳	664	433	231	181	122	59	255	175	80	228	136	92
75~79歳	858	563	295	207	133	74	323	217	106	328	213	115
80歳以上	3,292	1,523	1,769	795	375	420	1,194	549	645	1,303	599	704
不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(3) 乳児死亡

ア 乳児死亡数・死因

死因	H27年			H28年			H29年		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
敗血症	1	-	1	2	1	1	1	1	-
代謝障害	-	-	-	1	-	1	-	-	-
その他の神経系の疾患	1	1	-	-	-	-	-	-	-
その他の呼吸器系の疾患	1	1	-	-	-	-	-	-	-
その他の消化器系の疾患	-	-	-	-	-	-	1	1	-
妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	-	-	-	1	1	-	-	-	-
出生時仮死	-	-	-	2	-	2	-	-	-
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	4	3	1	-	-	-	1	-	1
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	-	-	-	1	-	1	1	-	1
その他の周産期に発生した病態	-	-	-	1	-	1	1	-	1
心臓の先天奇形	-	-	-	-	-	-	1	-	1
その他の循環器系の先天奇形	-	-	-	-	-	-	1	-	1
呼吸器系の先天奇形	-	-	-	1	1	-	-	-	-
神経系の先天奇形	1	-	1	-	-	-	-	-	-
その他の先天奇形及び変形	-	-	-	-	-	-	1	1	-
染色体異常，他に分類されないもの	2	2	-	3	-	3	2	-	2
乳幼児突然死症候群	-	-	-	1	1	-	-	-	-
その他のすべての疾患	2	2	-	2	2	-	3	1	2
その他の外因	1	1	-	-	-	-	-	-	-
総計	13	10	3	15	6	9	13	4	9

イ 乳児死亡率の年次推移

	S40年	S45年	S50年	S55年	S60年	H2年	H7年	H12年	H17年	H22年	H27年	H28年	H29年
全国	18.5	13.1	10.0	7.5	5.5	4.6	4.3	3.2	2.8	2.3	1.9	2.0	1.9
神奈川県	14.3	10.9	8.8	7.2	5.1	4.5	4.5	3.4	3.1	2.6	1.9	2.1	2.3
相模原市	13.6	10.6	8.4	7.0	6.0	5.0	4.5	5.1	3.1	3.0	2.4	2.9	2.6

乳児死亡率は出生千対です。

全国の乳児死亡率は、厚生労働省の人口動態統計より

(4) 主要死因の年齢階級別死亡順位

平成 29 年

(単位：人)

	総数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
総数	6,073	悪性 新生物	心疾患 (高血圧 性を除 く)	脳血管 疾患	老衰	肺炎	その他の 呼吸器系 の疾患	不慮の 事故	自殺	その他の 消化器系 の疾患	腎不全
		1,770	1,005	493	396	380	334	202	124	106	98
0～9歳	21	その他の症 状・徴候及び 異常臨床所 見・異常検査 所見で他に分 類されないもの 3	その他神経系の疾 患、循環器系の先 天奇形、染色体異 常・他に分類され ないもの 各2	腸管感染症、敗血症、悪性新生物、脳血管出血、肺炎、その他消化 器系の疾患、周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害、胎児及び 新生児の出血性障害及び血液障害、その他の周産期に発生した病 態、神経系の先天奇形、その他の先天奇形及び変形、不慮の事故 各1							
10～19歳	6	不慮の 事故 2	悪性新生物、その他の神経系の疾患、 自殺、その他の外因 各1								
20～29歳	34	自殺 13	悪性新生物、 不慮の事故 各4	その他の 神経系 の疾患 3	脳血管疾患、 その他の外因 各2	その他の新生物、その他の呼吸器系の 疾患、肝疾患、その他の腎尿路生殖 器系疾患、妊娠・分娩及び産じょく、消 化器系の先天奇形 各1					
30～39歳	53	自殺 19	悪性 新生物 14	心疾患 (高血圧 性を除 く) 5	その他の 神経系 の疾患 3	糖尿病、その他の精神及び行動の障害、脳血管疾患、その他の循 環器系の疾患、慢性閉塞性肺疾患、その他の呼吸器系の疾患、肝 疾患、 筋骨格系及び結合組織の疾患、糸球体疾患及び腎尿管間質性疾 患、その他の症状・徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に 分類されないもの、不慮の事故、他殺 各1					
40～49歳	153	悪性 新生物 46	自殺 28	心疾患 (高血圧 性を除 く) 21	脳血管 疾患 15	肝疾患 9	不慮の 事故 6	その他 の新生物 5	その他の呼吸器系の疾患、その 他の症状・徴候及び異常臨床所 見・異常検査所見で他に分類さ れないもの、その他の外因 各3		
50～59歳	282	悪性 新生物 108	心疾患 (高血圧 性を除 く) 38	脳血管 疾患 34	自殺 28	肝疾患 17	不慮の 事故 10	その他の呼吸器系 の疾患、その他の 外因 各6		その他の神経系の疾患、 肺炎、その他の症状・徴 候及び異常臨床所見・異 常検査所見で他に分類さ れないもの 各5	
60～69歳	710	悪性 新生物 321	心疾患 (高血圧 性を除 く) 100	脳血管 疾患 53	肝疾患 31	肺炎 23	自殺 19	その他 の呼吸器系 の疾患 18	不慮の 事故 16	その他の症 状・徴候及び 異常臨床所 見・異常検査 所見で他に分 類されないもの 13	大動脈瘤 及び解離 12
70～79歳	1,522	悪性 新生物 601	心疾患 (高血圧 性を除 く) 240	脳血管 疾患 116	その他 の呼吸器系 の疾患 89	肺炎 77	不慮の 事故 55	慢性閉塞 性肺疾患 33	その他 の神経系 の疾患 29	大動脈瘤 及び解離 26	肝疾患 24
80歳以上	3,292	悪性 新生物 674	心疾患 (高血圧 性を除 く) 601	老衰 383	肺炎 273	脳血管 疾患 271	その他 の呼吸器系 の疾患 216	不慮の 事故 107	腎不全 78	その他 の消化器系 の疾患 77	慢性閉塞 性肺疾患 66

下位の順位で、同数人数の者が多い場合は省略しています。

(5)死因順位の年次推移

(単位:人(%))

	総数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	
昭和40年	752 (100.0)	中枢神経系の血管損傷 170 (22.6)	悪性新生物 132 (17.6)	心疾患 62 (8.2)	老衰 42 (5.6)	交通事故 41 (5.5)	肺炎 28 (3.7)	新生児の感染+その他新生児固有の疾患 26 (3.5)	結核 22 (2.9)	不慮の事故(交通事故を除く) 21 (2.8)	高血圧性疾患 15 (2.0)	
昭和50年	1,242 (100.0)	脳血管疾患 269 (21.7)	悪性新生物 259 (20.9)	心疾患 153 (12.3)	肺炎 59 (4.8)	交通事故 42 (3.4)	不慮の事故(交通事故を除く) 38 (3.1)	自殺 37 (3.0)	高血圧性疾患 35 (2.8)	老衰 33 (2.7)	肝疾患 28 (2.2)	
昭和60年	1,786 (100.0)	悪性新生物 487 (27.3)	心疾患 351 (19.7)	脳血管疾患 323 (18.1)	肺炎 112 (6.3)	自殺 77 (4.3)	肝疾患 56 (3.1)	不慮の事故(交通事故を除く) 41 (2.3)	交通事故 39 (2.2)	高血圧性疾患 29 (1.6)	老衰 28 (1.6)	
平成7年	2,462 (100.0)	悪性新生物 774 (31.4)	心疾患 365 (14.8)	脳血管疾患 362 (14.7)	肺炎 186 (7.6)	不慮の事故(交通事故を除く) 71 (2.9)	自殺 63 (2.6)	その他の呼吸器系の疾患 57 (2.3)	肝疾患 55 (2.2)	交通事故 48 (1.9)	腎不全 31 (1.4)	
平成17年	3,442 (100.0)	悪性新生物 1,179 (34.3)	心疾患(高血圧性を除く) 584 (17.0)	脳血管疾患 375 (10.9)	肺炎 319 (9.3)	自殺 121 (3.5)	不慮の事故 109 (3.2)	その他の呼吸器系の疾患 98 (2.8)	肝疾患 60 (1.7)	その他の消化器系の疾患 54 (1.6)	老衰 52 (1.5)	
平成27年	5,655 (100.0)	悪性新生物 1,769 (31.3)	心疾患(高血圧性を除く) 940 (16.6)	肺炎 508 (9.0)	脳血管疾患 482 (8.5)	老衰 343 (6.1)	その他の呼吸器系の疾患 307 (5.4)	不慮の事故 144 (2.5)	自殺 138 (2.4)	その他の消化器系の疾患 100 (1.8)	肝疾患 85 (1.5)	
平成28年	5,611 (100.0)	悪性新生物 1,757 (31.3)	心疾患(高血圧性を除く) 942 (16.8)	肺炎 462 (8.2)	脳血管疾患 453 (8.1)	老衰 335 (6.0)	その他の呼吸器系の疾患 286 (5.1)	不慮の事故 142 (2.5)	自殺 98 (1.7)	腎不全 95 (1.7)	その他の消化器系の疾患 89 (1.6)	
平成29年	6,073 (100.0)	悪性新生物 1,770 (29.1)	心疾患(高血圧性を除く) 1,005 (16.5)	脳血管疾患 493 (8.1)	老衰 396 (6.5)	肺炎 380 (6.3)	その他の呼吸器系の疾患 334 (5.5)	不慮の事故 202 (3.3)	自殺 124 (2.0)	慢性閉塞性肺疾患 109 (1.8)	その他の消化器系の疾患 106 (1.7)	
再掲	緑区	1,504 (100.0)	悪性新生物 447 (29.7)	心疾患(高血圧性を除く) 243 (16.2)	老衰 116 (7.7)	脳血管疾患 103 (6.8)	その他の呼吸器系の疾患 84 (5.6)	肺炎 73 (4.9)	不慮の事故 49 (3.3)	慢性閉塞性肺疾患 31 (2.1)	腎不全 31 (2.1)	肝疾患 30 (2.0)
	中央区	2,261 (100.0)	悪性新生物 640 (28.3)	心疾患(高血圧性を除く) 397 (17.6)	脳血管疾患 188 (8.3)	肺炎 154 (6.8)	老衰 147 (6.5)	その他の呼吸器系の疾患 132 (5.8)	不慮の事故 64 (2.8)	自殺 47 (2.1)	慢性閉塞性肺疾患 41 (1.8)	肝疾患 37 (1.6)
	南区	2,308 (100.0)	悪性新生物 683 (29.6)	心疾患(高血圧性を除く) 365 (15.8)	脳血管疾患 202 (8.8)	肺炎 153 (6.6)	老衰 133 (5.8)	その他の呼吸器系の疾患 118 (5.1)	不慮の事故 89 (3.9)	自殺 53 (2.3)	その他の消化器系の疾患 44 (1.9)	慢性閉塞性肺疾患 37 (1.6)

(カッコ内は当該年度全死因に占める割合(%))

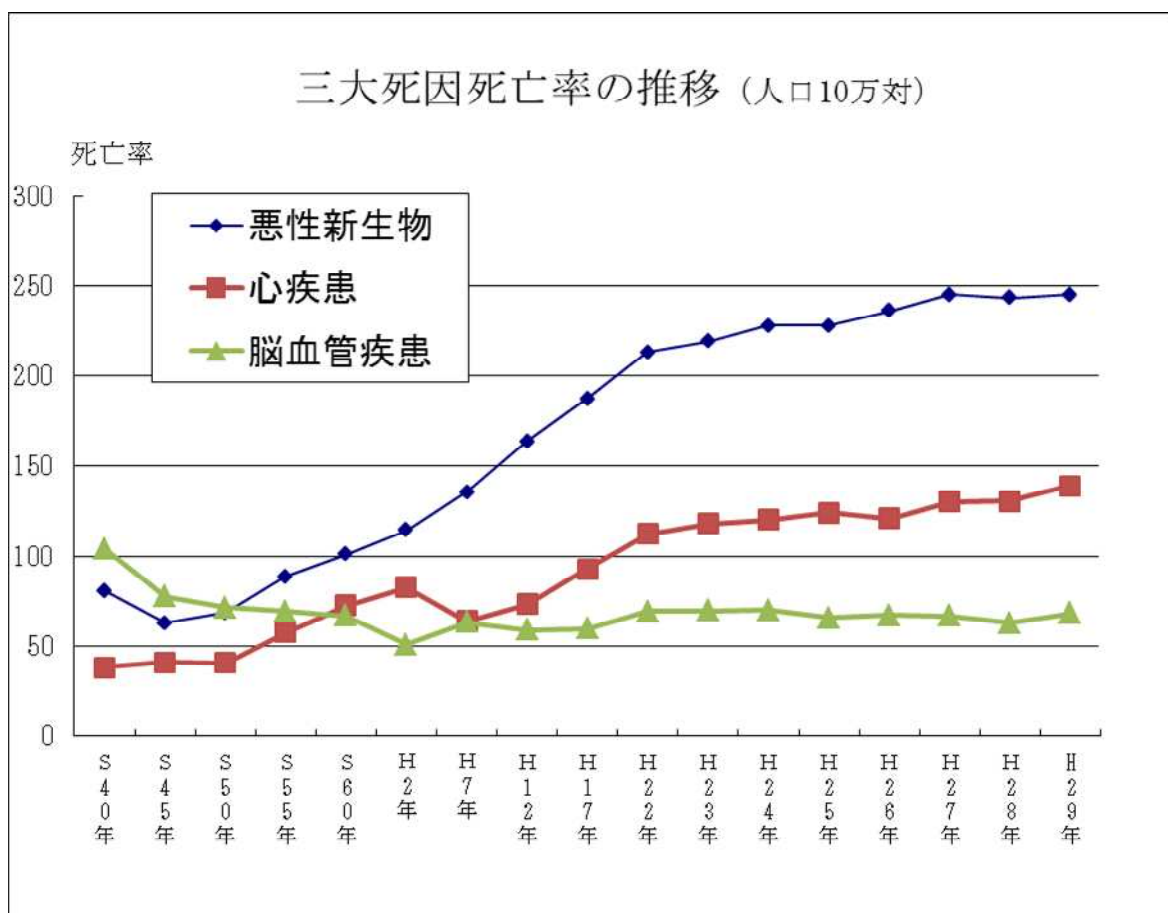
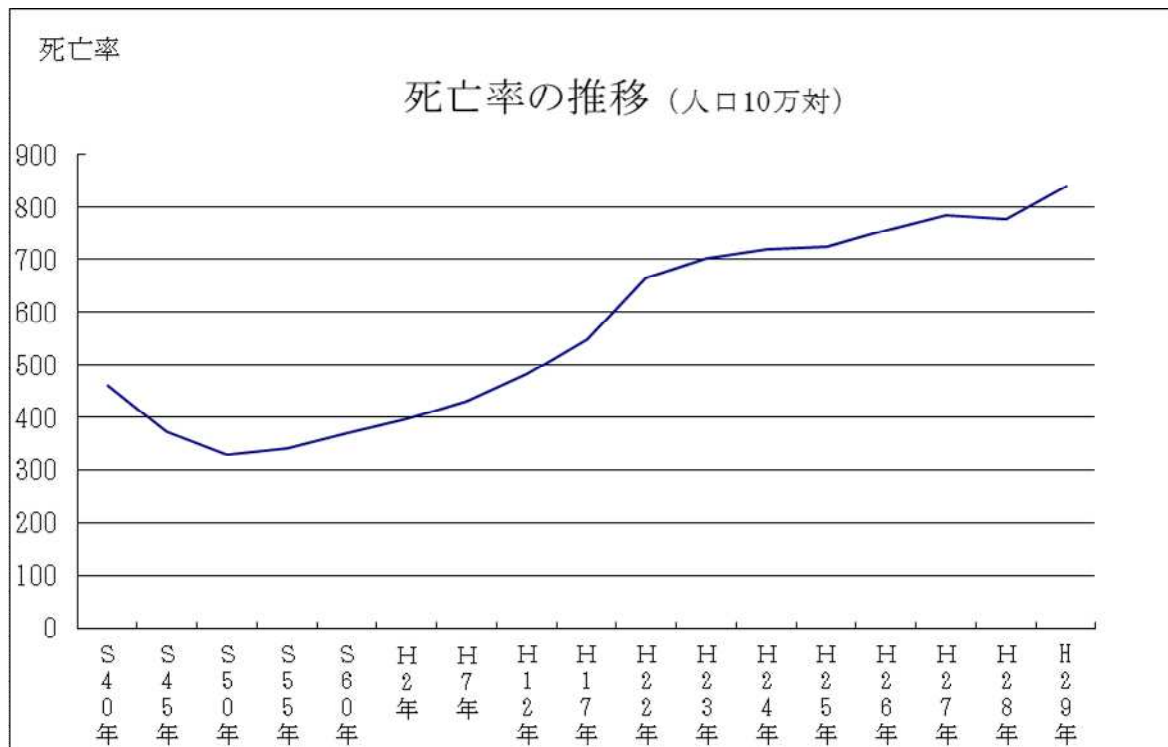
(6) 主要死因の年次推移

	総数	悪性新生物		心疾患(高血圧性を除く)		脳血管疾患		肺炎		肝疾患	
	死亡率	死亡者数	率	死亡者数	率	死亡者数	率	死亡者数	率	死亡者数	率
昭和40年	460.3	132	80.8	62	37.9	170	104.1	28	17.1	7	4.3
45年	372.2	175	62.9	114	41.0	216	77.6	57	20.5	25	9.0
50年	329.1	259	68.6	153	40.5	269	71.3	59	15.6	33	8.7
55年	340.8	389	88.6	253	57.6	304	69.2	46	10.5	46	10.5
60年	369.9	487	100.9	351	72.7	323	66.9	112	23.2	56	11.6
平成2年	397.5	609	114.6	438	82.4	270	50.8	179	33.7	71	13.4
7年	431.5	774	135.6	365	64.0	362	63.4	186	32.6	55	9.6
12年	483.8	993	164.0	444	73.3	358	59.1	219	36.2	65	10.7
17年	547.5	1,179	187.5	584	92.9	375	59.6	319	50.7	60	9.5
22年	666.2	1,529	213.1	806	112.3	498	69.4	416	58.0	91	12.7
27年	784.6	1,769	245.4	940	130.4	482	66.9	508	70.5	85	11.8
28年	777.6	1,757	243.5	942	130.6	453	62.8	462	64.0	81	11.2
29年	841.0	1,770	245.1	1,005	139.2	493	68.3	380	52.6	102	14.1
再掲 緑区	872.1	447	259.2	243	140.9	103	59.7	73	42.3	30	17.4
中央区	832.9	640	235.7	397	146.2	188	69.3	154	56.7	37	13.6
南区	829.6	683	245.5	365	131.2	202	72.6	153	55.0	35	12.6

	腎不全		糖尿病		老衰		自殺		交通事故		不慮の事故 (交通事故を除く)	
	死亡者数	率	死亡者数	率	死亡者数	率	死亡者数	率	死亡者数	率	死亡者数	率
昭和40年	8	4.9	8	4.9	42	25.7	15	9.2	41	25.1	21	12.9
45年	22	7.9	4	1.4	41	14.7	29	10.4	74	26.6	22	7.9
50年	12	3.2	15	4.0	35	9.3	38	10.1	42	11.1	38	10.1
55年	20	4.6	18	4.1	42	9.6	49	11.2	38	8.7	33	7.5
60年	23	4.8	17	3.5	28	5.8	77	15.9	39	8.1	41	8.5
平成2年	29	5.5	22	4.1	24	4.5	53	10.0	53	10.0	42	7.9
7年	34	6.0	28	4.9	27	4.7	63	11.0	48	8.4	71	12.4
12年	39	6.4	26	4.3	31	5.1	152	25.1	40	6.6	55	9.1
17年	48	7.6	22	3.5	52	8.3	121	19.2	32	5.1	77	12.2
22年	68	9.5	57	7.9	130	18.1	139	19.4	31	4.3	111	15.5
27年	72	10.0	54	7.5	343	47.6	138	19.1	20	2.8	124	17.2
28年	95	13.2	53	7.3	335	46.4	98	13.6	13	1.8	129	17.9
29年	98	13.6	66	9.1	396	54.8	124	17.2	19	2.6	183	25.3
再掲 緑区	31	18.0	19	11.0	116	67.3	24	13.9	4	2.3	45	26.1
中央区	33	12.2	24	8.8	147	54.1	47	17.3	6	2.2	58	21.4
南区	34	12.2	23	8.3	133	47.8	53	19.0	9	3.2	80	28.8

() 1 死亡率、率は人口 10 万対です。

2 死因分類が平成 7 年分から改正されたことにより、年次別比較では完全に同一の内容の比較ができません。なお、表頭の死因名等は現行の死因分類によるものです。



(7) 死因別・性別・年齢階級別死亡者数

平成 29 年

死因 / 年齢階級	0 ~ 4	5 ~ 9	10 ~ 14	15 ~ 19	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 ~ 84	85 ~ 89	90 ~ 94	95 ~ 99	100 以上	不 詳	総計
感染症及び寄生虫症	男	2								1		3	2	4	8	7	15	6	5				53
	女											1		4	3	11	7	9	7	2			44
腸管感染症	男	1																					1
	女															1	1						2
結核	男											1			1				1				3
	女																		1	1			2
呼吸器結核	男											1			1								3
	女																		1	1			2
その他の結核	男																						0
	女																						0
敗血症	男	1											1	3	4	3	12	3	2				29
	女													2	2	2	3	4	4	2			19
ウイルス性肝炎	男									1		2		1	1	1	2		1				9
	女											1		1		6	2	1	1				12
B型ウイルス性肝炎	男													1	1		1						3
	女																						1
C型ウイルス性肝炎	男								1		2					1	1		1				6
	女										1					6	2	1	1				11
その他のウイルス性肝炎	男																						0
	女																						0
ヒト免疫不全ウイルス(HIV)病	男												1		2	3	1	3	1				11
その他の感染症及び寄生虫症	女													1	1	2	1	3	1				9
新生物	男		1	1	2	1	1	2	12	10	23	44	72	152	189	213	202	127	51	8	1		1112
	女			1	1	3	8	8	21	16	26	27	76	100	112	117	105	63	24	2			710
悪性新生物	男	1		1	1	1	2	10	8	23	44	71	148	186	208	195	124	48	8				1080
	女			1	1	3	8	8	20	16	25	26	76	97	110	114	101	60	22	2			690
口唇、口腔及び咽喉頭の悪性新生物	男									1	1	2	3	1	2	3	3	1	1				18
	女								1				1	3	4	1	1	1					12
食道の悪性新生物	男							2		3	2	1	4	6	16	6	1	2					43
	女										2	1	1	1	2								7
胃の悪性新生物	男					1		2	2	5	12	14	33	29	29	21	5	2					155
	女						1	1	1	4	11	5	7	9	8	6	6						59
結腸の悪性新生物	男							2		7	2	13	18	18	15	10	6	1					92
	女			1		1		2	1	1	4	7	12	9	18	11	9	4					80
直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	男					1	3	3	2	5	12	12	11	4	4	1							58
	女						1	2	1	1	2	5	5	2	4				1				24
肝及び肝内胆管の悪性新生物	男										4	6	9	6	7	16	9	4					61
	女										1	1	7	6	8	10	1	1					35
胆のう及びその他の胆道の悪性新生物	男								1	2	2	5	3	12	11	2	3						41
	女								2			5	3	10	9	7	4	2					42
膵の悪性新生物	男							1	2	4	7	15	14	16	13	8	2	2					84
	女							1	1	2	3	3	14	12	13	14	6	2					71
喉頭の悪性新生物	男															1							1
	女																						0
気管、気管支及び肺の悪性新生物	男						2	7	11	21	40	54	52	57	30	12							286
	女								3	2	12	18	18	16	16	9	1						95
皮膚の悪性新生物	男													1			1	2					4
	女						1										1	1	1				4
乳房の悪性新生物	男														1								1
	女					1	2	1	8	5	6	7	11	12	8	11	6	5	1	1			85
子宮の悪性新生物	女					1	3	1	1	2	1	2	1	1	3	4	5	3					28
卵巣の悪性新生物	女					1	1	2	3	3	3	7	3	3	3	3	1	1					31
前立腺の悪性新生物	男									1	2	5	9	11	11	10	2	1					52
膀胱の悪性新生物	男							1			1	4	2			5	7	1					21
	女											1	1	1	1	2	1	4					10
中枢神経系の悪性新生物	男						2					1	2	1	1								7
	女							1		1		1	1	1	1								6
悪性リンパ種	男			1								3	4	5	6	11	4	4	2	1			42
	女								1					3	3	3	3	3	1				17
白血病	男				1	1					1			5	3	5	7	2	1				26
	女										1			2	2	2	1	1	1				10

死因 / 年齢階級			0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	不詳	総計	
			~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	~	以上			
その他のリンパ(組織、造血組織及び関連組織)の悪性新生物	男															4		1	1	1					7	
	女																		4	1	1					6
その他の悪性新生物	男		1							1	2	1	2	2	5	8	16	15	12	12	4					81
	女							1	1		1	2		1	3	7	6	13	9	11	8	4	1			68
その他の新生物	男					1					2	2			1	4	3	5	7	3	3		1			32
	女										1			1	1	3	2	3	4	3	2					20
中枢神経系のその他の新生物	男										1				1	1										3
	女													1					3							4
中枢神経系を除くその他の新生物	男					1					1	2				3	3	5	7	3	3		1			29
	女											1			1		3	2		4	3	2				16
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	男										1					1	4				1					7
	女										1				1	2		2	2	1	6					13
貧血	男															1	2									3
	女										1						2		1	1	6					11
その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	男										1						2					1				4
	女														1				1							2
内分泌、栄養及び代謝疾患	男									1	2	1	1	2	8	7	8	12	7	6	2					57
	女										1	1	1	1	4	7	7	7	14	10	7	3				56
糖尿病	男									1	2			1	2	5	4	3	6	5	3					32
	女													1	1	4	4	4	7	8	3	2				34
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	男											1	1		3	3	5	6	2	3	2					25
	女									1	1					3	3	7	7	2	4	1				22
精神及び行動の障害	男									1			1	1	2	1	7	12	6	1						33
	女														1		2	3	8	14	3	1				32
血管性及び詳細不明の認知症	男														1		2	1	6	12	6	1				29
	女															1		2	3	8	14	3	1			32
その他の精神及び行動の障害	男									1			1						1							4
	女																									0
神経系の疾患	男	2				1		2		2		1	5	1	5	5	15	22	23	15	7	1				107
	女							1	1						2	5	8	12	11	19	17	5	2			83
髄膜炎	男															1										1
	女																1									1
脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	男													1			1	2	1							5
	女																3	2	1	2						8
パーキンソン病	男																6	6	8	2	3					25
	女															2	2	1	7	4			1			17
アルツハイマー病	男													1	2	2	2	7	9	2	1					26
	女													1	2		1	5	7	10	5	1				32
その他の神経系の疾患	男	2				1		2		2		1	5		4	2	6	12	7	4	2					50
	女							1	1						1	1	4	7	4	3	3					25
眼及び付属器の疾患	男																									0
	女																									0
耳及び乳様突起の疾患	男																									0
	女																									0
循環器系の疾患	男									5	2	10	21	30	35	48	79	105	146	162	132	79	19	4		878
	女										1	1	4	9	5	10	34	63	78	117	181	157	84	11		759
高血圧性疾患	男												1	1	1	1	4	2		3	2					15
	女																	1	1	5	2	6				15
高血圧性心疾患及び心腎疾患	男												1		1	1	2	2		1	1					9
	女																	1	1	5	1	5				13
その他の高血圧性疾患	男													1						2	1					6
	女																			2	1	1				2
心疾患(高血圧性を除く)	男							3	2	6	12	14	20	25	53	61	83	97	79	54	16	3			528	
	女									3		2	2	2	20	44	52	76	116	101	55	4			477	
慢性リウマチ性心疾患	男														1		1	2		1		1				6
	女																1		1	1						3
急性心筋梗塞	男									4	4	7	8	9	11	13	8	11	4	1						80
	女										1		1	5	9	9	5	10	1	3	1					45
その他の虚血性心疾患	男								1	2	1	4	5	5	7	17	19	34	28	15	12	2	1			153
	女												1			7	13	19	23	33	21	6				123
慢性非リウマチ性心内膜疾患	男										1					2			3	6	6	2				20
	女															1	1		7	8	10	4				31
心筋症	男										1				1	3	4			1						10
	女															2	1	2	1							8
不整脈及び伝導障害	男															3			2	10	6	5	1			27
	女																	1	2	6	9	6	1			25

死因 / 年齢階級			0	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	不詳	総計
			~4	~9	~14	~19	~24	~29	~34	~39	~44	~49	~54	~59	~64	~69	~74	~79	~84	~89	~94	~99	以上		
心不全	男								2		4	3	5	7	7	17	24	29	47	38	26	9	2		220
	女										3			2	1	4	19	21	36	55	60	36	2		239
その他の心疾患	男													1	1	2	2	3	1	1	1				12
	女															1			1	1					3
脳血管疾患	男			1				1		3	8	13	14	18	20	30	49	48	43	19	3				270
	女					1	1			1	3	5	2	6	9	16	21	35	51	45	21	6		6	223
くも膜下出血	男										2	6	3	3	3	3	3								23
	女										1	3	1	4	3	4	6	5	6	3	2				38
脳内出血	男		1					1		3	3	6	11	11	8	11	16	17	11	5					104
	女					1	1			2	1	1	1	4	5	5	11	13	14	2					61
脳梗塞	男									3	1		4	9	15	30	31	31	14	3					141
	女									1		1		1	2	7	9	19	31	28	16	6			121
その他の脳血管疾患	男																1			1					2
	女																	1		1			1		3
大動脈瘤及び解離	男										1	1			3	4	9	11	16	6	2		1		54
	女										1		1	1	1	4	2	4	3	7	5	2			30
その他の循環器系の疾患	男							1		1		1			1	1	1	1	1	1	2				11
	女											2		1	1	1		2	2	4			1		14
呼吸器系の疾患	男	1					1	1	1	1	1	5	4	5	27	54	95	118	123	74	14				525
	女									2	2	1	4	5	9	22	32	61	64	74	31	9			316
インフルエンザ	男																	2	1	1	1				5
	女																	1	1	1	3	1			7
肺炎	男	1										2	1	2	16	17	35	47	62	27	10				220
	女									1		1	1	1	4	11	14	29	36	40	14	8			160
急性気管支炎	男													1					1						2
	女																								0
慢性閉塞性肺疾患	男							1					1		1	15	15	24	16	14					87
	女											2	2	1	2	2	1	3	3	4	2				22
喘息	男																			2					2
	女																		1		1				2
その他の呼吸器系の疾患	男						1		1	1	1	3	2	2	10	22	43	45	42	32	4				209
	女									1			1	3	3	8	16	28	23	27	14	1			125
消化器系の疾患	男	1					1		1	7	2	8	7	11	21	17	22	22	25	6	4				155
	女										1	3	2	3	9	5	10	20	13	19	9	3			97
胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	男																1	2							5
	女																1	1	1		1				4
ヘルニア及び腸閉塞	男											1		1	3	3	4	5	1	1	2				21
	女														1	1		2	4	1	2	3			14
肝疾患	男						1		1	6	2	7	7	9	17	11	7	3	5						76
	女										1	3	3	2	2	4	6	1	4						26
肝硬変 (アルコール性を除く)	男									1	1	3	2	5	8	4	3	1	1						29
	女										1	2			1	1	3	5	1	3					17
その他の肝疾患	男						1		1	5	1	4	5	4	9	7	4	2	4						47
	女										1			3	1	1	1	1		1					9
その他の消化器系の疾患	男	1								1				1	1	2	9	14	17	5	2				53
	女												2		6	1	5	11	8	13	7				53
皮膚及び皮下組織の疾患	男															1	1	1	1	1	1				6
	女																			1			3		4
筋骨格系及び結合組織の疾患	男													1		2	3	2	3						11
	女									1			1		2	2	4	2	6			1			19
腎尿路生殖器系の疾患	男								1				1	3	3	4	10	16	13	10	4				65
	女						1					1	1	2	5	4	18	23	14	15	3				87
糸球体疾患及び 腎尿管間質性疾患	男								1					1	1			2	1	1	1				8
	女																		3	2	4				10
腎不全	男												1	3	1	2	7	13	11	7	3				48
	女													2	3	1	15	11	9	7	2				50
急性腎不全	男																1	1	3						5
	女															1		2	2		3	1			9
慢性腎臓病	男													3	1	1	6	9	8	6	2				36
	女														1	3	1	12	6	7	3	1			34
詳細不明の腎不全	男												1			1		3		1	1				7
	女																	1	3	2	1				7
その他の腎尿路生殖 器系の疾患	男						1					1			1	1	3	1	1	2					9
	女												1		1	1	3	3	9	3	4	1			27
妊娠、分娩及び産じょく	男																								0
	女						1																		1

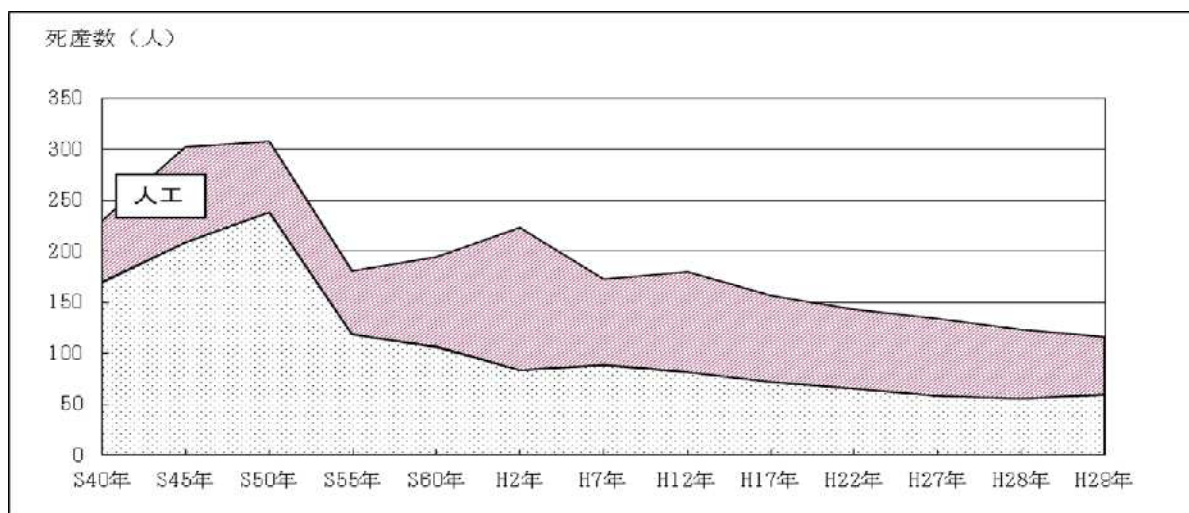
死因 / 年齢階級		0 ~ 4	5 ~ 9	10 ~ 14	15 ~ 19	20 ~ 24	25 ~ 29	30 ~ 34	35 ~ 39	40 ~ 44	45 ~ 49	50 ~ 54	55 ~ 59	60 ~ 64	65 ~ 69	70 ~ 74	75 ~ 79	80 ~ 84	85 ~ 89	90 ~ 94	95 ~ 99	100 以上	不 詳	総計	
周産期に発生した病態	男																								0
	女	3																							3
妊娠期間及び胎児発育に関連する障害	男																								0
	女																								0
出産外傷	男																								0
	女																								0
周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	男																								0
	女	1																							1
周産期に特異的な感染症	男																								0
	女																								0
胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害	男																								0
	女	1																							1
その他の周産期に発生した病態	男																								0
	女	1																							1
先天奇形、変形及び染色体異常	男	2											1												3
	女	4				1								3	1					1					10
神経系の先天奇形	男	1																							1
	女																								0
循環器系の先天奇形	男																1					1			4
	女	2																							4
心臓の先天奇形	男																								0
	女	1														1					1				3
その他の循環器系の先天奇形	男																								0
	女	1																							1
消化器系の先天奇形	男						1								1										0
	女																								2
その他の先天奇形及び変形	男	1											1												2
	女																								0
染色体異常、他に分類されないもの	男														2										0
	女	2																							4
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	1								3		3	6	7	3	4	23	31	30	16	5				132
	女	2					1					2	1	3	4	5	13	56	97	86	43				313
老衰	男												1	3				18	29	29	16	5			104
	女															3	3	13	53	93	84	43			292
乳幼児突然死症候群	男																								0
	女																								0
その他の症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	男	1								3		3	5	4	1	3	5	2	1						28
	女	2					1					2	1	3	1	2		3	4	2					21
傷病及び死亡の外因	男			1	8	8	10	5	15	13	13	10	17	16	22	31	32	27	10	1					239
	女		1	3	3	2	4	4	5	6	8	7	5	12	18	21	26	11	7						143
不慮の事故	男				2	1			4	1	3	2	7	4	15	20	22	24	8						113
	女		1	2	1			1	1		2	3	3	2	8	12	15	23	9	6					89
交通事故	男				2					1	1	1						1							9
	女		1	1	1					1	1	1					2	2							10
転倒・転落・墜落	男								1			1	2		2	3	1	8	2						20
	女									1		1					2	6	3	2					15
不慮の溺死及び溺水	男							2	1			3	2	8	11	12	10	3							52
	女			1			1				1	1	1	6	8	8	6	2	1						36
不慮の窒息	男									2		1			1	1	6	2	1						14
	女													1	2	2	1	5	3	3					17
煙、火及び火災への曝露	男								1							1	1								3
	女																								0
有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露	男					1																			1
	女																								0
その他の不慮の事故	男											1			2	3	3	3	2						14
	女								1			1				2	2	4	1						11
自殺	男				4	7	10	4	11	10	9	7	5	9	4	3	5		1						89
	女			1	2		2	3	3	4	1	4	4	1	2	4	3		1						35
他殺	男							1						1											2
	女																								0
その他の外因	男			1	2					2	1	1	4	3	3	8	5	3	1	1					35
	女										1	3	1		2	2	2	3	3	1	1				19
合計	男	9	2	0	3	10	13	17	16	46	54	86	110	173	325	433	563	635	522	286	70	10	0	3383	
	女	9	1	0	3	5	6	7	13	19	34	37	49	58	154	231	295	399	526	490	277	77	0	2690	
	計	18	3	0	6	15	19	24	29	65	88	123	159	231	479	664	858	1034	1048	776	347	87	0	6073	

4 死産

(1) 妊娠期間別自然・人工死産数

		H27年	H28年	29年	再 掲		
					緑区	中央区	南区
総数	総数	133	122	115	28	42	45
	自然	58	55	59	18	20	21
	人工	75	67	56	10	22	24
20週未満	総数	93	83	72	22	22	28
	自然	31	30	34	15	10	9
	人工	62	53	38	7	12	19
20～23週	総数	24	26	28	4	15	9
	自然	11	14	10	1	5	4
	人工	13	12	18	3	10	5
24～27週	総数	7	-	1	-	-	1
	自然	7	-	1	-	-	1
	人工	-	-	-	-	-	-
28～31週	総数	2	3	5	-	3	2
	自然	2	3	5	-	3	2
	人工	-	-	-	-	-	-
32～35週	総数	4	1	4	-	-	4
	自然	4	1	4	-	-	4
	人工	-	-	-	-	-	-
36～39週	総数	2	4	5	2	2	1
	自然	2	4	5	2	2	1
	人工	-	-	-	-	-	-
40～43週	総数	1	-	-	-	-	-
	自然	1	-	-	-	-	-
	人工	-	-	-	-	-	-
44週以上	総数	-	-	-	-	-	-
	自然	-	-	-	-	-	-
	人工	-	-	-	-	-	-
不詳	総数	-	-	-	-	-	-
	自然	-	-	-	-	-	-
	人工	-	-	-	-	-	-

(2) 死産数の推移



(別 表)

- 1 調査期間は暦年（各年1月から12月まで）です。
- 2 乳児死亡は生後1年未満、新生児死亡は生後4週未満の死亡数です。
- 3 周産期死亡は、早期新生児死亡（生後1週間未満）と後期死産（妊娠満22週以降）を合わせたものです。

(1) 日本における外国人の人口動態

	婚 姻	離 婚	出 生			死 亡		
	総数	総数	総数	男	女	総数	男	女
H27年	14	10	76	42	34	24	14	10
H28年	14	20	104	57	47	24	14	10
H29年	13	4	118	48	70	25	13	12

	乳児死亡			新生児死亡			死 産	周産期死亡
	総数	男	女	総数	男	女	総数	総数
H27年	-	-	-	-	-	-	4	-
H28年	-	-	-	-	-	-	1	-
H29年	-	-	-	-	-	-	4	-

本表における外国人とは次のものをいいます。

出生・死産は両親とも外国籍のもの、または嫡出でない子のうち母の国籍が外国のもの

死亡・乳児死亡は死亡した者が外国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻とも外国籍のもの

平成12年度から平成22年度までの保健所年報の調査客体には本表の数値を含んでいます。

(参 考)

(2) 外国における日本人の人口動態

	婚 姻	離 婚	出 生			死 亡		
	総数	総数	総数	男	女	総数	男	女
H27年	-	-	11	7	4	4	2	2
H28年	-	-	6	5	1	5	4	1
H29年	-	-	15	7	8	4	2	2

本表における日本人とは次のものをいう。

出生は両親または両親の一方が日本国籍のもの

死亡は死亡したものが日本国籍のもの

婚姻・離婚は夫妻または夫妻の一方が日本国籍のもの

5 母体保護

母体保護法 25 条による医師または指定医師が母体保護法に基づいて行った不妊手術や人工妊娠中絶の結果をとりまとめたもので、母体保護に関する緒施策推進のための基礎資料を得ることを目的としています。

- () 1 母体保護法の人工妊娠中絶集計については、医師の住所地を管轄する保健所に提出された報告を元に作成するため、母親の住所地を基準に集計された人口動態の死産統計とは数値が異なります。
2 調査期間は年度(平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月)です。

(1) 不妊手術実施届出件数 母体保護法第 3 条第 1 項

区 分	計	20歳 未 満	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50歳 以 上	不詳
総 数	20	-	1	5	6	7	1	-	-	-
男	第1号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第2号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	第1号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	第2号該当	20	-	1	5	6	7	1	-	-

第 1 号 妊娠または分娩が、母体の生命に危険を及ぼすおそれのあるもの

第 2 号 現に数人の子を有し、かつ、分娩ごとに、母体の健康度を著しく低下するおそれのあるもの

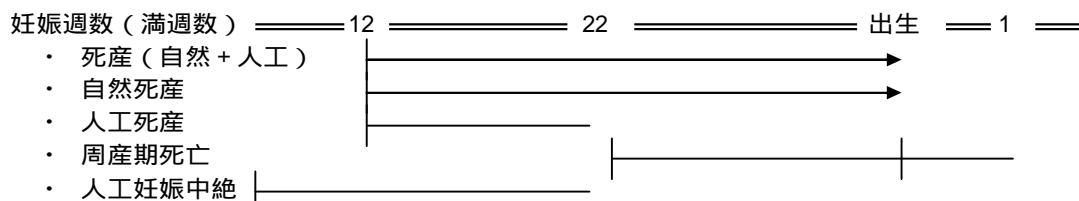
(2) 人工妊娠中絶実施届出件数 母体保護法第 14 条第 1 項

区 分	計	20歳 未 満	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳	50歳 以 上	不詳
総 数	832	75	198	155	172	145	76	11	-	-
満7週 以 前	計	357	22	76	55	83	70	47	4	-
	第1号該当	357	22	76	55	83	70	47	4	-
	第2号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満8週～ 満11週	計	425	47	111	92	76	68	25	6	-
	第1号該当	425	47	111	92	76	68	25	6	-
	第2号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満12週～ 満15週	計	19	2	6	3	4	1	2	1	-
	第1号該当	19	2	6	3	4	1	2	1	-
	第2号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満16週～ 満19週	計	19	4	3	3	5	3	1	-	-
	第1号該当	19	4	3	3	5	3	1	-	-
	第2号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満20週 ・21週	計	12	-	2	2	4	3	1	-	-
	第1号該当	12	-	2	2	4	3	1	-	-
	第2号該当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不 詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第 1 号 妊娠の継続又は分娩が身体的又は経済的理由により母体の健康を著しく害するおそれのあるもの

第 2 号 暴行若しくは脅迫によって又は抵抗若しくは拒絶することができない間に姦淫されて妊娠したもの

(参 考) 人口動態統計における周産期死亡、母体保護統計における妊娠中絶について



母体保護法による人工妊娠中絶について、平成 3 年以降、妊娠満週数は従来の「妊娠満 23 週以前」が「妊娠満 22 週未満」に改められました。は未満を示します。

第 1 6 章

資 料

1 家庭訪問（母子保健・成人保健・感染症・結核・難病）

		職種別延べ件数（ ）は実件数								
		延べ件数	保健師	管理栄養士等	歯科医師	歯科衛生士	社会福祉職	母子訪問相談員等	医師	
合計		11,515 (10,083)	3,706 (2,341)	42 (22)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	7,761 (7,714)	0 (0)	
母 子	妊産婦	4,921 (4,577)	1,038 (704)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3,882 (3,873)	0 (0)	
	新生児	1,375 (1,319)	325 (273)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1,050 (1,046)	0 (0)	
	早期乳児(1～4か月児)	3,453 (3,195)	812 (589)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2,638 (2,604)	0 (0)	
	乳児(5～11か月児)	321 (137)	297 (119)	17 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	7 (7)	0 (0)	
	幼児・他	1,172 (612)	1,133 (585)	17 (5)	3 (3)	3 (3)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	
	未熟児	273 (243)	101 (71)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	168 (168)	0 (0)	
	長期療養児【再掲】	【46】 (24)	【44】 (22)	【0】 (0)	【1】 (1)	【1】 (1)	【0】 (0)	【0】 (0)	【0】 (0)	

		職種別延べ件数（ ）は実件数								
		延べ件数	保健師	管理栄養士等	歯科医師	歯科衛生士	社会福祉職	訪問服薬支援員等	医師	
合計		708 (494)	695 (491)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (03)	0 (0)	
生活習慣病		205 (185)	205 (185)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	
感染症		58 (58)	58 (58)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	
結核		186 (87)	173 (84)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	13 (3)	0 (0)	
難病		259 (164)	259 (164)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)		0 (0)	

2 母子保健・成人保健業務健康相談

(延べ)

	回数		参加者数						処 遇			従事者									
	回数	健康増進法に基づく数(再計)	計	新生児・乳幼児	学童(3歳以下)	妊婦	産婦	40歳以上	健康増進法に基づく数(40歳以上)	計	終 結	経過観察	医師	歯科医師	保健師	理学療法士	管理栄養士等	歯科衛生士	健康運動指導士	保育士	心理相談員
母子計	2,449		5,294	4,935	224	96	32	7	5,294	4,897	397	0	0	2,310	0	139	12	0	351	86	2,553
庁内育児相談	1,952		2,117	2,050	42	18	5	2	2,117	2,047	70	0	0	1,952	0	0	0	0	0	0	0
庁内電話健康相談	(1,464)		1,246	964	181	74	22	5	1,246	1,173	73	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ふれあい親子サロン(育児相談)	297		876	872	0	2	2	0	876	842	34	0	0	297	0	0	0	0	297	0	2,553
ふれあい親子サロン(栄養相談)	91		604	602	0	0	2	0	604	596	8	0	0	0	0	92	0	0	0	0	0
ふれあい親子サロン(歯科相談)	12		92	92	0	0	0	0	92	92	0	0	0	0	0	0	12	0	0	0	0
おやこひだまり相談室	61		219	219	0	0	0	0	219	10	209	0	0	61	0	0	0	0	54	86	0
その他(母子関係健康相談)	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庁内栄養相談	36		140	136	1	2	1	0	140	137	3	0	0	0	0	47	0	0	0	0	0

同時開催を含むため、回数は再掲とし、従事者は「来所相談」に計上した。

	回数		参加者数						処 遇			従事者										
	回数	健康増進法に基づく数(再計)	計	新生児・乳幼児	学童(3歳以下)	妊婦	産婦	40歳以上	健康増進法に基づく数(40歳以上)	計	終 結	経過観察	医師	歯科医師	保健師	理学療法士	管理栄養士等	歯科衛生士	健康運動指導士	保育士	心理相談員	その他
成人計	2,223	1,212	10,127		1,737			8,370	3,677	10,127	10,073	54	15	23	1,480	0	138	33	23	0	0	30
総合健康相談	庁内健康相談	1,952	976	976		85		891	267	976	976	0	0	0	976	0	0	0	0	0	0	0
	庁内電話健康相談 (再掲)	(1,464)	(732)	858		102		756	387	858	856	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	出張健康相談	175	141	7,687		1,381		6,306	2,857	7,687	7,687	0	0	0	393	0	27	0	0	0	0	29
	まつり時健康相談	0	0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般健康相談	5	5	148		148		0	0	148	148	0	15	0	24	0	10	8	0	0	0	0
	その他(成人関係健康相談)	2	2	89		8		81	61	89	89	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	歯周疾患健康相談	48	48	70	20	7		43	23	70	70	0	0	23	0	0	0	25	0	0	0	0
重点健康相談	病態別健康相談(生活習慣改善相談)	23	23	246		1		245	66	246	197	49	0	0	85	0	74	0	23	0	0	1
栄養	庁内栄養相談	18	17	53		5		48	16	53	50	3	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0

同時開催を含むため、回数は再掲とし、従事者は「庁内健康相談」に計上した。

3 母子保健・成人保健業務健康教育

(延べ)

	回数	健康増進法に基づく数(再掲)	参加者数	健康増進法に基づく数(再掲) 64歳~40歳	医師	歯科医師	保健師	管理栄養士等	歯科衛生士	健康運動指導士等	保育士	心理相談員	その他
母子計	472	0	13,448	0	3	67	708	177	141	0	191	52	163
母子	ハロー・マザークラス	38	1,710		0	18	129	19	1		0	0	29
	離乳食教室(スタート、モグモグ編)	62	1,669		0	0	0	124	0		0	0	44
	幼児のよい生活習慣普及啓発事業	14	445		0	0	3	18	0		0	0	0
	親子で歯っぴいちゃれんじ大作戦!	60	1,154		0	0	0	0	120		0	0	60
	ことり教室	106	1,871		0	0	370	0	0		105	52	0
	ぴよぴよサロン	36	291		0	0	48	0	0		12	0	0
	ビーンズクラブ	6	222		0	0	21	0	0		19	0	8
	ママの休み時間	12	63		0	0	24	0	0		36	0	0
	地域・依頼における健康教育	75	5,539		0	0	85	13	0		0	0	9
	慢性疾患児講演会等	3	101		3	0	7	3	0		19	0	3
	赤ちゃんとふれあい体験教室	(1)	(90)		0	0	6	0	0		0	0	4
	マタニティオーラルセミナー	58	362		0	49	11	0	20		0	0	0
	妊娠前教室	2	21		0	0	4	0	0		0	0	6

成人計		244	200	5,091	1,745	5	12	284	77	86	156	4	0	153	
個別	喫煙	31	3	31	26	0	0	31	0	0	0	0	0	0	
集団	歯	普及啓発事業	22	15	662	246	0	9	0	0	26	0	0	0	
		依頼の健康教育(歯科)	8	8	192	23	0	2	0	0	7	0	0	0	
	骨	骨粗しょう症予防事業	6	4	288	135	0	0	25	20	26	0	0	4	
		病態別	生活習慣病予防教室(メタボ関連)	24	24	313	134	0	0	71	34	24	0	4	0
			生活習慣病予防教室(メタボ以外)	7	7	258	70	0	0	20	9	0	0	0	13
	COPDに関する健康教育		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般	こころの健康教室	3	3	122	97	1	0	8	1	2	0	0	1	
		生活習慣病予防運動教室	81	81	1,058	618	0	0	12	0	0	156	0	0	
		地域の健康教育(歯科以外)	3	2	95	28	2	0	13	0	0	0	0	6	
		地域の健康教育(歯科以外)(普及員)	15	14	328	22	0	0	15	0	0	0	0	101	
		普及員養成講座	15	15	93	30	0	0	25	0	0	0	0	11	
		普及員現任研修	10	10	473	59	0	0	21	0	0	0	0	12	
		依頼の健康教育	5	5	97	30	0	0	5	2	0	0	0	0	
その他	その他の健康教育	10	9	558	227	2	1	36	8	1	0	0	0		
	その他の健康教育(増進法外)	4		523		0	0	2	3	0	0	0	5		

4 感染症・難病業務

(1) 健康相談

	開設回数	相談延人数
エ イ ズ 相 談	69	1,035
難病相談(専門医相談等)	6	80

(2) 健康教育

		開設回数	受講者延数
感 染 症	感 染 症	9	245
	結 核	3	223
	エ イ ズ	29	4,645
難 病	講 演 会	6	238
	患 者 と 家 族 の 会	15	146

(3) 所内指導状況

	計	面 接	文 書	電 話
感 染 症	5,254	164	2,721	2,369
難 病	4,927	3,833	93	1,001

5 各種協議会等（再掲）

(1) さがみはら市民健康づくり会議	14 ページ
(2) 働く人の健康づくり地域・職域連携推進連絡会	16 ページ
(3) 相模原市歯科保健事業推進審議会	47 ページ
(4) 母子継続看護連絡会	65 ページ
(5) 相模原市健康づくり普及員連絡会	66 ページ
(6) 相模原市食生活改善推進団体(わかかな会)	73 ページ
(7) 感染症診査協議会 結核診査部会	79 ページ
(8) 感染症診査協議会 感染症診査部会	82 ページ
(9) 相模原市難病対策地域協議会	92 ページ
(10) 相模原市食の安全・安心懇話会	100 ページ

6 地域保健関係職員等研修会

(1) 保健所関係職員に対する職場研修	19 ページ
(2) 薬事等講習会	29 ページ
(3) 特定給食施設講習会	71 ページ
(4) 結核対策特別促進事業医療従事者研修会	80 ページ
(5) 食品衛生啓発対策における講習会	100 ページ
(6) 環境衛生に関する講習会	101 ページ

「令和元年度 相模原市保健所年報（平成 30 年度事業概要）」

令和元年 8 月発行

発行 / 相模原市

編集 / 相模原市健康福祉局保健所地域保健課

〒252 5277 相模原市中央区中央 2 丁目 11 番 15 号

電話 042 - 769 - 9241

FAX 042 - 750 - 3066
